B6FJ-4911-01

各部名称と働き

SETUP

セットアップ

取り扱い

Q&A

取扱説明書

ESPRIMO FHシリーズ

1. 各部の名称と働き
2. 初めて電源を入れる
3. セットアップする
4. 取り扱い
5. バックアップ
6. ご購入時の状態に戻す
7. Q&A
8. 廃棄・リサイクル
9. 安心してお使いいただくために
10. 仕様一覧
11. 付 録

FUJITSU

マニュアルのご案内

この他にもお使いの機種により、マニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。

『箱の中身を確認してください』

添付品の一覧です。
ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。

『取扱説明書』（本書）

パソコンの取り扱い方法がわかります。

- 使用上のご注意
- パソコンを使うための準備
- 取り扱い方法
- ご購入時の状態に戻す方法
- Q＆A

『補足情報』（インターネットで公開）

『取扱説明書』の補足情報です。細かい設定を変更する方法などを説明しています。

●『補足情報』を表示する手順

1 インターネットに接続した状態で （スタート）→「すべてのプログラム」→「@メニュー」→「@メニュー」の順にクリックします。

2 @メニューの「安心・サポート」-「富士通のパソコンのマニュアルを見る」を選択し、「このソフトを使う」をクリックします。

3 インターネットの「マニュアル公開ページ」が表示されます。

パソコンの活用情報については、AzbyClubにある「使いこなし」をご覧ください。
http://azby.fmworld.net/usage/

パソコンのトラブル解決は「Q&A navi」で検索してください。
http://azby.fmworld.net/qanavi/

目次

このパソコンをお使いになる前に 5
マニュアルの表記 8

1. 各部の名称と働き

パソコン本体前面 12
パソコン本体側面 13
　左側面 13
　右側面 14
パソコン本体背面 15
キーボード 16

2. 初めて電源を入れる

パソコンの使用環境についての注意 17
キーボード／マウスを準備する 19
セットアップの注意事項 19
初めて電源を入れる 20

3. セットアップする

セットアップの流れを確認する 23
Windows のセットアップをする 23
セキュリティ対策ソフトの準備をする 26
　「ノートン インターネットセキュリティ」 の初期設定をする 27
インターネットの設定をする 28
　無線 LAN でインターネットに接続する 29
E メールの設定をする 31
Windows を最新の状態にする 33
アップデートナビを実行する 34
「ユーザー登録」および「らくらくパソコン利用登録」をする 36
　「ユーザー登録」 および 「らくらくパソコン利用登録」 をする 36
　専用ホームページを使う準備をする 36
「Office Personal 2010」のプロダクトキーの入力とライセンス認証をする 40
ここまで設定した状態をバックアップする 41

4. 取り扱い

電源を入れる／切る 43
　電源を入れる 43
　電源を切る 44
マウス 44
　マウスをお使いになるときの注意 44
　各部の名称と働き 45
　マウスの使い方 45
タッチ機能 46
　タッチ機能を使ってできること 46
　タッチ機能についての注意 46
　タッチ機能を使う 47
音量 49
画面の明るさ 50
CD/DVD ドライブ 50
　ディスクを使うときの注意 50
　ディスクを再生するときの注意 51
　ディスクに書き込み／書き換えをするときの注意 51
　使えるディスク／使えないディスク 52
　ディスクをパソコンにセットする／取り出す 54
　ディスクをフォーマットする 55
メモリーカード 56
　お使いになるうえでの注意 56

使えるメモリーカード 57
メモリーカードを差し込む／取り出す 58
Web カメラ 59
Web カメラでできること 59
Web カメラを使うソフトウェアの起動方法と使い方 59
ソフトウェアを使う 60
「@メニュー」の使い方 60
周辺機器の取り扱い 60
周辺機器とは 60
周辺機器を取り付けると 60
周辺機器の取り扱い上の注意 60
らくらくホン専用スタンド 62
らくらくホン 7 をお使いの方のみ
写真を取り込むうえでの注意 62
よくあるトラブルと解決方法 63
お手入れ 65
液晶ディスプレイのお手入れ 65
スイーベルのお手入れ 66
CD/DVD ドライブのお手入れ 66
パソコン本体内部や通風孔のお手入れ 67
ディスプレイに関する Q&A 69
画面が表示されない 69
画面がおかしい 70

5. バックアップ

このパソコンのバックアップツール 71
マイリカバリ 71
「マイリカバリ」でできること 71
「マイリカバリ」をお使いになるうえでの注意事項 72
ディスクイメージの保存先 72
ディスクイメージを作成する 73
ディスクイメージをコピーする 74
ディスクイメージを復元する 76
ディスクイメージを削除する 78
かんたんバックアップ 78
「かんたんバックアップ」をお使いになるうえでの注意事項 78
バックアップしたデータをコピーする場合の注意事項 80
「かんたんバックアップ」でバックアップ／コピーする 80
「かんたんバックアップ」で復元する 81
かんたんバックアップレスキュー 83
「かんたんバックアップレスキュー」をお使いになるうえでの注意事項 83
「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップする 83
バックアップしたデータを復元する 84

6. ご購入時の状態に戻す

ご購入時の状態に戻す必要があるか再確認 85
ご購入時の状態に戻すリカバリの準備 85
バックアップをする 85
ご購入時の状態に戻すリカバリの注意事項 85
作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法 86
ディスクが必要な場合 86
ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する 87
C ドライブを初期状態に戻す 87
Windows のセットアップをする 88
Office 2010 および関連ソフトウェアをインストールする 88

7. Q&A

トラブル発生時の基本操作 89
落ち着いて状況を確認する 89

マニュアルで調べる 90
ホームページで解決する 90
「富士通ハードウェア診断ツール」 を使う 91
サポートの窓口に相談する 92
よくあるトラブルと解決方法 93
トラブルが発生したときの Q&A 集 93
起動 ・ 終了時 94
Windows ・ ソフトウェア関連 94
ポインティングデバイス 95
キーボード 96
文字入力 96
サウンド 96
CD/DVD 97
メモリーカード 97
有線 LAN 97
無線 LAN 98
USB 機器 99
ハードディスク 99
メール 100
リカバリ 100

8. 廃棄・リサイクル

富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内 101
PC リサイクルマークについて 101
ご利用の流れ 101
サービスをご利用になるうえで 102
梱包するときに 102
廃棄に関するご注意 103
パソコンの廃棄 ・ 譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意 103
液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ 104
使用済みバッテリの取り扱いについて 105

9. 安心してお使いいただくために

安全上のご注意 106
使用上のお願い 114
パソコン本体取り扱い上の注意 114
パソコンの温度上昇に関して 114
パソコン内部からの音に関して 114
パソコンを移動する場合の注意 114
液晶ディスプレイの取り扱い上の注意 115
雷についての注意 115
疲れにくい使い方 116
インターネットを安心してお使いいただくために 117
青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について 117

10. 仕様一覧

パソコン本体の仕様 119
仕様一覧の注記について 121
その他の仕様 123
CD/DVD ドライブ 123
スピーカー 124
LAN 機能 124
キーボード 125
マウス 125

このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをお取りください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
（1）本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
（2）前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 壁紙の使用条件
本製品に「FUJITSU」ロゴもしくは「FMV」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
8. 保証の範囲
（1）弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
（2）弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
（3）本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
9. ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付品は大切に保管してください

ディスクやマニュアル等の添付品は、本製品をご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

・ 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・ 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
・ 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

・ 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
・ 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1 日約 8 時間のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
・ 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
・ 摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
・ 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞
LCD、ハードディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、キーボード、マウス、AC アダプタ、電源ユニット、ファン

消耗品について

・ バッテリパックや電池等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

24 時間以上の連続使用について

・ 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

本製品に接続する LAN ケーブルはシールドされたものでなければなりません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

無線 LAN について

2.4 DS/OF 4

- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DS-SS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
  （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
  連絡先：「らくらくパソコン専用電話相談窓口」
- 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠では見通し半径 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- 本製品と 5GHz の周波数帯を使用する無線 LAN とは、使用している周波数帯域が異なるため、通信できません。ご注意ください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品は、高調波電流規格　JIS C 61000-3-2　適合品です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質>の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/fmv/jmoss/

マニュアルの表記

このマニュアルの内容は 2010 年 5 月現在のものです。

■本文中での書き分けについて

このマニュアルには、複数の機種の内容が含まれています。機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。
お使いの機種に機能が搭載されているかを「仕様一覧」や、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	以降の手順が分かれることを表しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
Web	インターネットで公開している情報を表しています。
	CD や DVD などのディスクを表しています。
→	参照ページを表しています。

■連続する操作の表記

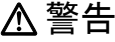
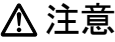
本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「▶」でつなげて記述しています。

例：(スタート) をクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作
↓
(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」の順にクリックします。

■画面例およびイラストについて

画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

このパソコンに添付されている AC アダプタの、AC ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。
接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。通常は、ご家庭用のコンセントをご利用になれます。このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■製品の呼び方

このマニュアルでの製品名称を、次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
FMV らくらくパソコン３	らくらくパソコン
Windows® 7 Ultimate 32 ビット 正規版	Windows または Windows 7 または Windows 7（32 ビット）または Windows 7 Ultimate
Windows® 7 Professional 32 ビット 正規版	Windows または Windows 7 または Windows 7（32 ビット）または Windows 7 Professional
Windows® 7 Home Premium 32 ビット 正規版	Windows または Windows 7 または Windows 7（32 ビット）または Windows 7 Home Premium
Windows® Internet Explorer® 8	Internet Explorer 8 または Internet Explorer
Microsoft® Office Personal 2010	Office 2010 または Office Personal 2010
Microsoft® Word 2010	Word 2010
Microsoft® Outlook® 2010	Outlook 2010
Microsoft® Office ナビ 2010	Office ナビ 2010
Windows Live™	Windows Live
Corel® WinDVD®	WinDVD
スーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ
ノートン ™ インターネットセキュリティ 2010	ノートン インターネットセキュリティ
Roxio Creator LJ	Roxio Creator

■安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⦸	⦸で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
●	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告・注意ラベルが貼ってあります。

これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Live、Internet Explorer、Office ロゴ、Outlook は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。

インテル、Intel、インテル Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Corel、Corel のロゴ、WinDVD は Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。

「メモリースティック」、「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック PRO」、「メモリースティック PRO デュオ」、「メモリースティック PRO-HG デュオ」、「メモリースティック マイクロ」、「マジックゲート」および MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。

@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。

その他の各製品名などの固有名詞は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010

1 各部の名称と働き

パソコン本体前面

無線 LAN（ラン） アンテナ
無線 LAN のアンテナが搭載されています。

デジタルマイク
テレビ電話用ソフトを利用して、音声通話ができます。

Web（ウェブ） カメラ
内蔵のデジタルマイク、テレビ電話用ソフトと合わせて使うことで、テレビ電話ができます。（→ P.59）

スピーカー
パソコンの音声を出力します。

液晶ディスプレイ
入力した内容や、パソコン内のデータなどを表示します。画面に触れて操作することもできます。（→ P.46）

電源ボタンは短く触れてください。

電源　暗 - 画面 - 明　取り出し

ハードディスク／ CD アクセスランプ（）
内蔵ハードディスクや CD、DVD にアクセスしているときに点滅します。

明るさ調節ボタン
画面の明るさを調節します。（→ P.50）

スイーベル
パソコン本体を左右に回転して見やすい角度に調整します。

電源ボタン（⏻）
パソコン本体の電源を入れたり切ったりします。（→ P.20）

CD/DVD 取り出しボタン
ディスクをセットしたり取り出したりします。

パソコン本体側面

左側面

USB コネクタ
プリンターなどの USB 規格の周辺機器を接続します。

ダイレクト・メモリースロット
SD メモリーカードやメモリースティックの差し込み口です。miniSD カード、microSD カード、microSDHC カードおよびメモリースティック Duo などは、アダプターを使用してください。（→ P.56）

ヘッドホン・ラインアウト兼用端子
外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホンを接続します。また、設定を変更することでオーディオ機器などの音声入力端子と接続するラインアウト端子として使用することもできます。

マイク・ラインイン兼用端子
外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のパソコン用マイクを接続します。また、設定を変更することでオーディオ機器などの音声出力端子と接続するラインイン端子として使用することもできます。

右側面

スーパーマルチドライブ

CD や DVD をセットします。（→ P.50）

USB（ユーエスビー） コネクタ（●⇔）

プリンターなどの USB 規格の周辺機器を接続します。

パソコン本体背面

通風孔
パソコン本体内部と外部の空気を交換して熱を逃がすための開孔部です。

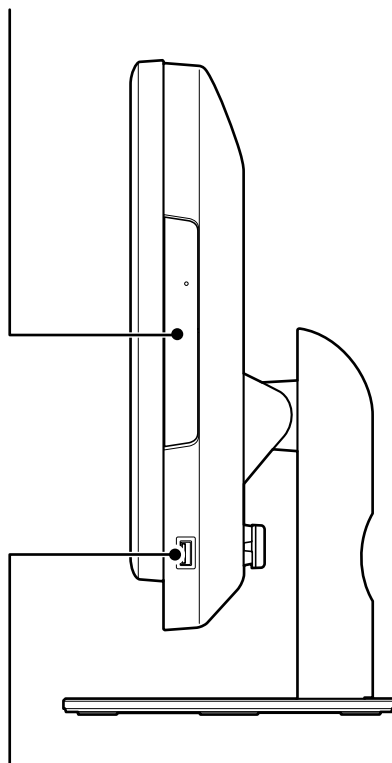
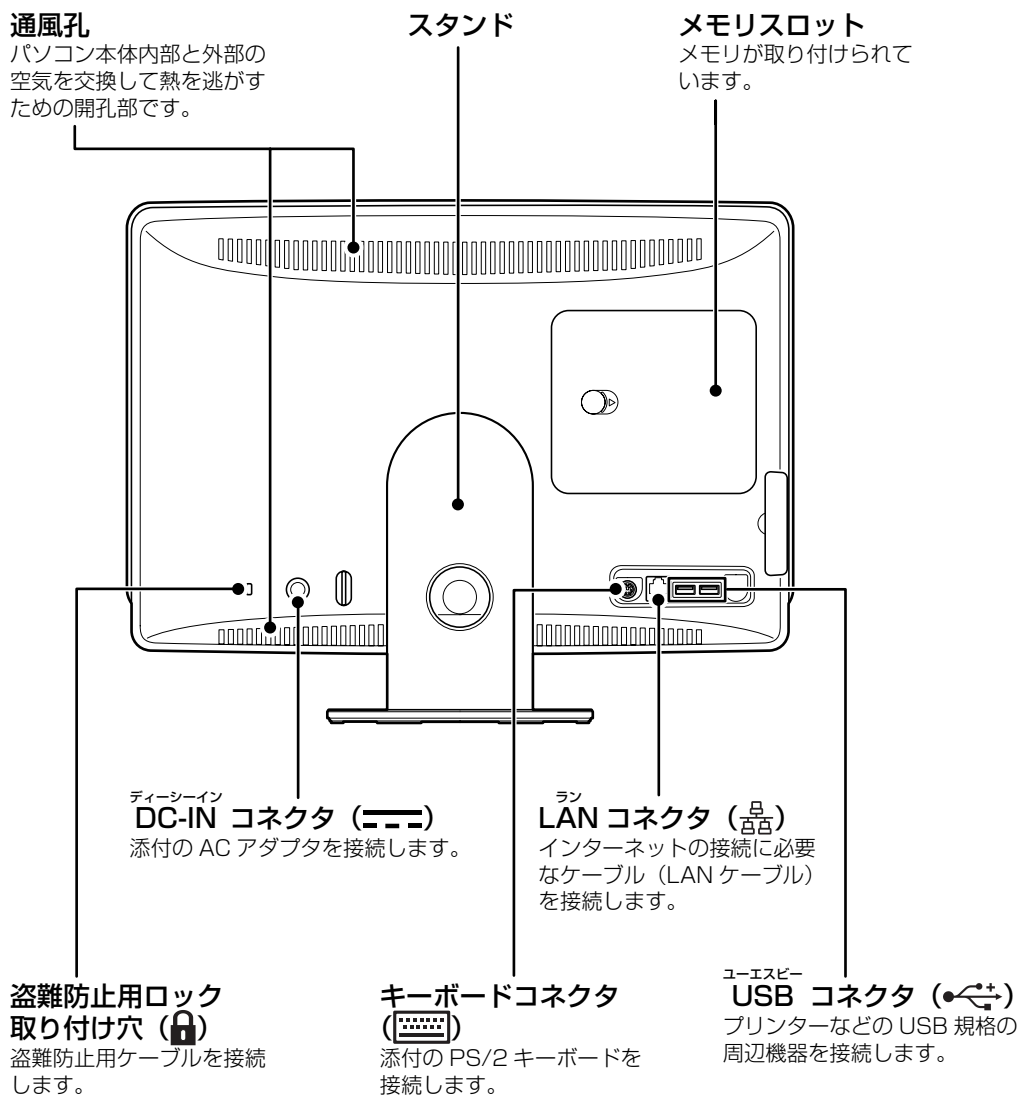
スタンド

メモリスロット
メモリが取り付けられています。

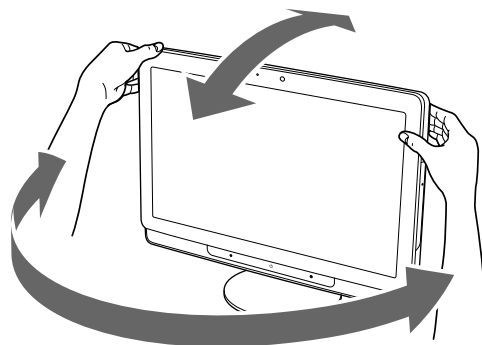
ディーシーイン
DC-IN コネクタ（⎓）
添付の AC アダプタを接続します。

ラン
LAN コネクタ（品）
インターネットの接続に必要なケーブル（LAN ケーブル）を接続します。

盗難防止用ロック取り付け穴（🔒）
盗難防止用ケーブルを接続します。

キーボードコネクタ（⌨）
添付の PS/2 キーボードを接続します。

ユーエスビー
USB コネクタ（USBマーク）
プリンターなどの USB 規格の周辺機器を接続します。

■パソコン本体の向きと角度の調節

パソコン本体の向きと角度を調節できます。衝撃を与えないよう、パソコン本体の上部を左右両方とも持って矢印の向きに静かに動かして調節してください。調節するときは、パソコン本体を倒さないよう注意してください。

衝撃により、ハードディスクドライブや ＣＤ/ＤＶＤドライブが故障する原因となります。

キーボード

文字の入力のしかたについては、添付の『ローマ字入力表』をご覧ください。

A ⇔あボタン
ボタンを押すごとに、日本語入力／英数入力を切り替えます。

50 音入力ボタン
「タッチ文字入力」を起動します。

メニューボタン
「らくらくメニュー」を起動します。

半角／全角キー
キーを押すごとに、半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

取消（Esc）キー（エスケープ）
現在の作業を取り消します。

音量調節ボタン
パソコン本体の音量を調節します。（→ P.49）

サポートボタン
・Windows 起動時
「サポートナビ」が起動し、「Q&A」や「日頃のメンテナンス」などのサポート機能を簡単に始めることができます。
・シャットダウン時
Windows が起動しないときにも、「ハードウェア診断」や「マイリカバリ」などトラブル解決に役立つサポート機能を使うことができます。

削除（Delete）キー（デリート）
マウスポインターの右側にある 1 文字を削除します。

シフト（Shift）キー（シフト）
［シフト Shift］を押しながらオレンジ色の記号の刻印されているキーを押すと、そのキーに刻印されている記号を入力できます。

空白キー
空白を入力します。

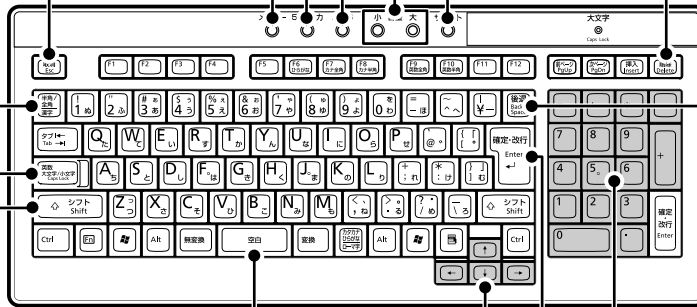
テンキー
数字や記号を入力します。

カーソルキー
カーソルを上下左右に移動します。

後退（Back Space）キー（バックスペース）
マウスポインターの左側にある 1 文字を削除します。

大文字／小文字（Caps Lock）キー（キャプスロック）
［シフト Shift］を押しながら［英数 大文字/小文字 Caps Lock］を押して、英大文字入力／小文字入力を切り替えます。

確定・改行（Enter）キー（エンター）
入力した文字を確定したり、改行したりします。

2 初めて電源を入れる

重要

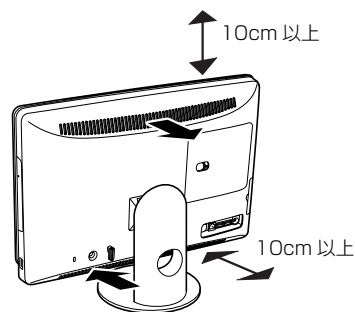
- キーボードやマウス、AC アダプタや AC ケーブルなどを束ねているバンド（針金）は、必ず取り外してからお使いください。

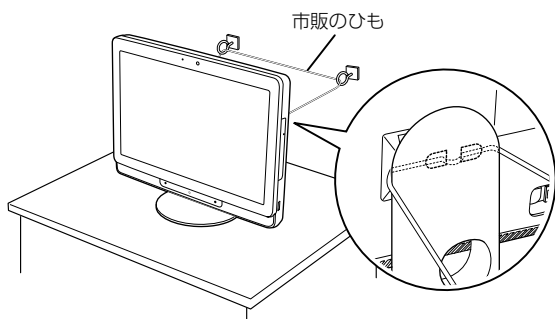
パソコンの使用環境についての注意

パソコンは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると、故障や破損の原因となることがあります。
内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

- パソコン本体の使用環境は、温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 90%RH（非動作時）です。
- 動作時、非動作時に関わらず、パソコン本体が結露しないようにご注意ください。
  結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所から、温度の高い場所へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 直射日光の当たる場所ではお使いにならないでください。
- 水など液体のかかる場所ではお使いにならないでください。
- 操作するのに充分なスペースを取れる場所でお使いください。
- コンセントから直接電源をとれる場所でお使いください。タコ足配線はしないでください。
- パソコン本体のそばで喫煙すると、タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、CPUファンなどの機能を低下させる可能性があります。
- 台所などの油を使用する場所の近くでは、パソコンを使わないでください。
  油分がパソコン内部に入ってCPUファンなどに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。
- 腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所で使用すると、パソコン本体が腐食する可能性があります。
- パソコン本体には静電気に弱い部品が使用されています。静電気の発生しやすい場所では使用しないでください。また、使用する前には金属質のものに触れて、静電気を逃がしてください。
- パソコン本体の近くで携帯電話や PHS などを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてください。
- パソコン本体や AC アダプタは、平らで堅い机の上などに置くようにしてください。ふとんの上など熱がこもりやすい場所に置くと、パソコンや AC アダプタ表面が高温になることがあります。
- パソコンや AC アダプタは、使用中に熱を持つことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。
- ほこりの多い環境では使用しないでください。ファンにほこりが詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。
- 通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPUファンなどの機能を低下させる可能性があります。掃除機などで定期的にほこりなどを取り除いてください。詳しくは、「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→P.67）をご覧ください。
- 通風孔をふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- 通風孔の近くに物を置かないでください。通風孔からの熱で、通風孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。
- パソコン本体上部、背面や側面と壁などとの間は、10cm 以上のすき間をあけてください。
  通風孔の空気の流れは、次の図の ➡ をご覧ください。

10cm 以上

10cm 以上

●LAN（有線 LAN）をお使いになるときは、接続ケーブルが届く場所でお使いください。
●無線 LAN をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。
電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。
●テレビやラジオなど、電磁波の影響を受けやすいものの近くではお使いにならないでください。
●モーターやスピーカーなど、磁気を発生するものの近くではお使いにならないでください。
●地震の場合やパソコンにぶら下がったり寄りかかったりした場合に、パソコンが転倒することがあります。パソコンの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、パソコン本体を固定してください。

市販のひも

●丈夫なひもで、しっかりした壁や柱にパソコンを固定してください。壁や柱への固定に金具をご使用になる場合は、ひもが外れない形状のものをお使いください。

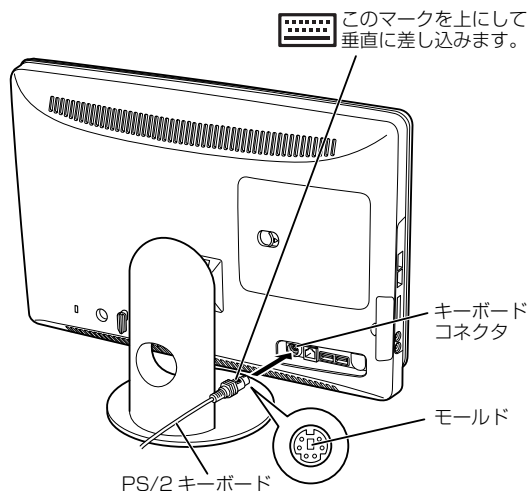
○　×

重要

- 地震などでのパソコンの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や柱の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

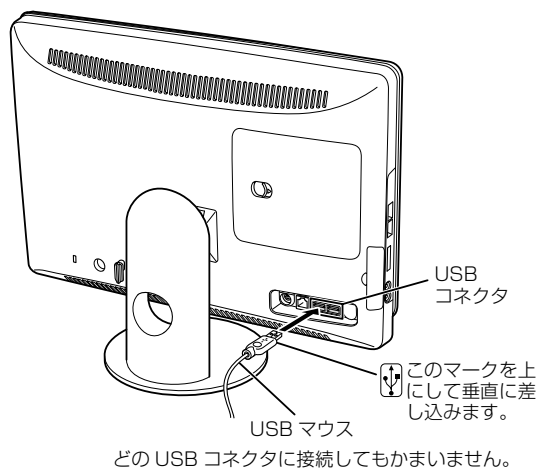
この後は、実際にパソコンの設置を行います。その前に「安心してお使いいただくために」（→ P.106）を改めてご確認ください。

キーボード／マウスを準備する

1 添付の PS/2 キーボードを、パソコン本体背面のキーボードコネクタに接続します。

重要

- 添付のキーボードを使用してください。
- コネクタの向きを確認してください。無理に差し込むと、ピンが破損するおそれがあります。PS/2 キーボードを接続したり取り外したりするときは、必ずパソコン本体用電源ケーブルが接続されていない状態で行ってください。

2 USB マウスを、パソコン本体背面の USB コネクタに接続します。

どの USB コネクタに接続してもかまいません。

セットアップの注意事項

■操作の途中で電源を切らないでください

途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。「Windows のセットアップをする」（→P.23）が終わるまでは、絶対に電源を切らないでください。

■セットアップ前に周辺機器を接続しないでください

別売の周辺機器（LAN ケーブル、プリンター、USB メモリ、メモリーカードなど）は、「Windows のセットアップをする」が終わるまで接続しないでください。周辺機器の設定方法については、周辺機器のメーカーへお問い合わせください。

■時間に余裕をもって作業してください。セットアップには半日以上の時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

初めて電源を入れる

1 ACアダプタにACケーブルを接続します。

ACアダプタは、ゆるんだり抜けたりしないようにしっかりと接続してください。

2 ACアダプタをパソコン本体背面のDC-INコネクタに接続します。

3 ケーブルを固定します。

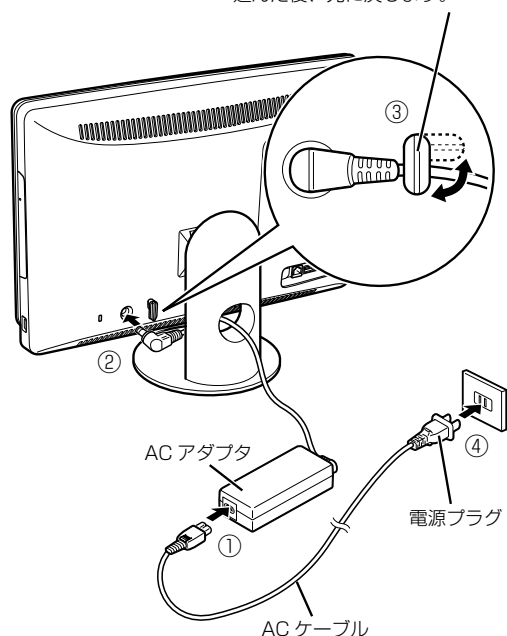
4 電源プラグをコンセントに接続します。

ここを90度回転させて水平にし、ケーブルをパソコン本体の溝にはめ込んだ後、元に戻します。

③ ② ① ④

ACアダプタ

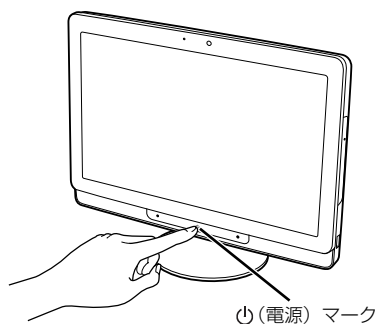
電源プラグ

ACケーブル

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

Point

- ケーブルはグラグラしていませんか？
  ケーブルが奥までしっかりと差し込まれているか、もう一度お確かめください。

5 パソコン本体前面の⏻（電源）マークに触れます。

⏻（電源）マーク

重要

- タッチセンサーの注意
  電源ボタンを操作するときは、素手でタッチするようにしてください。
  - ・ものさし、木製やプラスチック製の棒、その他の非導通の物体では、タッチを検出できません。
  - ・タッチセンサーと指の間に、手袋や指サック、絆創膏などがあると、タッチを検出できない場合があります。

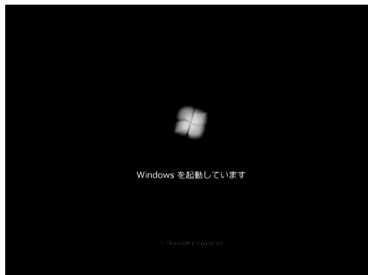
6 ⏻が点灯していることを確認します。

電源が入ると、画面に文字などが表示されます。

7 そのまましばらくお待ちください。

画面が何度か変化します。

「Windows のセットアップ」画面が表示されるまでお待ちください。

Windows を起動しています

画面が何度か変化します

（画面は機種や状況により異なります）

重要

- 「Windows のセットアップ」画面が表示されるまでは、絶対に電源を切らないでください。
- しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがありますが、電源が切れたわけではありません。マウスやキーボードを操作すると元の画面に戻ります。
  画面が戻らなかった場合は、⏻に触れてください。
  ※ ⏻に 4 秒以上触れないでください。電源が切れ、パソコンが使えなくなる場合があります。
- まれに、「Windows のセットアップ」画面が表示されず、次のような画面が表示される場合があります。

Windows のインストール

コンピューターが予期せず再起動されたか、予期しないエラーが発生しました。Windows のインストールを続行できません。Windows をインストールするには、[OK] をクリックしてコンピューターを再起動してから、インストールを再実行してください。

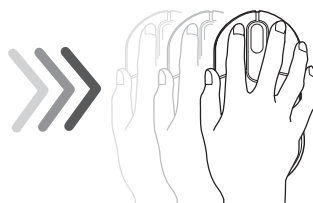
OK

サービスを開始しています

この場合は、⏻に 4 秒以上触れて電源を切り、「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」（→ P.87）をご覧になり、リカバリを行ってください。

■操作方法の確認

セットアップでは、キーボードとマウスを使います。ここでは、マウスの基本的な使い方を説明します。

1 マウスを平らな場所に置いたまますべらせると、マウスの動きに合わせて、（マウスポインター）が画面の上を動きます。

2 目的の位置にマウスポインターを合わせ、左ボタンを**カチッと1回**押して、すぐに離します。この操作のことを、「**クリック**」といいます。

右ボタンを 1 回押すことを「右クリック」といいます。

左ボタン

重要

- セットアップは、タッチパネルで操作しないでください。なお、セットアップ画面に触れるなどして、画面上にソフトウェアキーボードが表示された場合は、右上の ✕ をクリックしてソフトウェアキーボードを閉じてください。

このあとは「セットアップする」（→ P.23）をご覧になり、セットアップを行ってください。

3 セットアップする

セットアップの流れを確認する

初めてパソコンを使うときは、セットアップが必要です。
次のチャートの順にセットアップを進めてください。

「Windowsのセットアップをする」（→P.23）

↓

「セキュリティ対策ソフトの準備をする」（→P.26）

↓（インターネットに接続しない方は「「ユーザー登録」および「らくらくパソコン利用登録」をする」へ）

「インターネットの設定をする」（→P.28）

↓

「Eメールの設定をする」（→P.31）

↓

「Windowsを最新の状態にする」（→P.33）

↓

「アップデートナビを実行する」（→P.34）

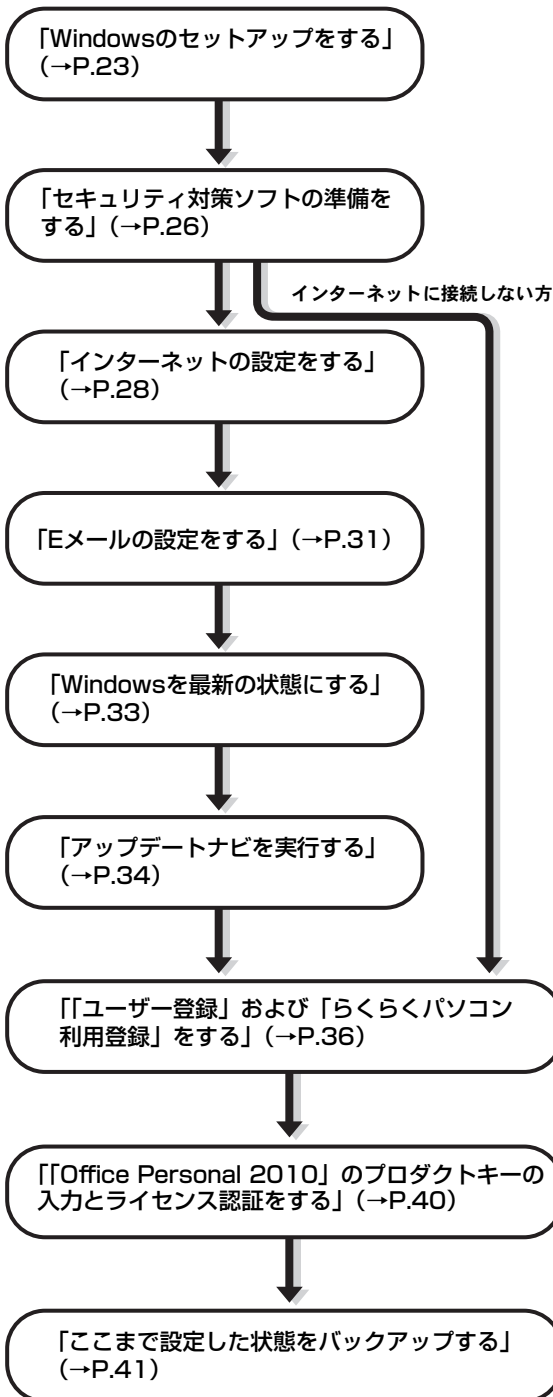
↓

「「ユーザー登録」および「らくらくパソコン利用登録」をする」（→P.36）

↓

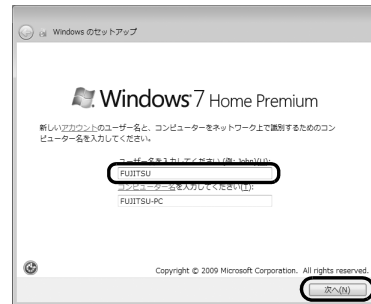
「「Office Personal 2010」のプロダクトキーの入力とライセンス認証をする」（→P.40）

↓

「ここまで設定した状態をバックアップする」（→P.41）

Windows のセットアップをする

初めてパソコンに電源を入れると、Windows のセットアップが始まります。
「初めて電源を入れる」（→ P.20）から引き続き操作を行ってください。

1 ユーザー名を入力し、「次へ」をクリックします。

ユーザー名は **12 文字以内**の半角英数字でお好きな名前を入力してください。ただし、@、%、/、－などの記号やスペース（空白）は入力しないでください。また、数字を使う場合は、英字と組み合わせてください。
コンピューター名は、ここでは**変更しない**でください。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

重要

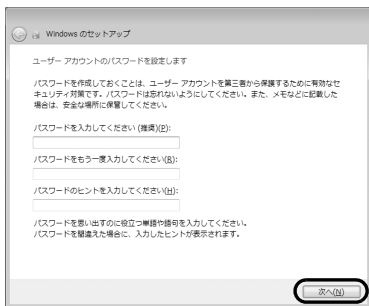
- まれに、「Windows のセットアップ」画面が表示されず、次のような画面が表示される場合があります。

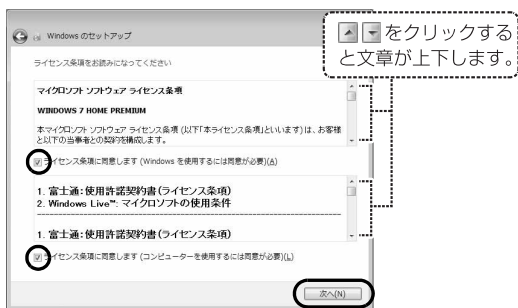
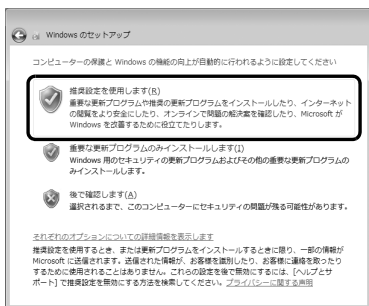
（画面は一例です）

デスクトップ型では ⏻ に4秒以上触れて、ノートブック型では電源ボタンを 4 秒以上押して、電源を切ってください。その後、「ご購入時の状

態に戻すリカバリを実行する」（→ P.87）をご覧になり、リカバリを行ってください。

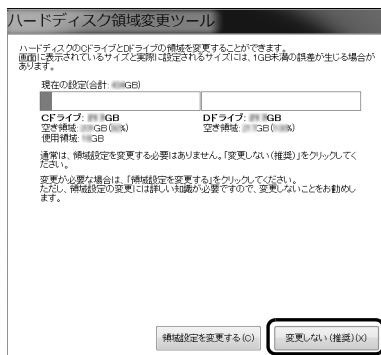
2「次へ」をクリックします。

画面には「パスワードを入力してください」と表示されていますが、パスワードを入力しなくてもセットアップには問題ありません。セットアップ完了後にパスワードを設定することもできます。またパスワードを入力した場合は、絶対に忘れないようにしてください。何かに書き留めておくなど、充分に注意して管理してください。

3 ライセンス条項を確認し、2ヶ所の□をクリックして☑にし、「次へ」をクリックします。

ライセンス条項に同意しないと、Windows をお使いになれません。

4「推奨設定を使用します」をクリックします。

5「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示されたら、「スキップ」をクリックします。

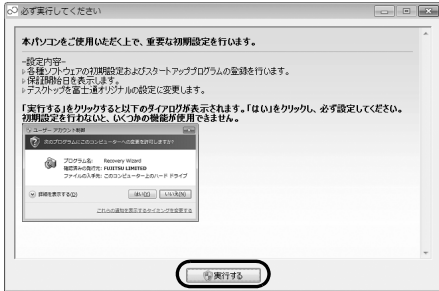
重要

- ここでは、インターネットなどネットワークに接続しないでください。
  ネットワークに接続していると、Windows のセットアップが正常に終了できない場合があります。

6「ハードディスク領域変更ツール」ウィンドウが表示された場合は、「変更しない」をクリックします。

Point

- ここでは、ハードディスク領域の設定を変更することができます。ただし、ハードディスクの設定には詳しい知識が必要になるため、変更しないことをお勧めします。
- ハードディスク領域を変更する場合は、次の手順で設定してください。
  1. 「領域設定を変更する」をクリックします。
  2. ▯をドラッグして領域の割合を設定し、「実行」をクリックします。
  3. 「設定の確認」ウィンドウが表示されたら、内容を確認して「はい」をクリックします。

- D ドライブの容量が少ないと「マイリカバリ」を使ったバックアップができなくなる場合があります。

7 パソコンが再起動し、「必ず実行してください」ウィンドウが表示されたら、「実行する」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

8 「保証期間表示」ウィンドウが表示されるまで、何も触らずそのままお待ちください。

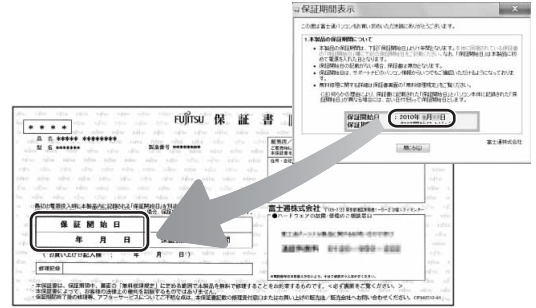
お使いの機種により、10 ～ 20 分程度時間がかかる場合があります。

重要

- 「診断センターにお問い合わせください」と表示された場合は、画面の指示に従ってください。

Point

- パソコンの電源を入れた状態でしばらく（5 ～ 10 分程度）操作をしないと、画面に写真が表示されたり（スクリーンセーバー）、真っ暗になったりすることがあります。
  これは省電力機能が働いている状態で、電源が切れたわけではありません。フラットポイントやキーボードを操作すると元の画面に戻ります。
  ノートブック型のフラットポイントに触れたり、キーボードのいずれかのキーを押したりしても元の画面に戻らない場合は、電源ボタンを押してください。ただし、電源ボタンは 4 秒以上押さないでください。パソコンの電源が切れ、Windows が使えなくなる場合があります。

9 保証書を用意し、保証開始日を保証書に書き写します。

保証書に保証開始日が記入されていないと、**保証期間内であっても有償**での修理となります（保証開始日はこのパソコンの電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。

10 「保証期間表示」ウィンドウの「閉じる」をクリックし、「**いいえ**」をクリックします。

Point

- お使いの機種によっては「Adobe Reader - 使用許諾契約書」ウィンドウが表示される場合があります。「同意する」をクリックしてください。
  「重要なお知らせ」という画面が表示されます。
  これらの画面には本パソコンをお使いになるうえで知っておいていただきたいことが記載されています。よくお読みになり、読み終わったら、 をクリックして画面を閉じてください。
- 「重要なお知らせ」はセットアップ終了後でも、ご覧になることができます。
  （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「重要なお知らせ」の順にクリックしてください。

11 「設定完了」ウィンドウが表示されたら、内容を確認し、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動し、「らくらくメニュー」が表示されます。

Point

- ノートブック型の場合、これ以降添付の「はじめてマウス」をお使いいただけます。
  マウスは、パソコン本体の USB コネクタに接続してください。USB コネクタの位置と接続方法については、添付の『つないでほシート』でご確認ください。
  別売のマウス、および「らくらくホン専用スタンド」をお使いになる場合は、本章「セットアップする」がすべて完了した後に接続してください。

ここで一休みできます

ここでいったん電源を切って、セットアップを中断することができます。
(スタート)▶ シャットダウン の順にクリックするとパソコンの電源が切れます。

一休みした後は、セットアップを再開させ必ず完了させてください。

セキュリティ対策ソフトの準備をする

コンピューターウイルスや不正アクセスなど、さまざまな脅威からパソコンを守るためには、セキュリティ対策ソフトをお使いになることをお勧めします。
このパソコンには、90 日間無料でお使いになれる「ノートン インターネットセキュリティ」が用意されています。

重要

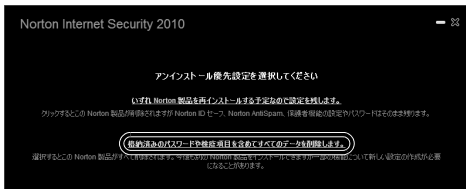
- セキュリティ対策ソフトは、初期設定が完了してから 90 日間アップデートしてお使いいただけます。その後もお使いいただくには、更新手続き（有料）が必要です。
- セキュリティ対策ソフトを最新の状態にアップデートして使うには、インターネット接続環境が必要になります。

Point

- その他のセキュリティ対策ソフトをお使いになる場合は、「ノートン インターネットセキュリティ」を削除してから、インストールしてください（→ P.27）。

その他のセキュリティ対策ソフトを使うときは

あらかじめインストールされている「ノートン インターネットセキュリティ」の削除が必要です。
次の操作を行って、「ノートン インターネットセキュリティ」の削除を行ってください。

1. (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Norton Internet Security」▶「アンインストール」の順にクリックします。
2. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
3. 「格納済みのパスワードや検疫項目を含めてすべてのデータを削除します。」をクリックします。

4. 「今すぐに再起動」をクリックします。

「ノートン インターネットセキュリティ」の初期設定をする

Point

- 「らくらくメニュー」が表示されている場合は、「閉じる」をクリックして終了させてください。

1 デスクトップにある (Norton Internet Security)をクリックします。

2 「今すぐにアクティブ化」をクリックします。

初期設定が始まります。しばらくお待ちください。

3 「完了」をクリックします。

これで、「ノートン インターネットセキュリティ」の初期設定は完了です。

■「ノートン インターネットセキュリティ」を最新の状態にする

インターネットに接続したら、LiveUpdate 機能をお使いになり、常に最新の状態に保つことをお勧めします。

1 デスクトップにある (Norton Internet Security) をクリックします。

2 「コンピュータ」の「LiveUpdate［ライブアップデート］を実行」をクリックします。

3 表示される画面の指示に従って操作します。

■更新サービスの期間

「ノートン インターネットセキュリティ」の初期設定を完了した日から 90 日間は、無料で最新のウイルスやスパイウェアに対するパターンファイルなどの更新サービスを受けることができます。それ以降も継続して利用される場合は、有料で更新サービスの延長をお申し込みになるか、パッケージ版をご購入ください。

更新サービスの期限が切れると、「有効期間が終了しました」画面が表示されます。更新サービスの延長をお申し込みになる場合は、「今すぐに購入」をクリックし、表示される画面に従って操作してください。

■お問い合わせ先

「ノートン インターネットセキュリティ」は株式会社シマンテックがサポートします。

株式会社シマンテックのお問い合わせ先については『らくらくパソコン活用ブック』をご覧ください。

この後は、お使いの状況によって操作が異なります。

インターネットに接続する場合

「インターネットの設定をする」（→ P.28）に進んでください。

インターネットに接続しない場合

「「ユーザー登録」および「らくらくパソコン利用登録」をする」（→ P.36）に進んでください。

インターネットの設定をする

■お使いの状況に合わせて必要な準備をしてください

- プロバイダーと契約している場合

  プロバイダーと契約しており、インターネットが使える環境をお持ちの方は、パソコンにインターネットに接続するための設定をしてください。

  インターネットに接続するための設定方法については、ご契約のプロバイダーにご確認ください。

- 初めてインターネットを使う場合

  インターネットに接続するには、プロバイダーとの契約が必要です。プロバイダーとは、インターネットに接続するためのサービスを提供している企業や団体です。

  プロバイダーと契約すると、インターネットに接続するために必要な設定の情報などが送られてきます。プロバイダーの指示に従って、パソコンの設定をしてください。

重要

- 有線 LAN でインターネットに接続する場合は、パソコン本体のLANコネクタ（ ）に、別売のLANケーブルを接続してください。LANコネクタの場所は、「各部の名称と働き」（→P.12）をご覧ください。設定方法については、ご契約のプロバイダーにご確認ください。
- 無線LANでインターネットに接続する場合は、「無線LANでインターネットに接続する」（→P.29）をご覧ください。
- データ通信カードやアダプターをお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信カードやアダプターに添付のマニュアルをご覧ください。データ通信カードやアダプターに関しては、ご契約のデータ通信サービス会社にお問い合わせください。

■インターネットに接続できたら

ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るために、お使いのセキュリティ対策ソフトを最新の状態にしてお使いください。

この後は、「Windows を最新の状態にする」（→ P.33）に進んでください。

無線 LAN でインターネットに接続する

ここでは、無線LANアクセスポイントと内蔵無線LANを使って、無線LANでインターネットに接続する方法を説明します。

Step1　無線 LAN アクセスポイントを設定する

別売の無線LANアクセスポイントを用意し、インターネットに接続する設定を行ってください。設定方法は、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

重要

- 無線LANアクセスポイントは、セキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

Step2　無線 LAN アクセスポイントの設定を記入する

無線LANアクセスポイントに設定した情報を、次の欄に記入してください。パソコンに無線LANの接続設定をするときに、必要になります。
記入後は第三者に漏れないよう注意してください。
無線LANアクセスポイントの設定情報がわからない場合は、**無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。**

●ネットワーク名（SSID）

無線LANアクセスポイントの名前のようなものです。パソコンから接続する無線LANアクセスポイントを識別するために利用されます。

●セキュリティの種類

無線LANアクセスポイントに設定するセキュリティは、「WPA2-パーソナル（WPA2-PSK）」や「WEP」などいくつかの種類があります。
設定できるセキュリティの種類は、無線LANアクセスポイントにより異なります。

●暗号化の種類

「AES」または「TKIP」です。セキュリティの種類によっては、暗号化の種類を設定しない場合があります。

●セキュリティキー（PSK または WEP キー）

無線LANアクセスポイントにセキュリティをかけるときに設定するパスワードです。

Step3　無線 LAN の電波を発信する

パソコンの無線LANの電波が発信されているか確認します。

●デスクトップ型の場合

1. （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「無線 LAN オン／オフツール」の順にクリックします。
2. 「電波発信」をクリックし、「終了」をクリックします。
   すでに電波が発信されている場合は、「終了」をクリックしてください。

無線LAN電波オン／オフツール
現在無線LANの電波が停止しています
電波発信　電波停止　終了

●ノートブック型の場合

1. ワイヤレススイッチがオンになっているか確認します。
   ワイヤレススイッチの位置は、「各部の名称と働き」（→ P.12）をご覧ください。
2. 画面右下の通知領域にある、をクリックし、（Plugfree NETWORK［プラグフリーネットワーク］）を右クリックします。
3. 「電波操作」▶「無線 LAN」▶「電波発信」の順にクリックします。
   すでに電波が発信されている場合は、「電波発信」がグレーに表示され選択できません。

Step4 パソコンの設定をする

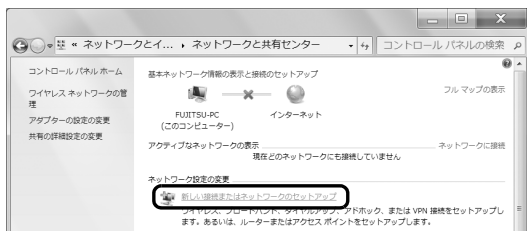
Windows 7の標準機能を使って無線LANの設定を行う方法を説明します。

1 無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

無線LANアクセスポイントの電源の入れ方については、無線LANアクセスポイントに添付されているマニュアルをご覧ください。

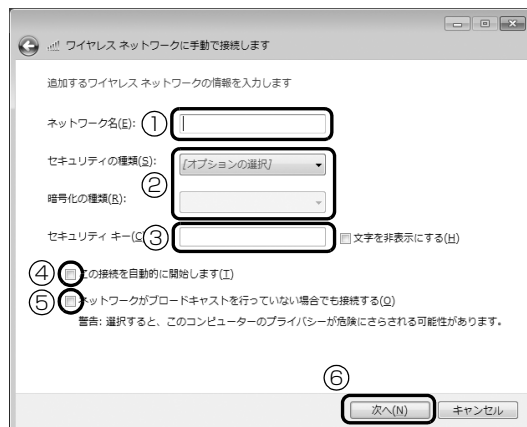
2 (スタート)▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」順にクリックします。

「ネットワークと共有センター」ウィンドウが表示されます。

3「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

4「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して「次へ」をクリックします。

5 Step2 で記入した無線 LAN アクセスポイントの設定情報を入力し、「次へ」をクリックします。

パソコンの設定は、無線LANアクセスポイントの設定と同じ情報を入力する必要があります。

①「ネットワーク名（SSID）」を入力します。

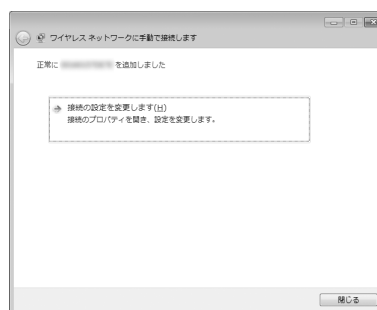
②「セキュリティの種類」「暗号化の種類」は、お使いの無線LANアクセスポイントの設定に合わせて選択します。

③ セキュリティキー（PSK または WEP キー）を入力します。

④「この接続を自動的に開始します」の□をクリックし、☑にします。

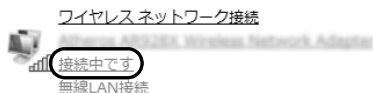
⑤ 必要に応じて「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」の□をクリックし、☑にします。

⑥「次へ」をクリックします。

6 正しく設定できると、「正常に～を追加しました」と表示されます。

7 「Plugfree NETWORK」の「ネットワーク診断」を使って、正しく接続できたか確認します。

「ネットワーク診断」は、ネットワーク接続に関する情報を収集／分析し、ネットワークに関するトラブルの解決をサポートします。

1. （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Plugfree NETWORK」▶「ネットワーク診断」の順にクリックします。
2. 「ワイヤレスネットワーク接続」が「接続中」となっていることを確認します。

ワイヤレス ネットワーク接続
接続中です
無線LAN接続

Point

- 「ワイヤレスネットワーク接続」が「接続中」にならなかった場合は、もう一度、Step2 で記入した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 5 で設定した内容を確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントで設定した内容と同じ情報をパソコンに設定しないと、ネットワークに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定がわからない場合は、無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- プロバイダーから提供されるインターネット接続に必要な情報が正しく設定されているか確認してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

8 すべてのウィンドウを閉じます。

これで無線 LAN を使ったインターネット接続は完了です。

E メールの設定をする

このパソコンには、E メールソフトとして「Windows Live メール［ウィンドウズライブメール］」や「Outlook 2010［アウトルック2010］」が用意されています。
E メールを始めるには、お使いになる E メールソフトの設定を行う必要があります。
ここでは、「Windows Live メール」を使った E メールの設定方法を説明します。

E メールを使うには

E メールを使うための準備には、次の情報が必要になります。
あらかじめプロバイダーから提供された書類などをご用意ください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

- **メールアドレス**
- **メールアカウント名**
- **メールパスワード**
- **受信（POP）サーバー**
- **送信（SMTP）サーバー**

1 キーボードの上にある メニュー を押し、「らくらくメニュー」を表示します。

2 「らくらくメニュー」の「E メールを読む・送る」をクリックします。

らくらくメニュー
お使いになる機能を選択してください。
インターネット（毎日のページ）
なるほどパソコン入門
かんたん検索
使い方を学ぶ
Eメールを読む・送る
生活便利ページ集
年賀状や暑中見舞いを作る
写真を見る・印刷する
他の機能を使う
困った！を解決する

「Windows Live メール」が起動します。

3 プロバイダーから提供された情報を入力します。

次の画面の操作をします。

①「電子メールアドレス」を入力します。
②「パスワード」を入力します。
③ 表示名に好きな名前を入力します。
ここで入力した名前が、Eメールを送信するときに差出人として表示されます。（半角カタカナは使用しないでください）
④ クリックします。

Point

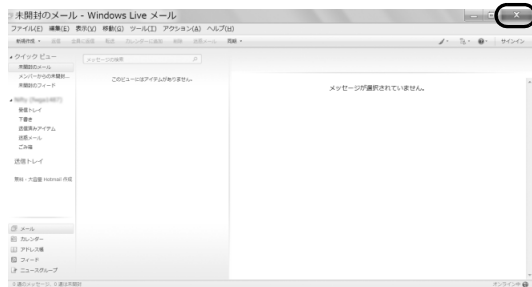
- 「電子メールアカウントを追加する」の画面が表示されない場合は、次の手順で「電子メールアカウントを追加する」の画面を表示することができます。
  1. 「Windows Live メール」で、 をクリックし、「メニューバーの表示」をクリックします。
  2. 「ツール」▶「アカウント」の順にクリックします。
  3. 「追加」をクリックし、「電子メール アカウント」をクリックして「次へ」をクリックします。
- 表示名は、E メールを受け取った相手に差出人として表示される名前です。本名でなくても、ローマ字や漢字などでお好きな名前を設定できます。

4「電子メール サーバーの情報について」が表示された場合は、E メールを送受信するときの設定を入力します。

次の画面の操作をします。
プロバイダーなどから提供された情報を入力してください。

① 受信メールサーバーの種類を選択します。
② 半角英数字で「受信サーバー」を入力します。
③ 半角英数字で「ログインID」を入力します。
④ 半角英数字で「送信サーバー」を入力します。
⑤ クリックします。

5「完了」をクリックします。

6「Windows Live メール」が表示されたら、E メールを使う準備は完了です。
 をクリックして「Windows Live メール」を終了します。

Windows を最新の状態にする

「Windows Update」は、マイクロソフト社が提供するサポート機能です。Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。ウイルスや不正アクセスを防ぐための対策もされるので、定期的に実行してください。

重要

- 「Windows Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

Point

- 「らくらくメニュー」が表示されている場合は、「閉じる」をクリックして終了させてください。

- 手順 3、4 は初回のみ必要です。

1 インターネットに接続されているか確認します。

2 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Windows Update」の順にクリックします。

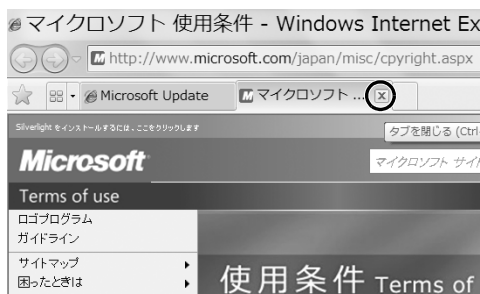
3「詳細情報の表示」をクリックします。
初めて「Windows Update」を行う場合は、「Microsoft Update」のインストールを行います。

4 「使用条件」をご覧になったうえで使用条件に同意し、「インストール」をクリックします。

①「使用条件」をクリックすると、「マイクロソフトの使用条件」ウィンドウが表示されます。
② □をクリックして、☑にします。
③「インストール」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

Point

- 「マイクロソフト使用条件」をご覧になった後は「マイクロソフト使用条件」タブの ☒ をクリックして画面を閉じてください。

5 「Windows Update」ウィンドウが表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

Point

- 「Windows Update」ウィンドウが表示されなかった場合は、次の手順で更新プログラムのインストールを行ってください。
  1. (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Windows Update」の順にクリックします。
  2. 「更新プログラムの確認」をクリックし、画面の指示に従ってください。

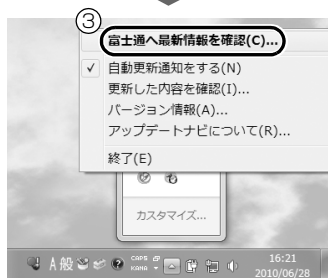
アップデートナビを実行する

「アップデートナビ」で、このパソコンに関連するドライバーやソフトウェアの最新情報を確認し、更新することができます。

Point

- 「らくらくメニュー」が表示されている場合は、「閉じる」をクリックして終了させてください。

1 インターネットに接続されているか確認します。

2 次の画面の操作をします。

① をクリックします。
② 表示されるメニューから (アップデートナビ)を右クリックします。
③「富士通へ最新情報を確認」をクリックします。

3 「ご利用になる上でのご注意」の画面が表示されたら内容をよくお読みになり、「承諾する」をクリックします。

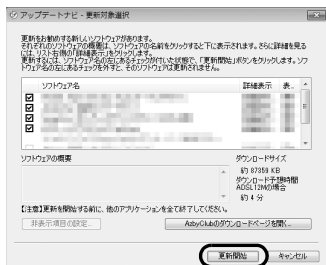
「アップデートナビ」が最新情報を確認します。しばらくお待ちください。お使いの機種や状況によっては、20分程度時間がかかる場合があります。

4 更新項目を確認します。必要に応じて概要、詳細をご覧ください。

更新したくない項目がある場合は、その項目の左にある☑をクリックして□にします。通常は、すべての項目を更新することをお勧めします。

Point

- 「お使いの環境がお勧めの状態です」と表示されたら、更新は必要ありません。「閉じる」をクリックし、アップデートナビを終了させてください。

5 「更新開始」をクリックします。

選択されたソフトウェアの更新が始まります。

Point

- 「更新開始確認」画面が表示されたら、「アップデートナビ」以外のソフトウェアを終了させ、「更新開始確認」画面に従って操作を進めてください。

6 パソコンの再起動を要求するメッセージが表示された場合は、「再起動」をクリックします。

パソコンが再起動し、更新が完了します。

再起動を要求するメッセージが表示されない場合は、これで完了です。

Point

- 「アップデートナビ」は自動で最新情報を通知されるように設定されています。画面右下の通知領域にメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってください。

「ユーザー登録」および「らくらくパソコン利用登録」をする

お客様の情報、およびこのパソコンの機種情報を登録いただくことで、お客様 1 人 1 人に、よりきめ細かなサポート・サービスを提供します。
「ユーザー登録」および「らくらくパソコン利用登録」の方法は、同梱されている『ご利用登録のお願い』をご覧ください。
「ユーザー登録」および「らくらくパソコン利用登録」完了後は、らくらくパソコン専用のサービスが受けられるホームページをご利用できます。

「ユーザー登録」および「らくらくパソコン利用登録」をする

■ユーザー登録について

- お客様専用の「ユーザー登録番号」が発行されます。
- 自動的に富士通パソコンユーザーの会員組織「AzbyClub［アズビィクラブ］」の会員となります。
AzbyClub とは、お客様にパソコンをより楽しく快適にご利用いただくための会員組織です。入会費、年会費は無料です（2 年目以降も無料）。
- ユーザー登録をご希望のお客様は、事前に「AzbyClub 会員規約」（→ P.128）を確認し、ご同意のうえ、専用電話相談窓口にお電話ください。
- すでにユーザー登録がお済みのお客様は、登録されているユーザー情報に、今回ご購入いただいた製品情報を追加いたします。

■らくらくパソコン利用登録について

- らくらくパソコン利用登録は、ユーザー登録とあわせて行いますので、専用電話相談窓口にお電話ください。
- らくらくパソコン利用登録とは、らくらくパソコン専用のサポート＆サービスをご利用いただくうえで、「らくらくパソコン利用規約」（→ P.126）に同意いただくことをいいます。
「らくらくパソコン利用規約」（→ P.126）を事前にご確認のうえ、お電話ください。

専用ホームページを使う準備をする

専用ホームページにログインする方法を説明します。
らくらくパソコン専用ホームページにログインするには、ご利用登録のときに『らくらくパソコン活用ブック』の表紙裏に記載した、「ユーザー登録番号」が必要になります。

1 『らくらくパソコン活用ブック』を用意します。

Point

- パスワードは後日郵送にてお知らせいたします。このパスワードは初期設定のパスワードです。
お知らせが届く前にログインしたい場合は、「パスワードを新規登録する」からご自身でパスワードを決定して、ログインしてください。

ユーザー登録番号、パスワード、ご利用開始日

ユーザー登録番号、パスワード、ご利用開始日は、こちらにご記入のうえ、大事に保管してください。
「らくらくパソコン」専用のサポート＆サービスをご利用いただく際に必要となります。

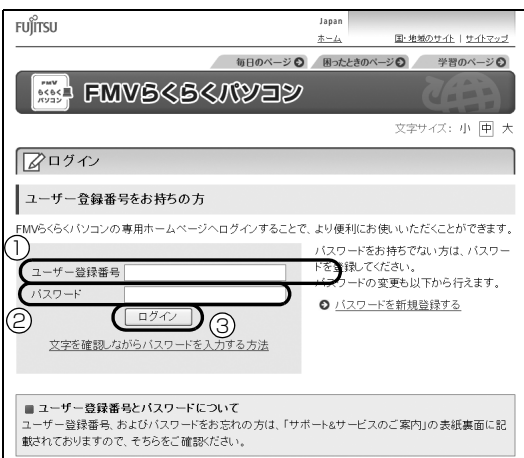
ユーザー登録番号	
ご利用開始日	年 月 日

2 「らくらくメニュー」から「インターネット（毎日のページ）」をクリックします。

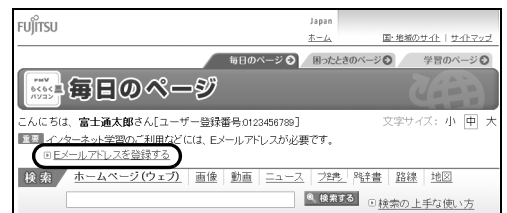
3「毎日のページ」が表示されたら、「らくらくパソコン専用ホームページを、より便利に使うためにログインする」をクリックします。

■パスワードをお持ちの方は
手順 4 へ進んでください。

■パスワードをお持ちでない方は
手順 5 へ進んでください。

4 次の画面の操作をします。

① ユーザー登録番号を半角数字で入力します。
② パスワードを半角英数字で入力します。
③ クリックします。

これで、専用ホームページへのログインは完了です。ログインが完了すると名前が表示されます。

■メールアドレスをお持ちで未登録の場合
メールアドレスの登録をお勧めします。
E メールアドレスが未登録の場合は次のように表示されます。

「E メールアドレスを登録する」をクリックし、手順 11 へ進んでください。

■メールアドレスを登録済の場合
これで専用ホームページを使う準備は完了です。

■メールアドレスをお持ちでない場合
これで専用ホームページを使う準備は完了です。「「Office Personal 2010」のプロダクトキーの入力とライセンス認証をする」(→P.40)へ進んでください。
今後メールアドレスを取得したらご登録いただくことをお勧めします。メールアドレスを登録するとインターネット学習などがご利用いただけます。

5 「ログイン」画面の「パスワードを新規登録する」をクリックします。

6 「ユーザー登録番号」、「姓」、「名」を入力します。

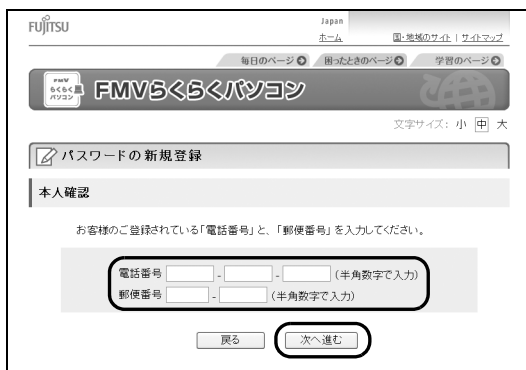
次の画面の操作をします。

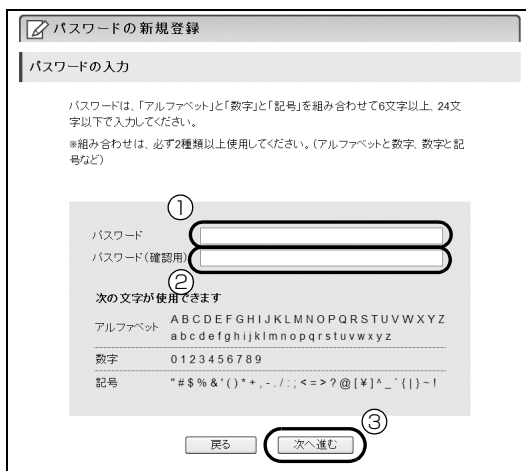
① 半角数字で入力します。
② 全角カタカナで入力します。
③ 全角カタカナで入力します。
④ クリックします。

Point

- 全角カタカナを入力するには、日本語が入力できる状態で入力し、【F7 カナ全角】（カナ全角）を押して変換してください。
  文字入力について詳しくは、デスクトップ型は『ローマ字入力表』を、ノートブック型は『つないでほシート』の裏面をご覧ください。

7 本人確認のため、お客様の登録情報（電話番号、郵便番号など）を入力し、「次へ進む」をクリックします。

入力する項目は、状況によって異なります。画面の表示に従って入力してください。

8 登録するパスワードを入力します。

次の画面の操作をします。

① 6～24文字でお好きなパスワードを入力します。
半角アルファベット、半角数字、半角記号で2種類以上使ってください。
② 同じパスワードをもう一度入力します。
③ クリックします。

Point

- 半角英数字を入力するには、キーボードの上にある【A⇔あ】を押すと、入力できる文字が「かな漢字」／「英字」に切り替わります。
  「英字」に切り替えてから入力してください。

9 『らくらくパソコン活用ブック』の表紙裏に、登録したパスワードを記入します。

ユーザー登録番号、パスワード、ご利用開始日

ユーザー登録番号、パスワード、ご利用開始日は、こちらにご記入のうえ、大事に保管してください。
「FMVらくらくパソコン」専用のサポート&サービスをご利用いただく際に必要となります。

パスワード（ユーザー登録時に発行されたもの）

記入後は第三者に漏れないよう注意してください。

10 パスワードの登録完了画面が表示されたら、「Eメールアドレスを登録する」をクリックします。

FUJITSU
FMVらくらくパソコン
パスワードの新規登録
パスワード登録完了
パスワードの登録が完了しました。
重要
ユーザー登録番号とパスワードは、FMVらくらくパソコン同梱の冊子「らくらくパソコン活用ブック」にご記入のうえ、大切に保管してください。
続けてEメールアドレスの登録を行います。「Eメールアドレスを登録する」をクリックしてください。
Eメールアドレスを登録する

Point

- Eメールアドレスをお持ちでない方は、これでログイン作業は完了です。

11 「ユーザー登録番号」と「パスワード」を入力し、ログインします。

次の画面の操作をします。

FUJITSU
FMVらくらくパソコン
Eメールアドレスの登録・変更
お客様認証
個人情報を保護するため、ログイン済みのお客様も再度認証が必要となります。
ユーザー登録番号とパスワードを入力してください。
① ユーザ登録番号
パスワード
② ログインして次へ
③
ユーザー登録番号とパスワードについて
ユーザー登録番号、およびパスワードをお忘れの方は、「サポート&サービス」の表紙裏面に記載されておりますので、そちらをご確認ください。

① 半角数字で入力します。
② 半角英数字で入力します。
③ クリックします。

12 登録するEメールアドレスを入力します。

次の画面の操作をします。Eメールアドレスは、確認のため2回入力してください。

FUJITSU
FMVらくらくパソコン
Eメールアドレスの登録・変更
重要な情報および、緊急なお知らせをEメールでお届けする場合がございます。
携帯電話/PHSの場合、文字数の制限があるため弊社からのお知らせなどを受信できないことがありますので、パソコンでご使用できるEメールアドレスを入力してください。
現在のEメールアドレス　登録されていません
新Eメールアドレス ①
確認用Eメールアドレス（再度ご入力ください） ②
③ 確認画面に進む

① 半角英数字で入力します。
② ①と同じEメールアドレスを半角英数字で入力します。
③ クリックします。

13 登録するEメールアドレスに誤りがないか確認し、「変更する」をクリックします。

Eメールアドレスを間違えて入力した場合は、「戻る」をクリックし、手順12に戻って入力し直してください。

14 Eメールアドレス登録完了の画面が表示されることを確認します。

登録完了のお知らせがEメールで届きます。後で確認してください。

「Office Personal 2010」のプロダクトキーの入力とライセンス認証をする

初回起動時に「Office Personal 2010」のプロダクトキーの入力とライセンス認証が必要です。詳しくはパッケージに同梱されている「お使いになる前に」をご覧ください。

Point

- ご購入時の状態に戻すリカバリを行った後に、「Office Personal 2010」をインストールする場合、プロダクトキーの入力はインストール中に行います。初回起動時にはライセンス認証のみ行います。

- プロダクトキーはパッケージに同梱されています。
- 「Office Personal 2010」の初回起動時にプロダクトキーの入力をする場合、途中でキャンセルし、再度プロダクトキーの入力をしようとするとパソコンが予期せず再起動する場合があります。プロダクトキーの入力を始めたら「Office Personal 2010」を使えるようになるまで操作を中断しないでください。
- ライセンス期間中にパソコン本体を修理した場合は、再度ライセンス認証が必要になることがあります。
- ライセンス認証ができない場合には、『らくらくパソコン活用ブック』をご覧になりマイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

ここまで設定した状態をバックアップする

いざというときに復元できるように「マイリカバリ」を使って、D ドライブにディスクイメージを作ってください。

重要

- マイリカバリでＤドライブにディスクイメージを作成した後、ハードディスクの領域を変更するとディスクイメージが消えてしまいます。
  作成したディスクイメージは、外付けハードディスクや USB メモリなどに保存しておくことをお勧めします。
  詳しくは、「ディスクイメージをコピーする」（→ P.74）をご覧ください。
- 「マイリカバリ」は、すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません。また、著作権保護された映像や音楽などはバックアップ／復元できない場合があります。
- タッチパネルでの操作はできません。マウスやキーボードで操作してください。

Point

- 「らくらくメニュー」が表示されている場合は、「閉じる」をクリックして終了させてください。

1 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「マイリカバリ」の順にクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

2 「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。

3 「マイリカバリ」ウィンドウの「つくる」をクリックします。

4 コメントを入力し、「次へ」をクリックします。

コメントには、「セットアップした後」など、いつの時点のディスクイメージかわかるように入力してください。

5 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

6 「ディスクイメージの作成」画面が表示されたら、「D ドライブにつくる」をクリックします。

7「次へ」をクリックします。

8「実行」をクリックします。

終了までの時間表示が増えることがあります。これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。ご了承ください。

9「ディスクイメージが作成されました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

これで、今まで設定したパソコンの状態が保存されました。

4 取り扱い

電源を入れる／切る

電源の入れ方と切り方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

⚠ 注意

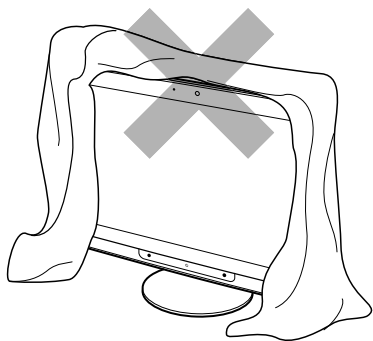
- ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

- 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

電源を入れる

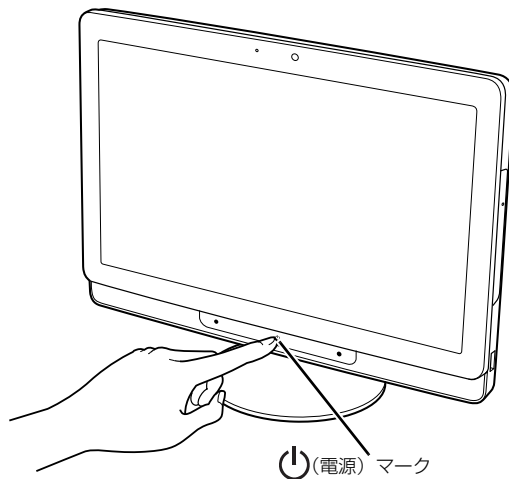
ここでは電源の入れ方のうち Windows を起動する方法を説明します。
電源を入れる前に、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。

重要

- 電源を入れるときの注意
  - 電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
  - パソコンに布などのカバーをかけている場合は、必ずそれらを完全に取り外してから電源を入れてください。パソコンの通風孔などが布などでふさがれたまま使用すると、パソコン内部に熱がこもり、動作不良や本体カバーの変形が起きることがあります。
  - 電源を入れた後は、手順 4 の画面が表示されるまでは電源を切らないでください。手順 4 の画面が表示される前に電源を切ると、パソコンの動作が不安定になります。
- 電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。
マウスを動かしたり、キーボードの 【↑】【↓】【←】【→】 や 【Shift】 のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。

1 パソコンに接続されている機器の電源を入れます。

2 AC アダプタがコンセントに接続されていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 パソコン本体前面の⏻（電源）マークに触れます。
手袋や絆創膏などのない、素手で触れてください。

⏻（電源）マーク

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

電源ボタンが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。

4 このような画面が表示されたことを確認します。

（画面は機種や状況により異なります）

Point

- 電源を入れてもWindowsが起動しない場合は、「起動・終了時」（→ P.94）をご覧ください。

電源を切る

電源を切る操作を行う前に、作業中のデータはないか、また、CD/DVD ドライブにディスクが入ったままになっていないかを確認してください。

1 **パソコン本体前面の⏻（電源）マークに触れます。**

⏻（電源）マークに 4 秒以上触れ続けないでください。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン本体の電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、⏻（電源）マークが消灯します）。

Point

- 電源が切れない場合

  ⏻に 4 秒以上触れて、電源を切ってください。なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。

2 **パソコンに接続されている機器の電源を切ります。**

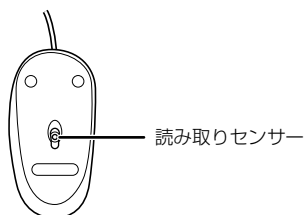
Point

- 「スタート」メニューからも電源を切ることができます

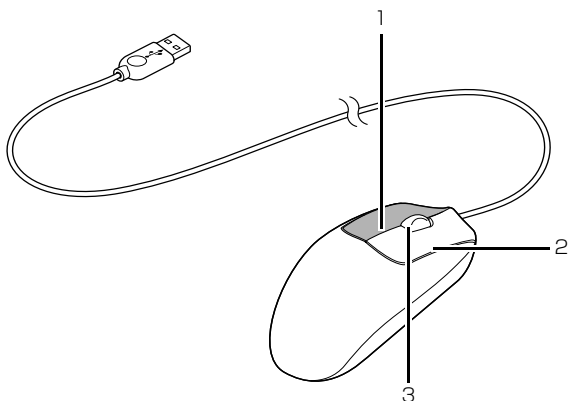
  1. （スタート）→ シャットダウン の順にクリックします。

     電源が切れます（画面が暗くなり、電源ボタンが消灯します）。

マウス

光学式マウスには、裏面に光学式読み取りセンサーが付いています。マウスを机の上などですべらせると、マウス裏面から出された赤い光の陰影を光学式センサーで検知し、画面のマウスポインターが動くようになっています。

マウスをお使いになるときの注意

- オプティカル（光学）センサーについて
  - ・マウス底面から発せられている赤い光は、眼に悪い影響を与えることがあります。直接見ないようにしてください。
  - ・センサー部分を汚したり、傷を付けたりしないでください。
  - ・発光部分を他の用途に使わないでください。
- 光学式マウスは、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。
  - ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
  - ・光沢のあるもの
  - ・濃淡のはっきりしたしま模様や柄のもの（木目調など）
  - ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの
- 光学式マウスは非接触でマウスの動きを検知しているため特にマウスパッドを必要としませんが、マウス本体は接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、傷防止のためにマウスパッドなどを使用することをお勧めします。

各部の名称と働き

1 左ボタン（藤色のボタン）
  クリックするとき押します。
2 右ボタン（白色のボタン）
  右クリックするとき押します。
3 スクロールホイール
  このホイールを前後に回すことで、画面の表示を上下にスクロールさせる（動かす）ことができます。

マウスの使い方

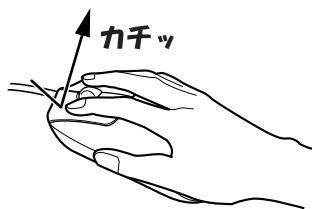
ここでは、このパソコンに添付されているマウスの使い方について説明します。

Point

- マウスの設定について
  マウスの設定は、（スタート）▶「コントロールパネル」▶「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」の順にクリックすると表示されるマウスの設定画面で変更することができます。
- スクロール機能は、使用するソフトウェアによって動作が異なったり、お使いになれないことがあります。

■クリック

左ボタンをカチッと 1 回押して、すぐ離すことです。また、右ボタンを 1 回カチッと押すことを「右クリック」といいます。

カチッ

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

■ダブルクリック

左ボタンをカチカチッと 2 回素早く押して、すぐ離すことです。

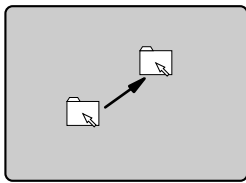
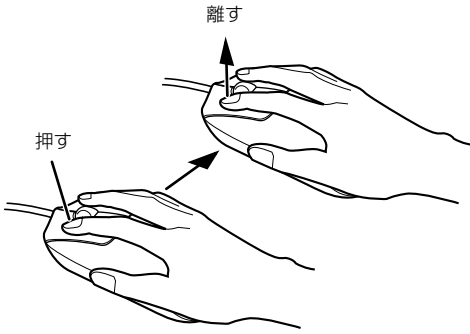
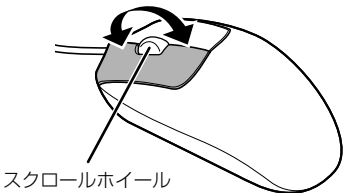
カチカチッ

■ポイント

マウスポインター（ ）をアイコンやメニューなどに合わせることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されます。

ごみ箱

ごみ箱

■ドラッグ
左ボタンを押しながら希望の位置までマウスを移動し、指を離します。

■スクロール
スクロールホイールを前後に回すことで、画面の表示を上下にスクロールさせる（動かす）ことができます。

（イラストは機種により異なります）

タッチ機能

このパソコンには、液晶ディスプレイを直接指先でタッチして操作できるタッチ機能を搭載しています。マウスやキーボードを使わないので、より直感的な操作が可能です。

タッチ機能を使ってできること

- ●指先でマウスポインターを動かす
- ●マウスと同様の「クリック」や「ドラッグ」などの操作ができる
- ●タッチ操作による文字入力（「タッチ文字入力」、「ソフトウェアキーボード」など）
- ●絵を描いたり、手書き文字を書いたりする

Point

- タッチ操作をするときは、指の代わりにペンなどを使うこともできます。キャップなどで先端を保護してから使うようにしてください。
ボールペンの先などのように固いものや先端がとがっている状態で使うと、画面に傷が付きます。また、インクなどが画面に付着すると、タッチ機能が正しく動作しない場合があります。

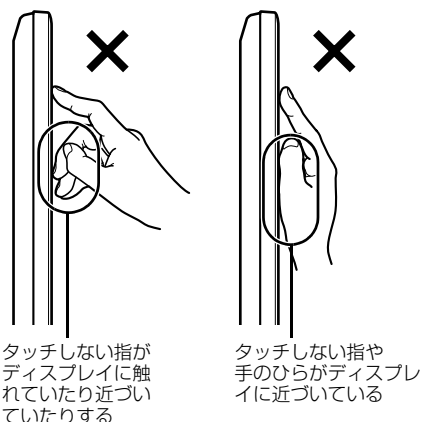
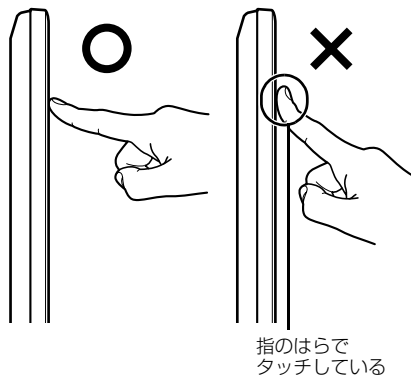
タッチ機能についての注意

- ●液晶ディスプレイをタッチするときは、強く押さないでください。
- ●液晶ディスプレイ表面を引っかいたり、金属製のものや固いもので突いたりしないでください。パソコンが転倒したり、液晶ディスプレイが破損したりするおそれがあります。
- ●濡れた手や、指先が汚れた状態で操作しないでください。
- ●ソフトウェアによっては、タッチ機能の反応が悪かったり、タッチ機能に対応していない場合があります。
この場合は、マウスを使用してください。

●指のはらでタッチしたり、タッチしない指や手のひらをディスプレイに近づけすぎないでください。タッチした位置が正しく認識されないことがあります。

指のはらで
タッチしている

タッチしない指が
ディスプレイに触
れていたり近づい
ていたりする

タッチしない指や
手のひらがディスプレ
イに近づいている

●次のものは使用しないでください。
- ・先端部が金属製（メッキ含む）のもの
- ・透明なもの
- ・濡れているもの
- ・消しゴムなど、こするとゴミが出るもの
- ・先端部が細いもの
  約 5mm 以下の場合、正しく認識されないことがあります。

●液晶ディスプレイ（タッチパネル）に、ほこりや皮脂が付着していたり、ディスプレイの縁にゴミやほこりが付着していると、タッチ機能が正しく動作しない場合があります。液晶ディスプレイは、ときどき清掃してください。毛筆や絵筆を使用する場合は、使用するごとに清掃してください（→ P.65）。

Point

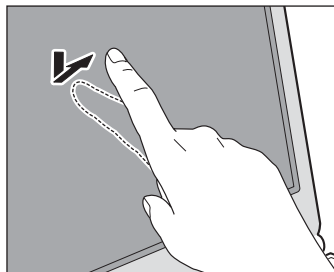
▶「Tablet PC 設定」ウィンドウの「画面」タブにある「調整」をクリックして表示される画面で、タッチする位置を調整しないでください。調整してしまった場合は、ご購入時の設定に戻してください。ご購入時の設定に戻す方法は、次のとおりです。

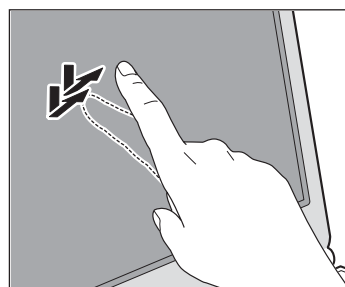
1. （スタート）▶「コントロールパネル」▶「ハードウェアとサウンド」▶「Tablet PC 設定」の順にクリックします。
   「Tablet PC 設定」ウィンドウが表示されます。
2. 「画面」タブで、「リセット」をクリックします。
   ご購入時の設定に戻ります。

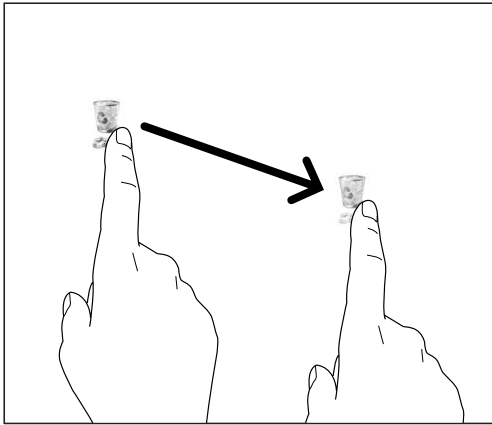
タッチ機能を使う

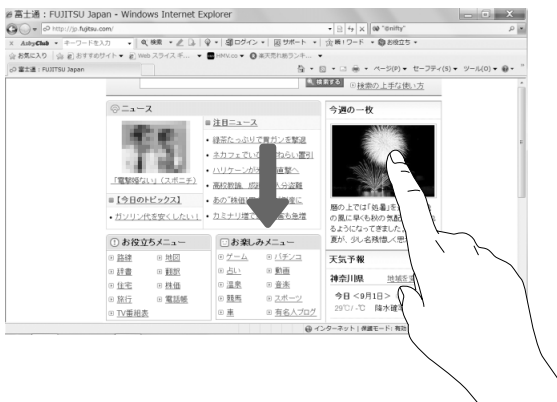
タッチ機能を使った主な操作について説明します。

■タップ

画面を 1 回たたきます。これをタップといいます。
マウスの「クリック」と同じ操作です。

■ダブルタップ

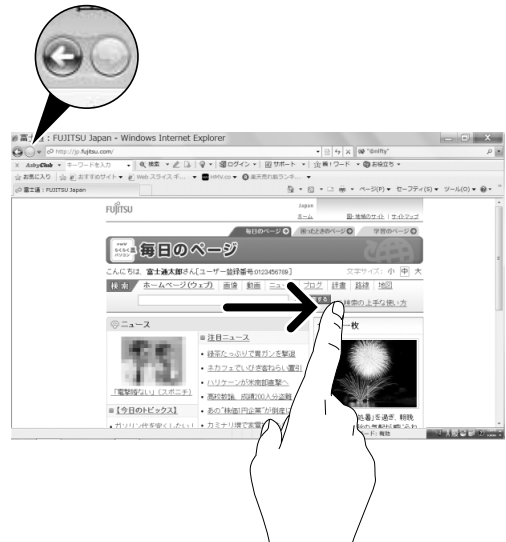
画面を 2 回連続して軽くたたきます。
マウスの「ダブルクリック」と同じ操作です。

■ドラッグ

画面に指をタッチしたまま画面を移動し、希望の位置で指を離します。

■スクロール

スクロールしたい画面を指でタッチし、スクロールしたい方向（上下、または左右）に指をなぞります。例えば、画面を下にスクロールする場合は、指を上になぞります。

■フリック

タッチした所から指をはじくように動かします。

写真や画像ファイルを見ている場合は、右へはじくと前の画像を表示し、左へはじくと次の画像を表示します。

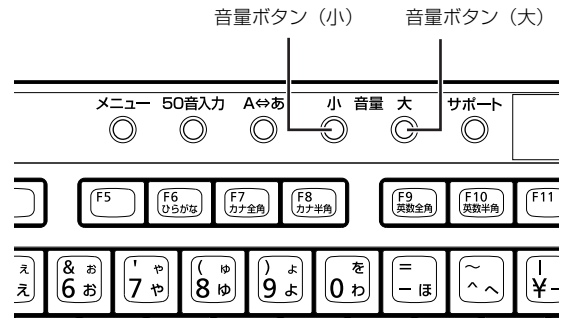
「Internet Explorer」の場合は、右へはじくと「戻る」と同様の動きをし、左へはじくと「進む」と同様の動きをします。

■選択

選択開始位置を指でタッチし、そのまま指を離さずに選択終了位置までなぞると、その範囲内にある画像やフォルダ、および文字列をまとめて選択できます。

音量

ここでは、キーボードの音量調節ボタンから音量を調節する方法について説明します。

1 キーボード上部にある音量調節ボタンを押して、適切な音量に調節します。

音量ボタン（小）を押すと小さく、音量ボタン（大）を押すと大きくなります。

（イラストは機種や状況により異なります）

Point

- 画面右下の通知領域にある （スピーカー）をクリックして表示されるウィンドウなど、他の方法でも音量を調節できます。

画面の明るさ

パソコン本体前面の明るさ調節ボタンで、液晶ディスプレイの明るさを変更することができます。

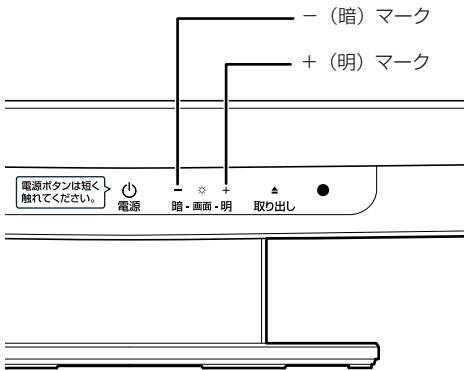
1 パソコン本体前面にある＋（暗→明）マークや－（明→暗）マークに触れて、適切な明るさに調節します。

手袋や絆創膏などのない、素手で触れてください。＋（暗→明）マークに触れると明るく、－（明→暗）マークに触れると暗くなります。

■パソコン本体前面

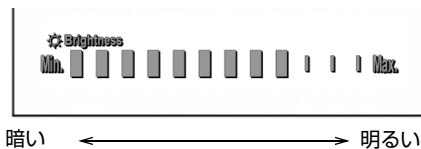
－（暗）マーク

＋（明）マーク

電源ボタンは短く触れてください。 電源 暗 - 画面 - 明 取り出し

（イラストは機種や状況により異なります）

明るさを調節中は、画面下部に明るさを示すインジケーターが表示されます。

Brightness Min. Max.

暗い ←→ 明るい

CD/DVD ドライブ

このパソコンでは、CD や DVD の再生や読み出し／書き込みを行うことができます。なお、ここでは CD、DVD を総称してディスクと呼んでいます。

ディスクを使うときの注意

重要

- 著作物の録音や複製に関する注意
  音楽や画像などの著作物は、著作権法で保護されています。録音・複製（データ形式の変換を含む）などは、お客様個人、またはご家庭内で楽しむ目的でのみ、行うことができます。音楽や画像をネットワーク上で配信するなど、上記目的を超える場合は、著作権者の許諾が必要です。
- 著作権を保護されたディスクはコピーできません。
  ディスクの種類によっては、著作権保護のため、コピープロテクトがかかっている場合があります。このパソコンでは、著作権保護として、デスクランブル機能および相互認証機能が用意されています。著作権を保護されたデータなどをコピーしても、再生できません。

- ディスクの再生中や書き込み／書き換え中は、振動や衝撃を与えないでください。
- ケースから取り出すときやパソコンにセットするときなど、ディスクは両面とも触らないようにしてください。
- ディスクは両面とも指紋やほこり、傷などを付けないでください。
- ディスクは両面ともラベルを貼らないでください。
- ディスクの表面にボールペンや鉛筆などの硬いもので字を書くと、ディスクに傷が付くおそれがあります。
- コーヒーなどの液体をかけないでください。
- 汚れたり水滴が付いたりしたときは、少し湿らせた布で中央から外側へ向かって拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
  シリコンクロスは使用しないでください。
  ヘアードライヤーなどで乾燥させたり、自然乾燥をさせないでください。
  ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電気防止剤などで拭かないでください。

●使わないときは、ケースに入れて保管してください。
●曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
●高温・低温の場所に保管しないでください。

ディスクを再生するときの注意

■再生時の注意

●ディスクの再生直後、数秒間画面が正常に表示されないことがあります。
●デジタル放送を録画したDVDを初めて「WinDVD」で再生するときは、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。必ず「はい」をクリックしてください。
●ディスクによっては、正常に再生されなかったり、「WinDVD」の一部の機能が使用できない場合があります。
●再生するディスクのマニュアルも必ずご覧ください。
●「WinDVD」を起動中にディスクを交換する場合は、一度「WinDVD」を終了してください。
●各ボタンを操作する間隔は、1 秒以上あけてください。
●再生するディスクによっては、コマ落ちする場合があります。
●ディスクを再生する前に、他のソフトウェアは終了させてください。

Point

▸ DTSで記録されたDVD-VIDEOは、このパソコンでは音声再生ができません。

■「WinDVD」の更新について

このパソコンには、ディスクを再生するソフトウェア「WinDVD」が用意されています。「WinDVD」は常に最新の状態に更新してお使いください。「WinDVD」を更新するには、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「ダウンロード」から、アップデートプログラム（随時提供）をダウンロードして、インストールしてください。
インストール手順については、アップデートプログラムに添付されている「Readme.txt」をご覧ください。

ディスクに書き込み／書き換えをするときの注意

●推奨ディスク以外のディスクをお使いになる場合は、書き込み／書き換え速度に対応したディスクをお使いください。
●書き込み／書き換え中にディスク面に傷を検出した場合、書き込み／書き換えが中断されることがあります。
●ディスクへ正常に書き込み／書き換えができない場合は、書き込み／書き換え速度を落とすことで、できる場合があります。
●DVD プレーヤーで映像を見る目的で、DVD に書き込みをする場合、画像の解像度は 720 × 480 に設定することをお勧めします。
その他の解像度で作成されたファイルを DVD に保存すると、一部の DVD プレーヤーで再生できない場合があります。
●「Roxio Creator」では DVD-RAM への書き込み／書き換えは行えません。

■書き込み／書き換えを行う前に

ディスクに、書き込み／書き換えを行う前に、次の操作をしてください。
●他のソフトウェアは終了させてください。
●ディスクに書き込み／書き換え中にスリープや休止状態にならないように、「電源オプション」ウィンドウで「コンピューターをスリープ状態にする」を、「なし」に設定してください。
設定の変更については、次のマニュアルをご覧ください。
Web『補足情報』

●ディスクに書き込み／書き換え中にディスプレイがスクリーンセーバーに移行しないように次の設定をしてください。

1. デスクトップの何もないところを右クリックします。
2. 表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
3. 「スクリーンセーバー」をクリックします。
4. 「スクリーンセーバー」の ▾ をクリックし、一覧から「(なし)」をクリックします。
5. 「OK」をクリックします。
6. ✕ をクリックします。

■書き込み／書き換え中の操作について

ディスクに書き込み／書き換え中は、次の操作を行わないでください。
書き込み／書き換えに失敗したり、時間がかかる場合があります。

- パソコン本体の電源を切る
- パソコンをスリープや休止状態にする
- ⏏(CD/DVD 取り出し）マークに触れる
- 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す
- ディスクを操作するボタンを押す
- 他のソフトウェアを起動または操作する
- LAN などによるデータ転送をする

■一度書き込み／書き換えしたディスクをお使いになるときは

一度書き込み／書き換えしたディスクをお使いになるときは、次の点にご注意ください。

- パケットライト方式でデータが書き込まれたディスクは、このパソコンでは読み込むことはできません。
  これらのディスクの読み込みや書き込みを行う方法については、ディスクを作成するときに使用したソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
- 一度フォーマットや書き込みをした後は、同じソフトウェアを使って書き換え、追記を行ってください。
- DVD+RW や DVD-RW、CD-RW に保存したファイルは、そのまま編集や更新をすることはできません。編集や更新をする場合は、次の手順で操作してください。
  1. デスクトップなど、ハードディスクにファイルをコピーします。
  2. ファイルが読み取り専用になっていたら、「読み取り専用」の属性を外します。
     「読み取り専用」の属性を外すには、対象のファイルを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。
     プロパティウィンドウで「全般」タブをクリックし、「読み取り専用」の☑をクリックして□にし、「OK」をクリックします。
  3. ファイルの編集や更新をし、再度ディスクへ書き込みを行います。
- このパソコンで書き込みをしたディスクは、別のパソコンやソフトウェアで利用できない場合があります。

使えるディスク／使えないディスク

■使えるディスク

このパソコンでは、8cm の CD または 12cm の CD や DVD がお使いになれます。
このパソコンでお使いになることのできるディスクは、次のとおりです。

○：対応　×：非対応

	読み出し（再生）	書き込み	書き換え
CD-ROM、音楽CD、フォトCD、ビデオCD	○	×	×
CD-R	○	○	×
CD-RW	○	○[注 1]	○[注 1]
DVD-ROM	○	×	×
DVD-VIDEO	○[注 2]	×	×
DVD-R、DVD-R DL	○	○	×
DVD-RW	○	○[注 1]	○[注 1]
DVD+R、DVD+R DL	○	○	×
DVD+RW	○	○[注 1]	○[注 1]
DVD-RAM	○	○[注 3]	○[注 3]

注１：CD-RW、DVD-RW、DVD+RW に書き込んだデータを削除するには、データをすべて消去する必要があります。
注２：DVD-VIDEO は、リージョン（地域）コードに［2］が含まれているか、もしくは［ALL］のものを使用できます。
注３：購入したDVD-RAMを使い始めるには、フォーマットを行う必要があります。ディスクのフォーマットについては、「ディスクをフォーマットする」（→P.55）をご覧ください。

重要

▶ DVD-RAM について
- ・カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをご購入ください。カートリッジに入れた状態で使用するタイプ（Type1）は使用できません。また、無理に取り出して使わないでください。
- ・2.6GB および 5.2GB のディスクは、使用できません。
- ・DVD-RAM2（12 倍速／ 16 倍速）は、使用できません。

■推奨ディスク

次のディスクの使用を推奨します。

下記以外のディスクをお使いの場合は、書き込み／書き換え速度が低下することがあります。また、正常に書き込み／書き換えができない場合や再生できない場合があります。

	メーカー	メーカー型名
CD-R	太陽誘電（That's）	CDR80WTY、CDR80WPY
CD-RW	三菱化学メディア	SW74QU5、SW80QU5、SW74EU5、SW80EU5
	Verbatim	SW80QU5V1、SW80QM5V1、SW80QP5V1、SW80EU5V1、SW80EM5V1
DVD-R	太陽誘電（That's）	DR-47WTY50BNT、DR-47WKY10SN、DR-47WTY20AA、DR-47WPY30AA
	三菱化学メディア	DHR47J10、DHR47HRP10
DVD-R DL	三菱化学メディア	DHR85H1
DVD-RW	日本ビクター	VD-W47H
	三菱化学メディア	DHW47R1
DVD+R	太陽誘電（That's）	DR+47WTY10PN
	三菱化学メディア	DTR47J10
DVD+R DL	三菱化学メディア	DTR85H1
DVD+RW	三菱化学メディア	DTW47U1
DVD-RAM	パナソニック	LM-HC47M（4.7GB、カートリッジ無）、LM-HB47MA（4.7GB、カートリッジ有、取り出し可）、LM-HB94M（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
	日立マクセル	DRM47PWC.S1P5S A（4.7GB、カートリッジ無）

■使えないディスク

次のディスクはお使いにならないでください。

- 円形以外の異形ディスク（星型やカード型などの変形ディスク）
  このパソコンは円形のディスクのみお使いになれます。
  円形以外の異形ディスクをお使いになると故障する場合があります。
  異形ディスクをお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 規格外の厚さの DVD 媒体
  DVD 規格では媒体の厚さを 1.14mm ～ 1.5mm と規定しています。
  記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。
  規格外の DVD 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 市販のクリーニングディスク、レンズクリーナー
  市販のクリーニングディスク、レンズクリーナーをお使いになると、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVDドライブのレンズが汚れてしまう場合がありますので、お使いにならないでください。
- 中心に穴のあいていないディスク
- 傷またはヒビの入ったディスク
  傷またはヒビの入ったディスクをお使いになるとドライブ内で破損する場合があります。

ディスクをパソコンにセットする／取り出す

■ディスクをセットする

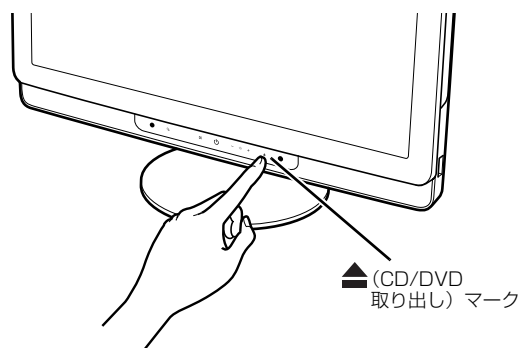
ディスクは、パソコンの電源が入っている状態のときにセットできます。

⚠ 注意

- ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

1 パソコン本体前面の⏏（CD/DVD 取り出し）マークに触れます。

手袋や絆創膏などのない、素手で触れてください。

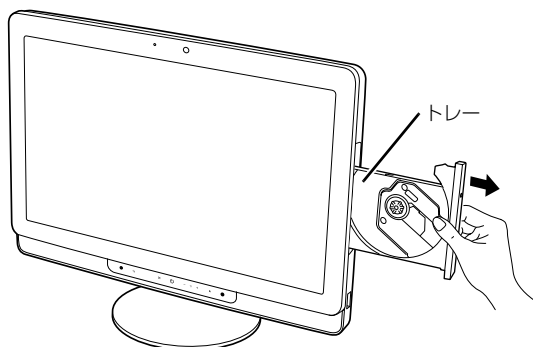
⏏（CD/DVD 取り出し）マーク

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

ディスクをセットするトレーが少し出てきます。

2 トレーの中央部を持って、トレーを静かに引き出します。

パソコン本体を左右に回転すると、操作しやすくなります。

トレー

重要

▸ トレーを引き出すときの注意
- ・トレーは勢いよく引っ張り出さないでください。
- ・トレーは最後まで引き出してください。

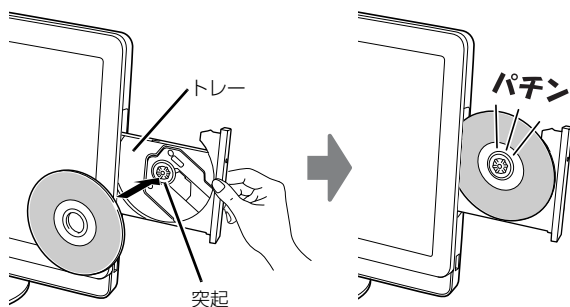
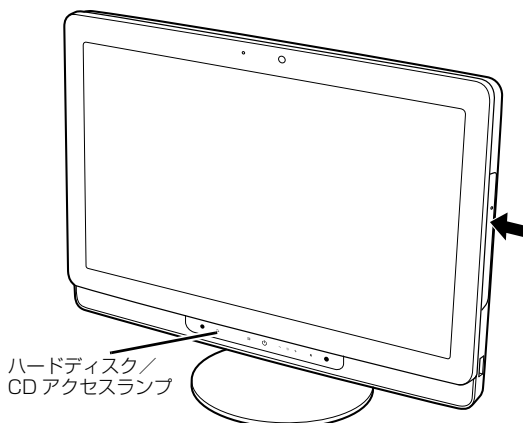
3 パソコンにディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を手前側に（両面タイプの DVD-RAM の場合は、データの読み取り／書き込みを行う面を裏側に）して、トレーの中央の突起にディスクの穴を合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりとはめ込んでください。このとき、パソコン本体が転倒しないようトレーを手で押さえてください。

きちんとはめ込まないと、再生できなかったり、ディスクが取り出せなくなったりすることがあります。

トレー

パチン

突起

4 トレーを手で「カチッ」と音がするまで押します。

ハードディスク／CD アクセスランプ

ハードディスク／CD アクセスランプが消灯したことを確認してから、次の操作に進んでください。

ディスクによっては、セットすると自動的に起動するものもあります。

5「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、次のどちらかの操作をします。

・すでにソフトウェアが起動している場合は、✕ をクリックします。

・ソフトウェアが起動していない場合は、表示されている項目の一覧で使いたいソフトウェアをクリックします。

ソフトウェアが起動している場合はここをクリック。

使いたいソフトウェアをクリック。

（画面は機種や状況により異なります）

■ディスクを取り出す

ディスクは、パソコンの電源が入っている状態のときに取り出すことができます。

⚠ 注意

- ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレーに指などを入れないでください。
  けがの原因となることがあります。

1 ディスクを使っているソフトウェアがあれば、終了します。

2 ハードディスク／ CD アクセスランプが消灯していることを確認し、パソコン本体前面の⏏（CD/DVD 取り出し）マークに触れます。

手袋や絆創膏などのない、素手で触れてください。
ディスクがセットされたトレーが少し出てきます。

3 トレーの中央部を持って、トレーを静かに引き出します。

パソコン本体を左右に回転すると、操作しやすくなります。

重要

▸ トレーを引き出すときの注意
トレーを引き出すときは、勢いよく引っ張り出さないでください。

4 ディスクを取り出します。

5 トレーを手で「カチッ」と音がするまで押します。

ディスクをフォーマットする

DVD-RAM は、お使いになる前にこのパソコンで読み書きできるようにするフォーマット（初期化）を行う必要があります。

ここでは、特定のソフトウェアを使用せずに、「コンピューター」から DVD-RAM などに直接データを書き込んで使用する場合のフォーマットの方法を説明します。9.4GB の両面タイプの DVD-RAM については、片面ごとにフォーマットしてください。
特定のソフトウェアを使用して、データの書き込み、書き換えをする場合は、お使いになるソフトウェアのマニュアルやヘルプをご覧になり、フォーマット形式を選択してください。

⚠ 注意

- DVD-RAM をセットまたは取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレーに指などを入れないでください。
  けがの原因となることがあります。

1 フォーマットするディスクをセットし、（スタート）▶「コンピューター」の順にクリックします。

「コンピューター」ウィンドウが表示されます。

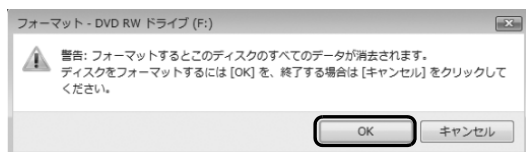
2 ディスクのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「フォーマット」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

3「ファイルシステム」の ▼ をクリックして、「UDF 2.00」を選びます。

4 必要に応じて、「ボリュームラベル」に名前を入力し、「開始」をクリックします。

ディスクに好きな名前を付けることができます。

5 フォーマットを確認するメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

フォーマットが始まります。

6「フォーマットが終了しました」と表示されたら、「OK」をクリックします。

7「閉じる」をクリックします。

メモリーカード

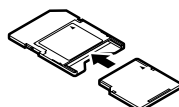
SD メモリーカードやメモリースティックを総称して、メモリーカードと呼んでいます。

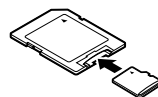
お使いになるうえでの注意

- **メモリーカードは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリーカードを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。**
- **メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo、メモリースティック PRO-HG Duo、またはメモリースティック マイクロをお使いの場合は、アダプターが必要になります。**
- **miniSD カード、microSD カード、または microSDHCカードをお使いの場合は、アダプターが必要になります。**

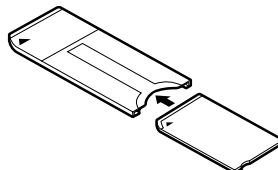
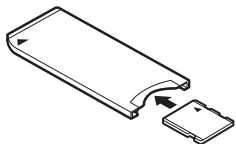
  必ずアダプターに差し込んでからお使いください。そのままダイレクト・メモリースロットに挿入すると、メモリーカードが取り出せなくなります。

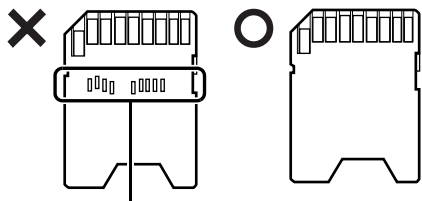
  また、メモリーカードを取り出す場合は、必ずアダプターごと取り出してください。アダプターだけをダイレクト・メモリースロットに残すと、故障の原因となります。

miniSD カードアダプター

miniSD カード

microSD カードアダプター

microSD カード
microSDHC カード

メモリースティック Duo アダプター

メモリースティック Duo
メモリースティック PRO Duo
メモリースティック PRO-HG Duo

メモリースティック マイクロアダプター

メモリースティック マイクロ

- **メモリースティック Duo アダプターは、塗装部分が剥がれた状態では使用しないでください。**
  ダイレクト・メモリースロット内部の端子が接触し、メモリーカードを認識しなかったり、故障の原因となります。
  また、剥がれた塗装部分などにテープなどを貼って使用することはおやめください。アダプターが取り出せなくなる場合があります。
- **端子が露出しているminiSDカードアダプターは使用しないでください。**
  ダイレクト・メモリースロット内部の端子が接触し、故障の原因となります。
  miniSD カードのアダプターは、裏面中央部から端子が露出していない製品をご利用ください。

端子が露出している

- メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。このパソコンでフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使えなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。
- Windows 7 の ReadyBoost には対応しておりません。

使えるメモリーカード

ダイレクト・メモリースロットは、デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためのスロットです。
ダイレクト・メモリースロットが対応しているメモリーカードは次のとおりです。
なお、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

●メモリースティック

	MEMORY STICK［注］
そのままセットできるもの	・メモリースティック（128MB） ・メモリースティック（メモリーセレクト機能付）（128MB） ・メモリースティック PRO（32GB）
アダプターが必要なもの	・メモリースティック Duo（128MB） ・メモリースティック PRO Duo（32GB） ・メモリースティック PRO-HG Duo（32GB） ・メモリースティック マイクロ（16GB）

注：マジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。

●SD メモリーカード

	SDXC［注］
そのままセットできるもの	・SD メモリーカード（2GB） ・SDHC カード（32GB） ・SDXC カード（64GB）
アダプターが必要なもの	・miniSD カード（2GB） ・microSD カード（2GB） ・microSDHC カード（32GB）

注：・マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
・SDIO カードには対応していません。
・著作権保護機能（CPRM［シーピーアールエム］）に対応していません。

メモリーカードを差し込む／取り出す

⚠ 注意

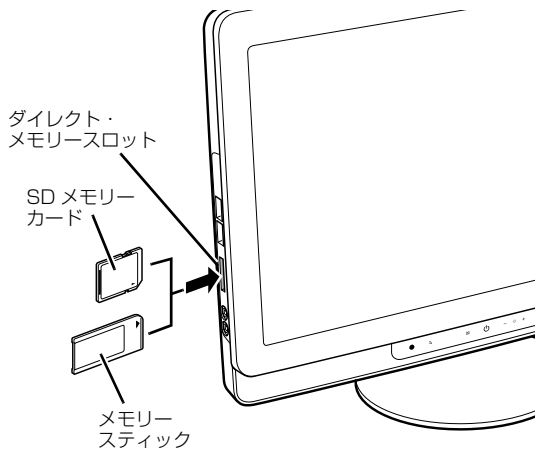
- メモリーカードをセットまたは取り出す場合は、ダイレクト・メモリースロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

- 取り外したメモリーカードは小さいお子様の手の届かないところに置いてください。
お子様が口に入れたり、誤って飲み込むとけがや窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

■メモリーカードを差し込む

1 メモリーカードをダイレクト・メモリースロットにセットします。

パソコン本体を左右に回転すると、操作しやすくなります。

ダイレクト・メモリースロット
SD メモリーカード
メモリースティック

※製品名のある面をパソコン本体前面側にして、まっすぐにセットします。
※SDメモリーカードとメモリースティックを同時に使用することはできません。

（イラストは機種や状況により異なります）

■メモリーカードを取り出す

1 メモリーカードにアクセスしていないことを確認します。

ファイルのコピー、移動、削除などが終了していることを確認してください。

2 画面右下の通知領域にある ▲ をクリックし、表示された （ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）をクリックします。

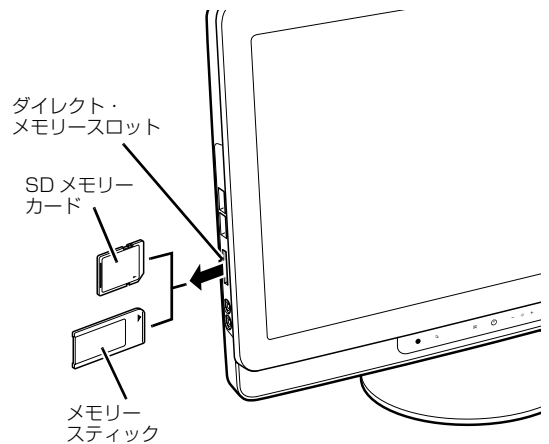
メモリーカードによっては、（ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）が表示されないものもあります。アイコンが表示されない場合には、メモリーカードのマニュアルをご覧になり、確認してください。

3「nnn の取り出し」をクリックします。

nnn にはお使いのメモリーカードの名称が表示されます。

4「nnn　はコンピューターから安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されたら、メモリーカードをパソコンから取り出します。

パソコン本体を左右に回転すると、操作しやすくなります。
メモリーカードを一度押すと、少し飛び出します。

ダイレクト・メモリースロット
SD メモリーカード
メモリースティック

（イラストは機種や状況により異なります）

飛び出したメモリーカードを引き抜きます。

重要

- ダイレクト・メモリースロットからメモリーカードを取り出す場合は、メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。
また、メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
- メモリーカードを取り出すときは、ダイレクト・メモリースロットを人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出して、思わぬけがをするおそれがあります。

Webカメラ

このパソコンには、動画や静止画を撮影することのできるカメラが搭載されています。Webカメラを使って、動画や静止画を撮影したりテレビ電話を楽しむことができます。

Webカメラでできること

このパソコンのWebカメラでは、主に次のことができます。

- YouCamで動画や静止画を撮影する
  Webカメラで撮影したデータは、メールに添付することもできます。
- Windows Live Messengerでテレビ電話を楽しむ
  インターネットに接続している仲間と、リアルタイムでメッセージの交換などもできます。

Point

- Webカメラを使用する場合は、部屋を明るくしてください。

Webカメラを使うソフトウェアの起動方法と使い方

■「YouCam」

□起動方法

(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「CyberLink YouCam」▶「CyberLink YouCam」の順にクリックします。

詳しい使い方については、「YouCam」のヘルプをご覧ください。

「YouCam」のヘルプは、ウィンドウ右上の ? をクリックすると表示されます。

■「Windows Live Messenger」

□起動方法

(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「Windows Live」▶「Windows Live Messenger」の順にクリックします。

Point

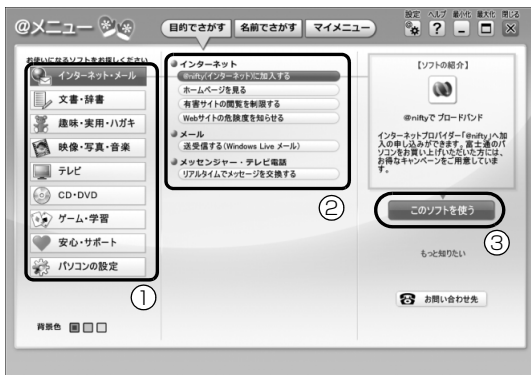
- 「Windows Live Messenger」について
  - ・「Windows Live Messenger」のご利用には、Windows Live IDの取得が必要です。
  - ・「Windows Live Messenger」をこのパソコンよりアンインストールした場合、再度インストールするには「Windows Live Messenger」のホームページ(http://messenger.live.jp/)よりプログラムをダウンロードする必要があります。

ソフトウェアを使う

このパソコンには、搭載されているソフトウェアを簡単に探すための、「@メニュー」が搭載されています。

やりたいことがあるけれど、どのソフトウェアを使えば良いか分からないときは、「@メニュー」で探すことができます。
「@メニュー」を起動するには、「らくらくメニュー」の「その他の機能を使う」をクリックします。

「@メニュー」の使い方

1. カテゴリを選択します。
2. やりたいことを選択します。
3. 「このソフトを使う」をクリックして、ソフトウェアを起動します。

（画面は機種や状況により異なります）

Point

- このパソコンに搭載されているソフトウェアの一覧は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）に掲載されています。
  なお、ソフトウェア一覧を確認する方法については、「Q&A navi」（http://azby.fmworld.net/qanavi/）で案内しています。「Q&A navi」でQ&Aナンバー「8107-4567」を検索してご覧ください。

周辺機器の取り扱い

メモリなどの周辺機器をお使いになる場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

⚠ 警告

周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

- 周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
  誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器とは

USB マウス、プリンター、デジタルカメラ、USB メモリ、携帯オーディオプレイヤーなどの装置の総称です。周辺機器は、パソコンの各種コネクタに接続したり、パソコン本体内部に取り付けたりすることができます。

周辺機器を取り付けると

デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、E メールに添付したり、プリンターを接続して文書や写真を印刷したり、パソコンでできることがさらに広がります。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- **周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします**
  純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。
  純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周

辺機器メーカーにご確認ください。

- **周辺機器に添付のドライバーがお使いのWindowsに対応しているか確認してください**

  お使いになる周辺機器のドライバーがお使いのWindows に対応していないと、その周辺機器はお使いになれません。必ずお使いの Windows に対応したものをご用意ください。

- **周辺機器によっては設定作業が必要です**

  周辺機器の中には、接続した後に「ドライバーのインストール」などの設定作業が必要なものがあります。周辺機器の接続は、このマニュアルと、取り付ける周辺機器のマニュアルをよくご覧になり、正しく行ってください。

- **一度に取り付ける周辺機器は 1 つだけにしてください**

  一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバーのインストールなどが正常に行われないおそれがあります。1 つの周辺機器の取り付けが終了して、動作確認を行ってから、別の周辺機器を取り付けてください。

- **コネクタの向きを確認してください**

  周辺機器を接続する場合は、まっすぐ接続してください。

- **マイク・ラインイン兼用端子／ヘッドホン・ラインアウト兼用端子への接続について**

  次のような場合には、あらかじめ音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンは使用しないでください。雑音が発生する場合があります。

  ・パソコン本体の電源を入れるとき、切るとき

  ・マイク・ラインイン兼用端子やヘッドホン・ラインアウト兼用端子にケーブルを接続するとき

- **周辺機器の電源について**

  周辺機器の電源はパソコン本体の電源を入れる前に入れるものが一般的ですが、パソコン本体より後に電源を入れるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■パソコン本体内部に取り付ける場合の注意

- **パソコンおよび接続されている機器の電源を切ってください**

  パソコンの電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。安全のため、マニュアル内に電源プラグを抜くように指示がある場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」（→ P.44）をご覧ください。

- **電源を切った直後は作業をしないでください**

  電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってから作業を始めてください。

- **内部のケーブル類や装置の扱いに注意してください**

  傷を付けたり、加工したりしないでください。また、ねじったり、極端に曲げたりしないでください。

- **柔らかい布の上などで作業してください**

  固いものの上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

- **静電気に注意してください**

  内蔵周辺機器は、基板や電子部品がむきだしになっています。これらは、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度大きな金属質のものに手を触れるなどして静電気を放電してください。

- **基板表面やはんだ付けの部分、コネクタ部分には手を触れないでください**

  金具の部分や、基板のふちを持つようにしてください。

らくらくホン専用スタンド

らくらくホン 7 をお使いの方のみ

このパソコンは、「らくらくホン専用スタンド」を利用して、「らくらくホン 7」で撮影した写真を簡単に取り込むことができます。
ここでは、写真を取り込むうえでの注意と、よくあるトラブルとその解決方法について説明しています。
写真の取り込み方法については、『らくらくパソコン活用ブック』をご覧ください。

写真を取り込むうえでの注意

「らくらくホン専用スタンド」を利用して写真を取り込むときは、次のことに注意してください。

- 利用できる携帯電話は「らくらくホン 7」のみです。
- 取り込むことができる写真は、JPEG 形式のファイルのみです。
- 動画は取り込むことができません。
- 次の場合は、写真を取り込むことができません。
  - ・パソコンの電源が入っていない場合
  - ・パソコンがログイン画面になっている場合
  - ・パソコンがスクリーンセーバーを表示している場合
  - ・「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」に置いた後、パソコンを起動した場合
  - ・「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」に置いた後、「らくらくホン専用スタンド」をパソコンに接続した場合
  - ・「らくらくホン 7」の電源が入っていない場合
  - ・「らくらくホン 7」が待ち受け状態になっていない場合
  - ・USB ハブに「らくらくホン専用スタンド」を接続している場合
- 「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」に置いているときは、「らくらくホン 7」の操作はできません。
- 「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」に置いているときは、外部接続端子での充電はできません。
- 「らくらくホン専用スタンド」は、写真を取り込む以外の目的で使用しないでください。
- 「マイフォトビューアー」の「ゴミ箱に入れる」で写真を削除した場合は、写真を取り込み直すことができません。
  「Corel Digital Studio」のゴミ箱から「元に戻す」を選択して、写真を元の保存場所に戻してください。

よくあるトラブルと解決方法

パソコンに表示されるメッセージ	らくらくホン７に表示されるメッセージ	考えられる原因	対処方法
「処理を中止しました」	ー	「らくらくホン専用スタンド」のケーブルをパソコンから外した	パソコン側で、「OK」をクリックし、「らくらくホン専用スタンド」のケーブルをパソコンに接続し、写真を保存し直してください。
「エラーが発生しました」	ー	Windows などソフトウェアにエラーが発生している	パソコンを再起動してから、写真を保存し直してください。
「エラーが発生しました」	「接続失敗」	「らくらくホン７」を「らくらくホン専用スタンド」から外した	パソコン側で、「OK」をクリックし、「らくらくホン７」を「らくらくホン専用スタンド」に置いて、写真を保存し直してください。
「エラーが発生しました」	ー	「らくらくホン７」の microSD カードの情報が正しくない	「らくらくホン７」の microSD カードの情報更新を実行してください。 詳しくは、「らくらくホン7」のマニュアルをご覧ください。
「一定時間操作されなかったため、キャンセルしました」	ー	一定時間、何も操作をしていない	パソコン側で、「OK」をクリックし、「らくらくホン７」を「らくらくホン専用スタンド」に置いて、写真を保存し直してください。
「処理を中止しました」	「接続失敗」	パソコンに表示されている「キャンセル」ボタン、または「閉じる」ボタンをクリックした	パソコン側で、「OK」をクリックし、写真を保存し直してください。
「入力した端末暗証番号に誤りがあります」	ー	正しい端末暗証番号を入力していない	正しい端末暗証番号を入力してください。
「らくらくホンとの認証に失敗しました」	「接続失敗」	端末暗証番号が間違っている	パソコン側で、「OK」をクリックし、「らくらくホン７」を「らくらくホン専用スタンド」に置き、正しい端末暗証番号を入力して、写真を保存し直してください。
「パソコンの空き容量が足りないため、写真を保存できません」	ー	パソコンの空き容量が足りなくなった	パソコン側で、「OK」をクリックし、不要なファイルを削除して、パソコンの空き容量を増やし、写真を保存し直してください。

パソコンに表示されるメッセージ	らくらくホン 7 に表示されるメッセージ	考えられる原因	対処方法
「保存に失敗した写真があります」	—	写真が正しく保存できなかった	パソコン側で、「OK」をクリックし、「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」に置き、「再保存」を選択して、写真を保存し直してください。
「新しい写真はありませんでした」	—	すべての写真が保存されていて、新しく保存する写真がない	パソコン側で、「写真を見る」または「閉じる」をクリックしてください。
「らくらくホンをらくらくホン専用スタンドに置いてください」	—	スタートメニューや@メニューから「置くだけ転送機能（らくらくホン用）」を起動した	「らくらくホン専用スタンド」に「らくらくホン 7」を置き直してください。 『らくらくパソコン活用ブック』
—	「接続失敗」	パソコンの電源が切れた	「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」から取り外し、パソコンの電源を入れ、写真を保存し直してください。
—	「接続失敗」	パソコンがスリープ状態になっている	「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」から取り外し、スリープ状態を解除してから、写真を保存し直してください。
—	「接続失敗」	パソコンがログイン画面になっている	「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」から取り外し、ログインをしてから、写真を保存し直してください。
—	「接続失敗」	「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」に置いたまま、パソコンの電源を入れた	パソコンの電源を入れてから、「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」に置いてください。
—	「接続失敗」	「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」に置いたまま、「らくらくホン専用スタンド」をパソコンに接続した	「らくらくホン専用スタンド」をパソコンに接続してから、「らくらくホン 7」を「らくらくホン専用スタンド」に置いてください。

お手入れ

パソコン本体の日ごろのお手入れ方法について説明します。

⚠ 警告

- お手入れをする場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

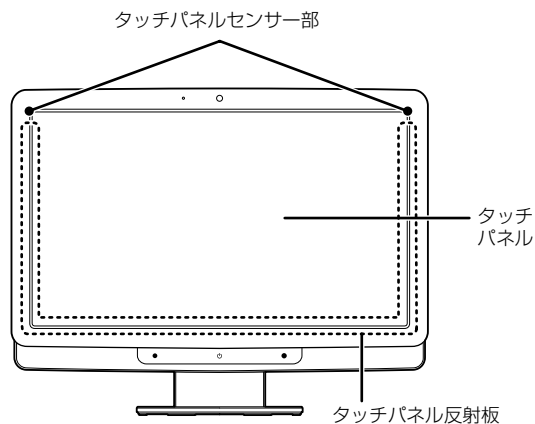
- 清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。故障・火災の原因となります。

重要

- 次のものは使わないでください。
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いものや、化学ぞうきん、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は絶対に使わないでください。
  - ・アルコール成分を含んだ市販のクリーナーは使わないでください。

パソコン本体の通風孔、およびパソコン本体内部にほこりがたまらないように、定期的に清掃してください。
パソコン本体の通風孔やパソコン本体内部は、掃除機を使ってほこりを吸い取ってください。
パソコン本体やマウス、キーボードなどの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水または中性洗剤を含ませた布を固く絞って、拭き取ってください。中性洗剤を使って拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また拭き取るときは、パソコン本体やマウス、キーボードに水が入らないよう充分注意してください。
キーボードのキーとキーの間のほこりなどを取る場合は、ゴミを吹き飛ばすのではなく、筆のような先の柔らかいものを使ってゴミを取ってください。ゴミを吹き飛ばすと、キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。また、掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。

液晶ディスプレイのお手入れ

液晶ディスプレイ（タッチパネル）にほこりや皮脂が付着していたり、ディスプレイの縁にゴミやほこりが付着していると、正常に動作しません。液晶ディスプレイは、定期的に清掃してください。

（イラストは機種や状況により異なります）

⚠ 警告

- タッチパネルはガラスを使用しているため、急激な衝撃を与えたり、パソコン本体を転倒・落下させないでください。破損するおそれがあります。
  また、破損した場合は、ガラスの破片に直接触れないよう注意して清掃してください。
  特に、お子様がいるご家庭では、清掃が完了するまでお子様が近づかないよう注意してください。

タッチパネルは、一般の家庭用ガラスクリーナーを含ませた柔らかい布、またはペーパータオルで拭いてください。中性のガラスクリーナーを使う場合は、布に少量吹き付けてから使用してください。
タッチパネル反射板は、筆のような先の柔らかいものや乾いた布で表面のほこりをやさしく取り除いてください。

重要

- タッチパネルのお手入れを行う場合の注意
  - ・液晶ディスプレイ（タッチパネル）に直接クリーナーを吹きかけたり塗ったりしないでください。必ず柔らかい布などにクリーナーを吹

きかけてから、汚れを拭き取ってください。直接吹きかけると、タッチパネル反射板がはがれて、正常に動作しなくなる場合があります。

・研磨剤を含んだクリーナーやクロスを使用しないでください。タッチパネルを傷つける場合があります。

・タッチパネルセンサー部には触れないでください。センサー部の近くにゴミなどが付着した場合は、注意して取り除いてください。センサー部が傷つくと、正常に動作しません。

・タッチパネル反射板を拭くときに、反射板を強く押さないでください。反射板が破損すると、正常に動作しません。

▶ 液晶ディスプレイのお手入れを行う場合の注意

市販クリーナーは次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。

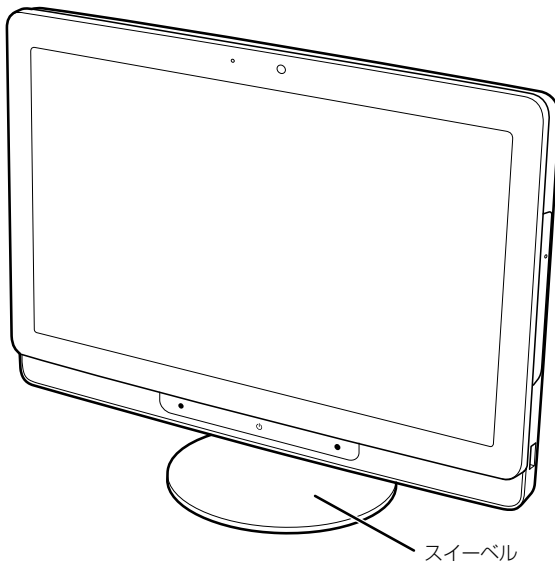
・アルカリ性成分を含んだもの
・界面活性剤を含んだもの
・アルコール成分を含んだもの
・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
・研磨材を含んだもの
・化学ぞうきん

など

液晶ディスプレイは、ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。

スイーベルのお手入れ

スイーベルは、ステンレス製です。表面のほこりや汚れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水を含ませた布を固く絞って拭き取り、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で拭いてください。水分が残ると、変色などのおそれがあります。

また、スイーベルの上にヘアピンなどの金属製品を、長期間置かないでください。サビが発生するおそれがあります。

（イラストは機種や状況により異なります）

CD/DVD ドライブのお手入れ

市販のクリーニングディスクやレンズクリーナーを使うと、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVD ドライブのレンズが汚れてしまう場合があります。故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

うまく読み取れない場合には、ディスクの指紋、ほこりなどの汚れを拭き取ることで改善されることがあります。

拭き取り方法はディスクの種類により異なります。詳しくはディスクの説明書／レーベルなどをご覧ください。

パソコン本体内部や通風孔のお手入れ

パソコン本体の通風孔や内部にほこりがたまると、故障の原因となります。
ほこりの堆積量は、お客様の環境によって異なります。次の清掃方法に従って、1ヶ月に 1 度程度掃除してください。

■必要なものを用意する

●掃除機

■清掃方法

□パソコン本体のお手入れをするときの注意

●充分に換気してください。
清掃時には、ほこりなどを口や鼻から吸い込まないように、窓を開けたり、換気扇を回したりするなどして、充分に換気してください。

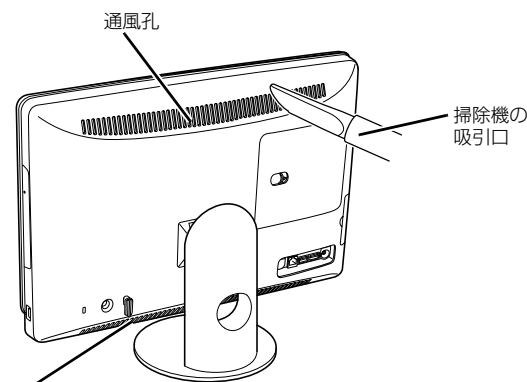
●洗剤は使用しないでください。

●エアダスターなどの清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

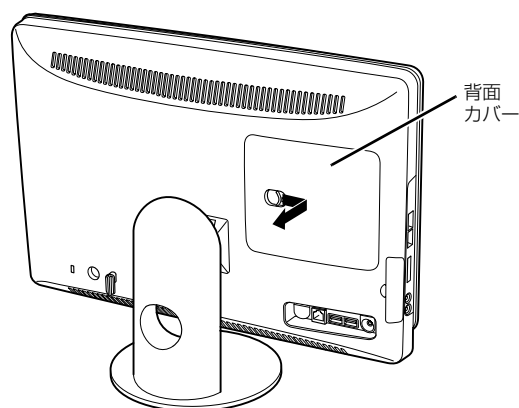
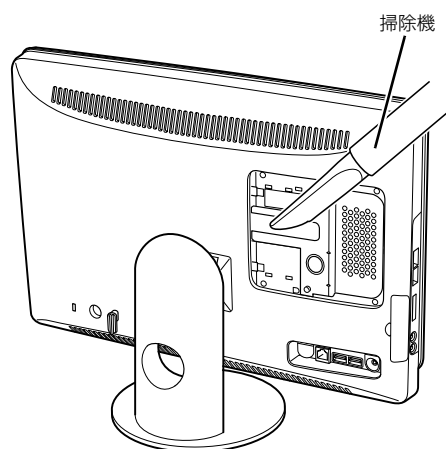
●清掃時に破損した場合、保証期間にかかわらず修理は有償となります。取り扱いについては、充分ご注意ください。

●静電気を放電してください。
パソコン本体内部は、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、掃除機の吸引口や人体にたまった静電気によって破壊される場合があります。
パソコン本体内部のお手入れをする前に、一度金属質のものに手を触れたり金属質のものに掃除機の吸引口先端を触れさせたりして、静電気を放電してください。

□通風孔の清掃方法

1 掃除機の吸引口にノズルを取り付け、通風孔のほこりを直接吸い取ります。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

□パソコン本体内部の清掃方法

1 背面カバーを取り外します。

2 掃除機でほこりを直接吸い取ります。

3 背面カバーを取り付けます。

4 パソコン本体の電源を入れ（→ P.43）、Windowsが起動することを確認してください。

■「お手入れナビ」について

このパソコンには、パソコン本体のお手入れ時期を通知するソフトウェア「お手入れナビ」がインストールされています。「お手入れナビ」は、定期的にパソコン本体のお手入れ時期を通知したり、パソコン本体内部や通風孔などにほこりがたまっている可能性があるときにお手入れ時期を通知したりします。なお、このパソコンご購入時には、定期的な通知が無効になっています。

ここでは、次の内容について説明します。

- 定期的なお手入れ時期の通知を有効にする方法
- 「お手入れナビ」が表示するメッセージと、メッセージが表示されたときの対処方法

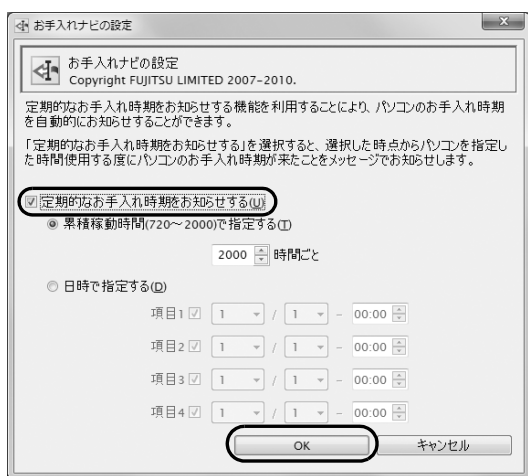
ほこりの堆積量は、お使いの環境によって異なります。「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→ P.67）をご覧になり、1ヶ月に 1 度程度掃除してください。

□定期的なお手入れ時期の通知を有効にする

定期的に「お手入れナビ」からお手入れ時期がきたことを通知させる場合は、次の操作をしてください。

1 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「お手入れナビ」▶「お手入れナビの設定」の順にクリックします。

「お手入れナビの設定」ウィンドウが表示されます。

2 「定期的なお手入れ時期をお知らせする」の □ をクリックして ☑ にし、「OK」をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

□「お手入れナビ」が表示するメッセージ

- 「大切なお知らせです。」という画面が表示された場合

定期的なお手入れ時期がくると、画面右下に「大切なお知らせです。こちらをクリックして、詳細をお確かめください。」という画面が表示されたり、画面右下の通知領域に（DustSolution）が表示されたりします。この場合は、次の手順で操作してください。

1 作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。

2 画面右下の通知領域に（DustSolution）が表示されている場合は、（DustSolution）をクリックします。

3 「大切なお知らせです。こちらをクリックして、詳細をお確かめください。」をクリックします。

「大切なお知らせ」ウィンドウが表示されます。

4 「今すぐお手入れを開始する」の ◎ をクリックして ◉ にし、「次へ」をクリックします。

「お手入れの手順」ウィンドウが表示されます。

5 画面のメッセージをよく読んでから、「今すぐ清掃をする」をクリックします。

パソコン本体の電源が切れたら、パソコン本体のお手入れをしてください（→ P.67）。

- 警告メッセージが表示された場合

パソコン本体内部や通風孔にほこりがたまっている可能性がある場合や、パソコン本体内部のファンが正しく動作していない場合に、次の警告メッセージが表示されます。

・「パソコンの内部や通風孔にほこりが詰まっている可能性があります。」

・「パソコンの空冷用ファンが正しく動作していません。」

警告メッセージが表示された場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了してから、画面の指示に従って操作してください。

ディスプレイに関する Q&A

このパソコンの液晶ディスプレイのご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。次の表に「参照先」が記載されている場合は、該当する項目もご覧ください。

らくらくパソコン専用　サポート＆サービスについては、次のマニュアルをご覧ください。

『らくらくパソコン活用ブック』

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照先
電源ボタンが消灯している	AC アダプタが正しく接続されていない。	AC アダプタをコンセントに正しく奥まで確実に接続してください。	「初めて電源を入れる」（→ P.20）
	パソコンの電源が入っていない。	パソコンの電源を入れてください。	「電源を入れる」（→ P.43）
電源ボタンが点滅している	パソコンが省電力状態になっている。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを操作してください。パソコンの省電力状態が解除されます。	Web『補足情報』
電源ボタンが点灯している	おやすみディスプレイが実行中である。または「電源オプション」の設定に従ってディスプレイの電源が切れている。	次のいずれかの操作を行って、「おやすみディスプレイ」または「ディスプレイの電源を切る」を解除してください。 ・キーボードのキーを押す ・マウスを操作する	Web『補足情報』
電源ボタンが点灯するが、画面が表示されない 場合によっては次のメッセージも表示される 「規定外の信号です」 「入力信号がありません」	パソコンの設定が標準表示仕様以外の解像度になっている。	パソコンの設定を標準表示仕様の解像度に変更してください。	Web『補足情報』

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照先
電源投入直後やWindowsの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	パソコンからの信号が連続的に切り替わるため。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	−
次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	適切でないモード（解像度）を表示している。	標準表示仕様のモード（解像度）に変更してください。	Web『補足情報』
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶ディスプレイの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	−
画面が明るすぎる	明るさが最大になっている。	明るさ調節ボタンで明るさを調節してください。	「画面の明るさ」（→P.50）
画面が暗い	明るさが最小になっている。	明るさ調節ボタンで明るさを調節してください。	「画面の明るさ」（→P.50）
	液晶は蛍光管を使用しており、寿命になると明るさが低下します。また、若干黄色くなることがあります。	「らくらくパソコン専用電話相談窓口」までご連絡ください。	『らくらくパソコン活用ブック』
画面を切り替えても前の像がうすく残っている	長時間同じ静止画を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶ディスプレイの特性で、故障ではありません。	パソコン本体の電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は約１日で自然に消えます。 像が残らないようにするには、スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	−

5 バックアップ

このパソコンのバックアップツール

Windows が起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータのコピーを保存しておくことを「バックアップ」といいます。バックアップは大変重要ですので、忘れずに行うようにしてください。

このパソコンは次の3つのバックアップツールを搭載しています。

- ●マイリカバリ
  ハードディスクのC ドライブをまるごとバックアップします。
  パソコンのセットアップが完了した後、およびインターネットやメールなどパソコンの設定を変更した後にお使いになることをお勧めします（→ P.71）。
- ●かんたんバックアップ
  必要なデータをまとめて簡単にバックアップします。
  デジタルカメラから取り込んだ写真など、日々更新されるデータを毎日または週に1回など定期的にバックアップすることをお勧めします（→P.78）。
- ●かんたんバックアップレスキュー
  Windows が起動しないときにデータをバックアップできます。
  非常時のバックアップ方法としてお使いください（→ P.83）。

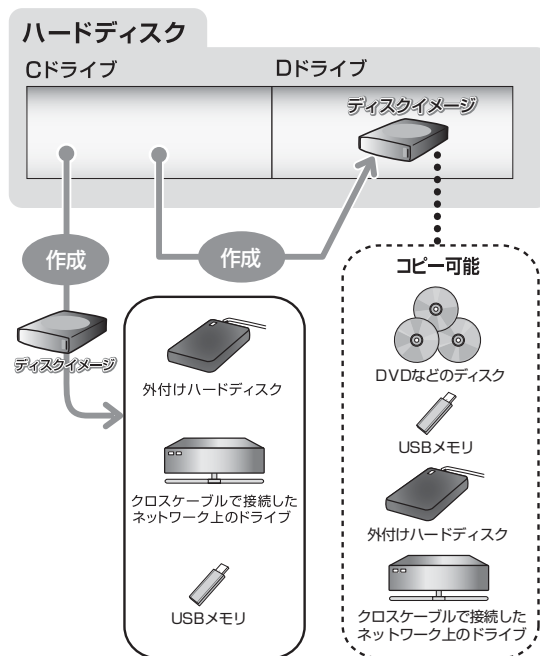
マイリカバリ

ハードディスクのC ドライブをまるごとバックアップします。パソコンにトラブルが発生した場合、C ドライブをまるごとバックアップしたときの状態に戻すことができます。

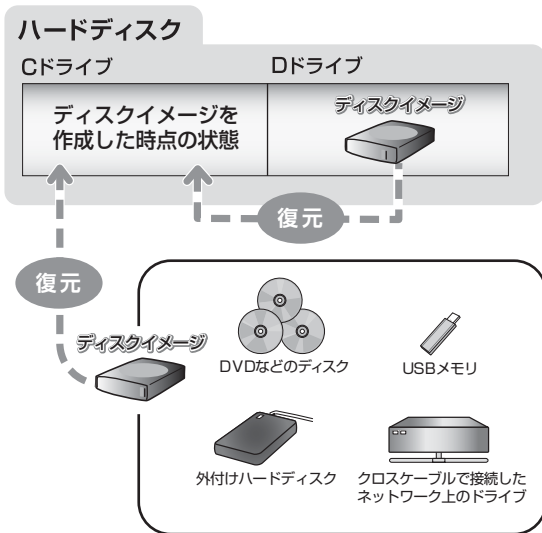
「マイリカバリ」でできること

■C ドライブのディスクイメージを作成する／媒体などにコピーする

ディスクイメージとは、ハードディスクに格納されたあらゆる情報を 1 つにまとめたファイルです。C ドライブをまるごとバックアップしておくようなものと考えれば良いでしょう。

ハードディスク
Cドライブ
Dドライブ
ディスクイメージ
作成
作成
コピー可能
ディスクイメージ
外付けハードディスク
クロスケーブルで接続したネットワーク上のドライブ
USBメモリ
DVDなどのディスク
USBメモリ
外付けハードディスク
クロスケーブルで接続したネットワーク上のドライブ

■C ドライブにディスクイメージを復元する

「マイリカバリ」で作ったCドライブのディスクイメージを復元して、C ドライブをディスクイメージ作成時の状態に戻すことができます。

ハードディスク
Cドライブ
Dドライブ
ディスクイメージを作成した時点の状態
ディスクイメージ
復元
復元
ディスクイメージ
DVDなどのディスク
USBメモリ
外付けハードディスク
クロスケーブルで接続したネットワーク上のドライブ

「マイリカバリ」をお使いになるうえでの注意事項

■パソコンに不具合が起こっているときは、ディスクイメージを作成しないでください

ディスクイメージを作成すると、パソコンのCドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。

■すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

すべてのデータの保存／復元を保証するものではありません。また著作権保護された映像（デジタル放送の録画番組など）や音楽などは保存／復元できない場合があります。

■「トラブル解決ナビ」以外で領域を設定しないでください

市販のソフトウェアなどでハードディスクの領域設定を行った場合は「マイリカバリ」はお使いになれません。

■保存先の容量を確認してください

C ドライブで使用している容量より保存先の容量が少ない場合は、ディスクイメージの保存はできません。

■タッチパネルでの操作はできません

マウスやキーボードで操作してください。

■ノートブック型をお使いの方は、AC アダプタを接続してください

ディスクイメージの保存先

「マイリカバリ」では、作成したディスクイメージの保存先を選択できます。また、作成したディスクイメージを DVD などのディスクや外付けハードディスクにコピーできます。

■D ドライブ

外部のドライブなどを接続する手間がなく簡単にディスクイメージを作成、復元できます。
ただし、次の場合は、D ドライブに作成したディスクイメージも含めハードディスクのすべてのデータが使えなくなります。そのような場合に備え、このパソコンのハードディスク以外の場所にディスクイメージをコピーすることをお勧めします。

- ハードディスクの領域を変更したとき
  ハードディスク全体のファイルが削除されてしまうため、D ドライブに作成したディスクイメージも削除されます。領域変更する場合は、あらかじめパソコンのハードディスク以外にディスクイメージをコピーしてください。
- このパソコンが故障したとき
  パソコンが故障したときは、D ドライブに作成したディスクイメージも含め、ハードディスクのすべてのデータが使えなくなる可能性があります。

■DVD などのディスク

DVD などのディスクに直接ディスクイメージを保存することはできません。いったん D ドライブか外付けハードディスクかネットワーク上のドライブにディスクイメージを作成し、その後「マイリカバリ」をお使いになり DVD などのディスクにコピーしてください。

重要

- 「マイリカバリ」でディスクイメージを書き込めるディスクは、DVD+RW、DVD+R、DVD-RW、DVD-R、DVD+R DL です。
  CD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-R DL はお使いになれません。
- 必要なディスクの枚数はディスクイメージの容量やディスクの容量により異なります。

- ディスクイメージをDVDなどに書き込むには、「Roxio Creator［ロキシオ クリエーター］」が必要です。
「Roxio Creator」はこのパソコンに用意されています。「Roxio Creator」を削除すると、ディスクイメージを DVD などのディスクに書き込むことができなくなります。
- ディスクイメージを書き込んだDVDなどを使って、パソコンを起動することはできません。

■外付けハードディスク、USB メモリ

直接ディスクイメージを保存できます。
外付けハードディスクは USB 接続のものを用意してください。USB 接続以外の接続方式では正常に動作しない場合があります。

重要

- ディスクイメージを作成、および復元する場合、「マイリカバリ」起動時に外付けハードディスクや USB メモリを取り付けないでください。
  - ・外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したままディスクイメージの作成、および復元を開始すると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
  - ・外付けハードディスクや USB メモリは、「マイリカバリ」起動後に、画面の指示に従って接続してください。
- メモリーカードなどのその他の外部記憶装置は、必ずパソコンから取り外した状態で操作してください。

■ネットワーク上のドライブ

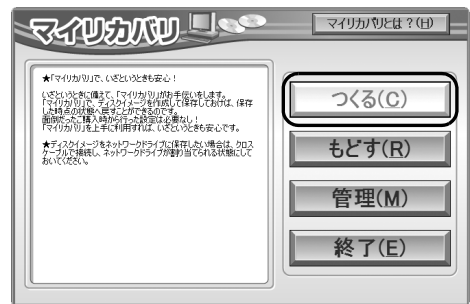
直接ディスクイメージを保存できます。
ネットワークの知識が必要です。別のパソコンの共有フォルダーに、ディスクイメージを作成したり、そこから復元したりできます。
ネットワーク上のドライブを使う方法は、「Q&A navi［キューエーナビ］」（http://azby.fmworld.net/qanavi/）で紹介しています。「Q&A navi」で Q&A ナンバー「0008-4358」を検索してご覧ください。
「Q&A navi」は富士通のサポートページです。数多くの Q&A を紹介しています。

ディスクイメージを作成する

1 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「マイリカバリ」の順にクリックします。

2「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。

3「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。

4「つくる」をクリックします。

5 コメント入力域に、作成するディスクイメージに付けるコメントを入力し、「次へ」をクリックします。

いつの時点のディスクイメージかがわかるように、コメントを入力してください。
例）・セットアップ直後
　　・光ファイバーに設定変更

6「OK」をクリックします。
パソコンが再起動します。
「ディスクイメージの作成」という画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

7 ディスクイメージの保存先を選びます。

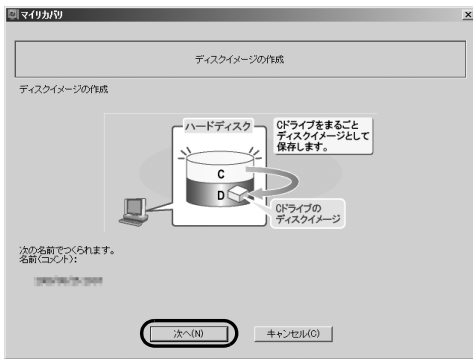
■D ドライブに保存する場合

「D ドライブにつくる」をクリックします。

■USB 接続の外付けハードディスクや USB メモリに保存する場合

1. パソコンのUSBコネクタに外付けハードディスクや USB メモリを接続し、「保存先選択」をクリックします。
2. 保存先のドライブを選択し、「次へ」をクリックします。

8 「次へ」をクリックします。

画面例は、D ドライブに保存する場合です。

9 「実行」をクリックします。

ディスクイメージの作成が始まります。しばらくお待ちください。終了までの時間表示が増えることがあります。これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。

10 「ディスクイメージが作成されました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。

これで、指定したドライブにディスクイメージが作成されました。

ディスクイメージをコピーする

D ドライブなどに保存したディスクイメージは DVD などのディスクや外付けハードディスクなどにコピーできます。

Point

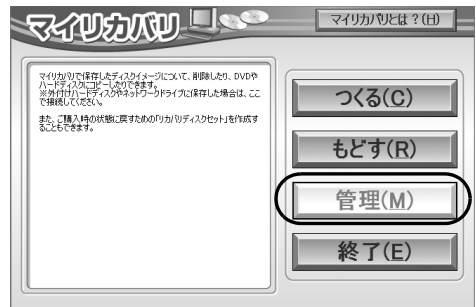
- 外付けハードディスクやUSBメモリにディスクイメージをコピーする場合は、「マイリカバリ」を起動する前に接続してください。

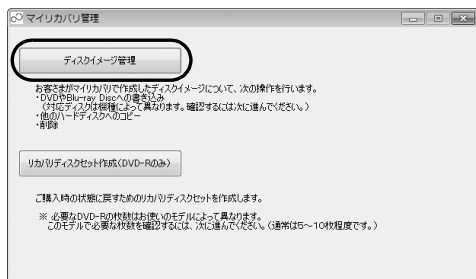
1 「スタート」ボタン▶「すべてのプログラム」▶「マイリカバリ」の順にクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。

3 「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示された場合は、「次へ」をクリックします。

4 「管理」をクリックします。

（これ以降の画面はお使いの機種により異なります）

5「ディスクイメージ管理」をクリックします。

DVD などのディスクにコピーする場合

手順 6 に進んでください。

外付けハードディスクまたは USB メモリにコピーする場合

手順 15 に進んでください。

6 次の画面の操作をします。

① コピーするディスクイメージを選択します。

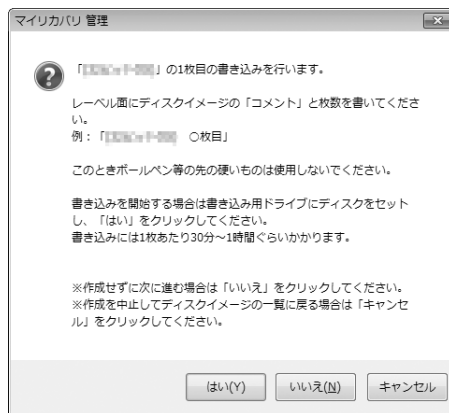
②「書き込み」をクリックします。

7「書き込み先の選択」ウィンドウでディスクを選択します。

8 表示された枚数を確認し、「OK」をクリックします。

「「○○○」の 1 枚目の書き込みを行います。」というメッセージが表示されます。○○○には「ディスクイメージを作成する」(→ P.73) の手順 5 で入力したコメントが表示されます。

9 用意したディスクのレーベル面にディスクイメージの「コメント」と何枚目のディスクかを記入します。

レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。

Point

- ディスクをセットしたとき、「自動再生」というウィンドウが表示されることがあります。ウィンドウ右上の をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。

10 記入したディスクをセットします。

11 ディスクが認識されるまで10秒ほど待ってから、「はい」をクリックします。

ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

書き込みが完了すると、「ディスクへの書き込みが終了しました」というメッセージが表示され、CD/DVD ドライブが開きます。

12 ディスクを取り出して、「OK」をクリックします。

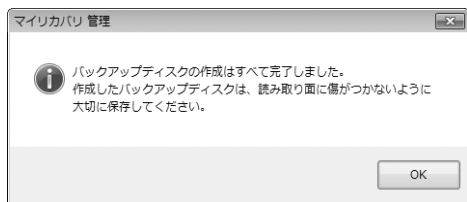
13「バックアップディスクの作成はすべて完了しました。」というメッセージが表示されるまで、手順9～12を繰り返します。

手順9で表示されるメッセージに何枚目のディスクを作成するか表示されるので、よく確認してディスクのレーベル面に記入してください。

14「バックアップディスクの作成はすべて完了しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

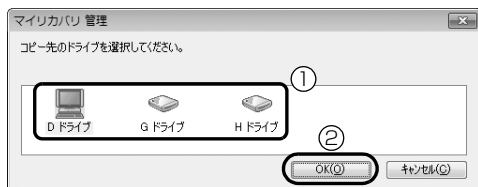
マイリカバリ 管理

バックアップディスクの作成はすべて完了しました。
作成したバックアップディスクは、読み取り面に傷がつかないように大切に保存してください。

OK

手順19に進んでください。

15 次の画面の操作をします。

① コピーするディスクイメージを選択します。
②「コピー」をクリックします。

16 次の画面の操作をします。

① コピー先のドライブを選択します。
②「OK」をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

17「OK」をクリックします。

ディスクイメージのコピーが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。
書き込みが完了すると、「ディスクイメージのコピーが終了しました。」というメッセージが表示されます。

18「OK」をクリックします。

19「マイリカバリ 管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。

20「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。

ディスクイメージを復元する

Cドライブをまるごとディスクイメージ作成時の状態に戻します。
Cドライブの現在のデータは失われてしまいます。Dドライブまたは DVD などのディスクや別の媒体などにバックアップしてください。

1 パソコンの電源が切れた状態でサポートボタンを押します。

2 起動メニューが表示されたら、【↓】を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、【Enter】を押します。

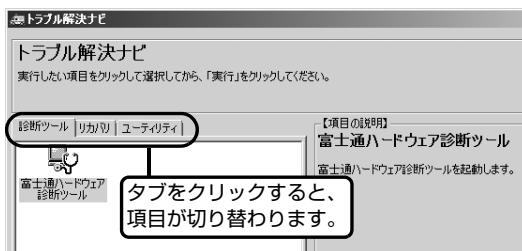
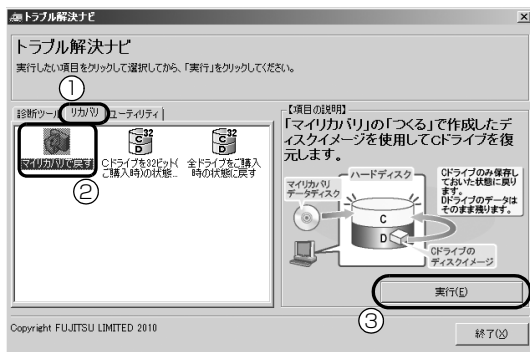
起動デバイスを選択してください

Hard Disk : *****
CD/DVD Drive : *****
Network : *****

〈トラブル解決ナビ〉
〈診断プログラム〉
〈BIOSセットアップ〉

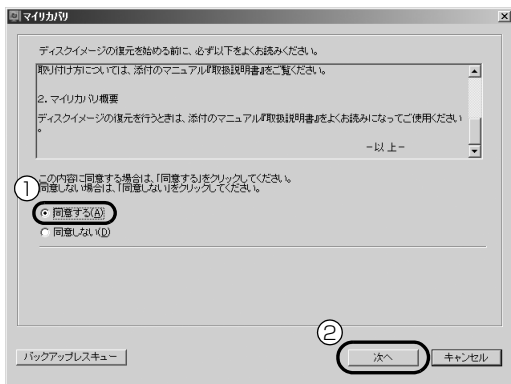
（画面は機種や状況により異なります）

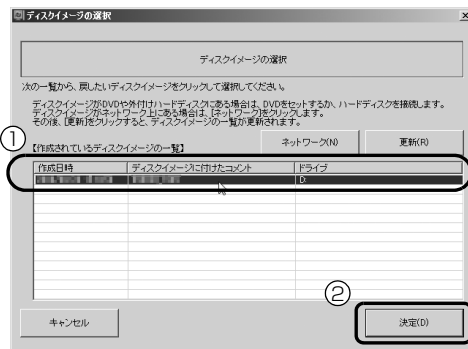
「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

タブをクリックすると、項目が切り替わります。

3 次の画面の操作をします。

（画面は機種や状況により異なります）

①「リカバリ」タブをクリックします。
②「マイリカバリで戻す」をクリックします。
③「実行」をクリックします。

「マイリカバリ」の「ご使用上の注意」の画面が表示されます。

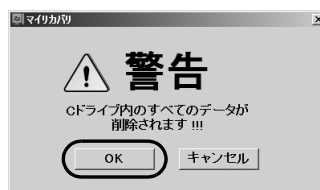
4 画面の内容を確認し、次の操作をします。

①「同意をする」をクリックしてにします。
「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。
②「次へ」をクリックします。

5「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを選択します。

（画面は機種や状況により異なります）

① 復元するディスクイメージをクリックして選択します。
Dドライブ以外に保存したディスクイメージを復元する場合、DVDなどのディスクをセットしたり、外付けハードディスクやUSBメモリを接続したりした後、「更新」をクリックします。「作成されているディスクイメージの一覧」にディスクイメージが表示されます。
②「決定」をクリックします。

Point

- Dドライブに保存したディスクイメージが表示されない場合
削除してしまっている可能性があります。ハードディスクの領域設定を変更した場合、CドライブのデータもDドライブのデータやディスクイメージも削除されます。

6「OK」をクリックします。

ディスクイメージを使ったCドライブの復元が始まり、「マイリカバリ」の進行状況を示す画面が表示されます。

7 そのまましばらくお待ちください。

終了までの残り時間は正確に表示されない場合や増える場合があります。これは途中で終了時間を計算し直しているためです。
しばらくすると、「リカバリが正常に完了しました。」と表示されます。

8「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。
これで、「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使った復元が完了しました。

ディスクイメージを削除する

「マイリカバリ」の「マイリカバリ管理」画面で、Dドライブなどに保存したディスクイメージを削除できます。画面の指示に従って操作してください。

Point

- 外付けハードディスクや USB メモリに保存したディスクイメージを削除する場合は、「マイリカバリ」を起動する前に外付けハードディスクや USB メモリを接続してください。

かんたんバックアップ

「かんたんバックアップ」を使えば、必要なデータだけをまとめて簡単にバックアップできます。

バックアップ／復元対象となる項目は、次の 2 種類です。

- ●プレインストールされているソフトウェアのデータ
- ●お客様が指定したデータ

2 回目以降は前回バックアップしたデータとの差分をバックアップするので、短時間でバックアップできます。

「かんたんバックアップ」をお使いになるうえでの注意事項

■すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

すべてのデータの保存／復元を保証するものではありません。また著作権保護された映像（デジタル放送の録画番組など）や音楽などは保存／復元できない場合があります。

■管理者権限を持つユーザーアカウントで Windows にログオンしていることを確認してください

管理者権限を持たない「標準ユーザー」で Windows にログオンしている場合は、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウで管理者権限を持つユーザーアカウントのパスワードを入力してバックアップしてください。

Point

- 現在ログオンしているユーザーアカウントの権限は、次の手順で確認できます。
  1. （スタート）▶「コントロールパネル」の順にクリックします。
     「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
  2. 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」または「ユーザーアカウント」をクリックします。
  3. 「ユーザーアカウント」をクリックします。
     「ユーザーアカウントの変更」の画面が表示されます。

4. 画面右のログオン名の下に表示されている、アカウントの種類を確認します。

- Administrator
  管理者権限を持つユーザーアカウントです。
- 標準ユーザー
  管理者権限を持たないユーザーアカウントです。「かんたんバックアップ」をお使いになるときは、管理者権限を持つユーザーアカウントのパスワードを入力してお使いください。

■次のデータは、「かんたんバックアップ」でバックアップできません

●著作権保護された音楽データ、映像データ
デジタル放送の録画番組、インターネット上の音楽配信サイトからダウンロードしたファイルなど、著作権保護された映像データや音楽データなどはバックアップ／復元できない場合があります。
著作権保護された音楽データ、映像データのバックアップ／復元については、お使いのソフトウェアのマニュアルやヘルプをご覧ください。

●次のソフトウェアのデータはバックアップ／復元できません
・プレインストールされていないソフトウェアのデータ
・「バックアップする項目」に登録していないソフトウェアのデータ

●バージョンアップを行ったソフトウェア
ソフトウェアのバージョンアップを行うと、ファイルの構造やデータの格納先が変更されることがあります。この場合は、ファイルをコピーして、バックアップしてください。

●ソフトウェアの初期設定の保存場所以外に保存したファイル
Word 2010などで作成したファイルを初期設定の保存場所以外に保存した場合は、バックアップできません。この場合は、個別にファイルをコピーして、バックアップしてください。

●テレビ番組を録画したデータ
容量が大きいため、「かんたんバックアップ」をお使いにならず、個別に DVD などのディスクにバックアップすることをお勧めします。

■バックアップしたデータを DVD などのディスクにコピーしてください

「かんたんバックアップ」では、データを D ドライブにバックアップします。パソコンが故障したときは、D ドライブにバックアップしたデータも含め、ハードディスクのすべてのデータが使えなくなる可能性があります。また、ハードディスクの領域を変更すると、ハードディスク全体のファイルが削除されてしまうため、D ドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。
このようなときに備え、バックアップしたデータを DVD など、このパソコンのハードディスク以外にコピーしてください。

■「かんたんバックアップ」以外のソフトウェアはすべて終了させてください

■このパソコンにバックアップした場合、他のパソコンには復元できません

「かんたんバックアップ」で D ドライブにバックアップしたデータを復元できるのは、このパソコンの C ドライブのみです。

■ノートブック型をお使いの方は、AC アダプタを接続してください

■スリープや休止状態にしないでください

バックアップ／復元や、バックアップデータをディスクにコピー中にスリープや休止状態などの省電力状態にすると、データが正常に書き込まれなくなります。パソコンを省電力状態にする操作はしないでください。

バックアップしたデータをコピーする場合の注意事項

D ドライブにデータをバックアップした後、バックアップしたデータをDVDなどのディスクにコピーできます。
「「かんたんバックアップ」でバックアップ／コピーする」（→P.80）の手順4まで行い、D ドライブにデータをバックアップした後、「書き込み可能なメディアにコピー」をクリックするとD ドライブにバックアップしたデータをDVDなどのディスクにコピーできます。

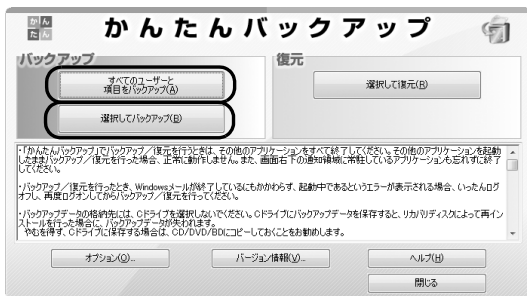
■ディスクを用意してください

「かんたんバックアップ」でデータを書き込めるディスクは、CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、DVD-RW、DVD-R、DVD+R DL です。DVD-R DL はお使いになれません。DVD-RAM は FAT32 でフォーマットした場合のみ「バックアップデータ格納先」として指定することができます。

「かんたんバックアップ」でバックアップ／コピーする

1 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「かんたんバックアップ」▶「かんたんバックアップ」の順にクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

2 「バックアップ」の枠から次のどちらかのボタンを選んでクリックします。

■「すべてのユーザーと項目をバックアップ」

すべてのユーザーのバックアップ可能なすべての項目を D ドライブにバックアップします。この後は、手順 4 に進んでください。

■「選択してバックアップ」

バックアップするユーザーと項目を選んで D ドライブにバックアップします。

3 「選択してバックアップ」を選択した場合は、①～④の手順に従って操作してください。

① バックアップの対象となるユーザーが表示されます。バックアップする必要のないユーザーが含まれているときは、対象から外すユーザーを選択してから「解除」をクリックします。
② バックアップしたい項目が ☑ になっていることを確認します。
③「D:¥FM_BACKUP」になっていることを確認します。
④「次へ」をクリックします。

4 「バックアップ内容の確認」ウィンドウで、「バックアップを開始する」をクリックします。

Point

- 「既にバックアップしたデータが存在します。」というメッセージが表示されたら、更新（上書き）するときは「OK」、バックアップを中止するときは「キャンセル」をクリックしてください。
- バックアップ先のディスクの容量が不足している場合は、「戻る」をクリックしてバックアップする項目を減らしたり、バックアップ先の空き容量を増やしたりしてから「容量の再計算」をクリックしてください。

データのバックアップが始まります。しばらくお待ちください。
このとき、他の操作は行わないでください。

5 **「バックアップ結果」ウィンドウで、結果を確認します。**

「バックアップした項目」をスクロールして、「結果」がすべて「正常終了」になっていることを確認してください。
このとき、保存データ格納先のファイルを開いて、データがバックアップされたことを確認すると、より安心です。
バックアップに失敗した場合は、もう一度失敗した項目を選択してバックアップする操作を行ってください。

Point

- バックアップしたファイルをディスクにコピーする場合は、「書き込み可能なメディアにコピー」をクリックします。この後は表示される画面に従って DVD などのディスクへのコピーをしてください。

「かんたんバックアップ」で復元する

「かんたんバックアップ」でバックアップしたデータを元の場所に復元します。

重要

- パソコンをリカバリした後に復元する場合、ご購入後にインストールしたソフトウェアがインストールされていることを確認してください。
ソフトウェアがインストールされていない場合は、先にソフトウェアをインストールしてからファイルを復元してください。
また、ソフトウェアはバックアップ時と同じパスにインストールしてください。異なるパスにインストールした場合は復元できません。
- 「かんたんバックアップ」でバックアップしたときから復元するまでの間に、バックアップしたファイルを変更したり、新しくファイルを作ったり、設定を変更すると、その内容はバックアップされていません。そのまま「かんたんバックアップ」で復元すると、バックアップした時点でのファイルや設定内容が復元されるので、その間に変更した設定や内容はすべて消えてしまいます。充分に注意してください。
- 複数のユーザーでパソコンをお使いの場合は、バックアップしたときと同じユーザー名で復元してください。バックアップしたときと違うユーザー名では正常に復元できない可能性があります。
- ご購入時の状態に戻すリカバリを行った後に「Outlook 2010」のファイルを復元する場合は、必ず先に「Outlook 2010」の初期設定を済ませてください。

1 **(スタート)▶「すべてのプログラム」▶「かんたんバックアップ」▶「かんたんバックアップ」の順にクリックします。**

Point

- DVDなどのディスクからデータを復元する場合は、「かんたんバックアップ」を起動する前に、データを保存したディスクをセットします。
- 2枚以上のディスクからは、直接復元はできません。復元する方法については、「かんたんバックアップ」のヘルプをご覧ください。

2 **「選択して復元」をクリックします。**

3 **①〜③の手順に従って操作してください。**

① バックアップしたときの「バックアップデータ格納先」と同じものを選択します。
② 「復元するユーザー」と復元したい項目、および「復元先のユーザー」を選択します。
③ 「次へ」をクリックします。

■「かんたんバックアップ」でバックアップした場合

「復元データ格納先」がバックアップしたときの「バックアップデータ格納先」と同じになっていることを確認してください。ご購入時の設定では、「バックアップデータ格納先」は「D:¥FM_BACKUP」になっています。

■「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップした場合

「復元データ格納先」の中から「D:¥PE_BACKUP」を選択してください。

■ディスクからデータを復元する場合

「復元データ格納先」の中から、ディスクの入ったドライブを選択してください。

4「復元内容の確認」ウィンドウで、「復元を開始する」をクリックします。

「復元を行うとバックアップ時のデータで上書きされ、バックアップ時の状態に戻ります。復元を続けますか？」というメッセージが表示されます。

5「OK」をクリックします。

6 データの復元が始まります。しばらくお待ちください。

このとき、他の操作は行わないでください。また、スリープや休止状態にしないでください。スリープや休止状態にすると、復元が正常に行われない場合があります。

7「復元結果」ウィンドウで、結果を確認します。

「復元した項目」をスクロールして、「結果」がすべて「正常終了」になっていることを確認してください。

Point

▸ ファイルが復元されなかった場合に考えられる原因

・「復元データ格納先」を間違って指定した
バックアップしたときの「バックアップデータ格納先」と同じものを指定してください。

・ファイルがバックアップされていなかった

8「復元結果」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。

Windows の再起動を要求するメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックして Windows を再起動してください。この場合次の手順 9 は必要ありません。

9「かんたんバックアップ」ウィンドウで「閉じる」をクリックします。

これで、バックアップしたデータが元の場所に復元されました。

かんたんバックアップレスキュー

Windows が起動できない場合でも、「かんたんバックアップレスキュー」を使って、大切なデータのバックアップができる場合があります。バックアップしたデータは、D ドライブに保存されます。

「かんたんバックアップレスキュー」をお使いになるうえでの注意事項

■他のパソコンには復元できません

「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップしたデータを復元できるのはこのパソコンのCドライブのみです。

■すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

すべてのデータの保存／復元を保証するものではありません。また著作権保護された映像（デジタル放送の録画番組など）や音楽などは保存／復元できない場合があります。

■外付けハードディスクなどは必ず取り外してください

外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■タッチパネルでの操作はできません

マウスやキーボードで操作してください。

■ノートブック型をお使いの方は、AC アダプタを接続してください

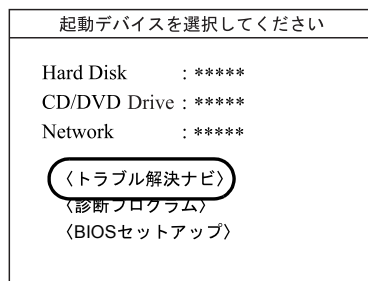
「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップする

1 パソコンの電源が切れた状態でサポートボタンを押します。

2 起動メニューが表示されたら、【↓】を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、【Enter】を押します。

起動デバイスを選択してください

Hard Disk : *****
CD/DVD Drive : *****
Network : *****

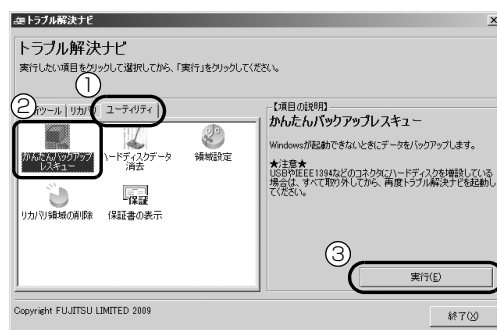
〈トラブル解決ナビ〉
〈診断プログラム〉
〈BIOSセットアップ〉

（画面は機種や状況により異なります）

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

Point

- まれに、「トラブル解決ナビ」が表示されず、「マイリカバリ」ウィンドウが表示されてしまうことがあります。
  このときは、必ず「キャンセル」をクリックし、電源を切って手順 1 からやり直してください。

3 次の画面の操作をします。

トラブル解決ナビ
実行したい項目をクリックして選択してから、「実行」をクリックしてください。
①ユーティリティ ②かんたんバックアップレスキュー ハードディスクデータ消去 領域設定 リカバリ領域の削除 保証書の表示
【項目の説明】かんたんバックアップレスキュー
Windowsが起動できないときにデータをバックアップします。
★注意★ USBやIEEE1394などのコネクタにハードディスクを増設している場合は、すべて取り外してから、再度トラブル解決ナビを起動してください。
③実行(E)
Copyright FUJITSU LIMITED 2009 終了(X)

①「ユーティリティ」タブをクリックします。
②「かんたんバックアップレスキュー」をクリックします。
③「実行」をクリックします。

4「かんたんバックアップレスキューのワンポイント」ウィンドウの内容を確認し、「閉じる」をクリックします。

5「項目を選択して保存を実行」をクリックします。

6「保存するユーザー　プロファイル　フォルダーを選択してください」ウィンドウで、データを保存したいユーザー名をクリックし、「OK」をクリックします。

7「保存する内容」の一覧から、バックアップしたい項目の□をクリックして☑にします。

すでに☑になっている場合は、クリックする必要はありません。

Point

- お客様が作成したファイルやフォルダーを保存したい場合は、「かんたんバックアップレスキュー」ウィンドウの「項目の編集」をクリックし、「追加」をクリックすると、バックアップするファイルやフォルダーを追加することができます。

8「保存データ格納先」が「D:¥PE_BACKUP¥［データを保存したいユーザー名］」になっているか確認します。

バックアップしたデータはDドライブに保存されます。

9「データの保存開始」をクリックします。

10「かんたんバックアップレスキュー－保存開始」ウィンドウで保存項目を確認し、「開始」をクリックします。

データのバックアップが始まります。しばらくお待ちください。

11「かんたんバックアップレスキュー－保存結果」ウィンドウで「保存した項目」をスクロールして、すべての項目が保存できていることを確認したら、「閉じる」をクリックします。

12「かんたんバックアップレスキュー」ウィンドウで左上にある「終了」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」に戻ります。

Point

- 複数のユーザーアカウントでお使いの場合、すべてのユーザーのデータを一度にバックアップできません。必要に応じて、他のユーザーのデータもバックアップしてください。バックアップを行わないとデータが消えてしまいます。他のユーザーのデータをバックアップするには、再度手順３から操作し直してください。手順６で他のユーザー名を選択し、そのまま操作を続けてください。

13「トラブル解決ナビ」ウィンドウで「終了」をクリックします。

14「シャットダウン」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

これでデータのバックアップは終了です。

バックアップしたデータを復元する

バックアップしたデータを復元するには、「かんたんバックアップ」を使います。詳しくは、「「かんたんバックアップ」で復元する」（→P.81）をご覧ください。

6 ご購入時の状態に戻す

ご購入時の状態に戻す必要があるか再確認

Cドライブをご購入時の状態に戻すリカバリをすると、今まで作成したCドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまいます。そのためリカバリ後には、セットアップを行ったり、必要に応じてソフトウェアをインストールしたり、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。
通常はご購入時の状態に戻すリカバリを行う必要はほとんどありません。「マイリカバリ」で保存しているディスクイメージを使ってパソコンを復元すれば解決します。本当にご購入時の状態に戻す必要があるか、下の図でもう一度確認してください。

トラブル発生！

マイリカバリで復元しなくても解決する方法はないか？
「Q&A」（→ P.89）

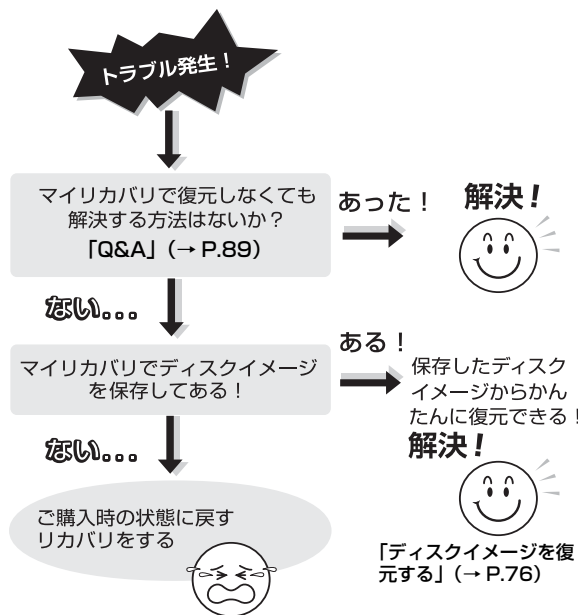
あった！ → 解決！

ない...

マイリカバリでディスクイメージを保存してある！

ある！ → 保存したディスクイメージからかんたんに復元できる！
解決！
「ディスクイメージを復元する」（→ P.76）

ない...

ご購入時の状態に戻すリカバリをする

ご購入時の状態に戻すリカバリの準備

バックアップをする

リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて削除されます。
重要なデータは、お客様の責任において、D ドライブ、CD や DVD など別の媒体にバックアップをしてください。なお、バックアップできない設定情報やファイルがあった場所などは、リカバリ後のことを考えて、メモなどに控えておくと良いでしょう。
バックアップをしないでリカバリを行い、お客様個人のデータが消失した場合、元に戻すことはできません。
バックアップ方法については、「かんたんバックアップ」（→ P.78）をご覧ください。

Point

- データでバックアップできない次の内容などはメモしておくと良いでしょう。
  - ・ネットワーク環境
  - ・E メールの設定
  - ・ファイルの保存場所
- コンピューターウイルスに感染したときはコンピューターウイルスによっては、作成したファイルや Windows の設定が変更されてしまう場合があります。セキュリティ対策ソフトを使い、コンピューターウイルスを駆除してから、バックアップしてください。
- Windowsが起動できないときに、データをバックアップするには、「かんたんバックアップレスキュー」（→ P.83）を使います。

ご購入時の状態に戻すリカバリの注意事項

■外付けハードディスクなどの外部記憶装置は必ず取り外してください

リカバリを行う前に必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■キーボード、マウス以外の周辺機器（プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI 出力端子、USB コネクタに接続しているすべての周辺機器）は取り外してください

セットしたExpressCardなどもすべて取り外してください。LANケーブルなどもすべて抜いてください。接続したままだとマニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。
ノートブック型をお使いの場合は、マウスも取り外してください。

■メモリーカードは取り出してください

メモリーカードをセットしていると、マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、リカバリが正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

リカバリ実行からソフトウェアのインストール終了まで、早く終了する機種でも２～３時間はかかります。半日以上は時間を取り、じっくりと作業することをお勧めします。

■機種名（品名）を確認してください

お使いのパソコンによって、作業などが異なります。まず、機種名（品名）などを確認してください。

■タッチパネルでの操作はできません

マウスやキーボードで操作してください。

■ノートブック型をお使いの方は、必ず AC アダプタを接続してください

作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

■画面が真っ暗になった

パソコンが再起動して画面が暗くなる場合は、手順に記載しています。
手順に記載がないのに、画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。

- デスクトップ型の場合
  マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを 1 回押してください。または、キーボードの
  【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】を押してください。
- ノートブック型の場合
  フラットポイントの操作面に触れるか、キーボードの【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】を押してください。

それでも復帰しない場合は、電源ボタンを押してください。

■電源が切れない

デスクトップ型では⏻に 4 秒以上触れて、ノートブック型では電源ボタンを 4 秒以上押して、電源を切ってください。

ディスクが必要な場合

- リカバリ領域を削除している場合、リカバリ領域が破損してしまった場合は、「リカバリディスクセット」が必要です
- ディスクがない場合や破損してしまった場合、弊社のホームページから購入できます
  「リカバリディスク有償サービス」
  http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/

ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する

準備ができたらリカバリを実行します。ハードディスクのCドライブの内容がいったんすべて消去され、リカバリ領域（または「リカバリディスクセット」）からWindowsやソフトウェアがインストールされてご購入時の状態に戻ります。

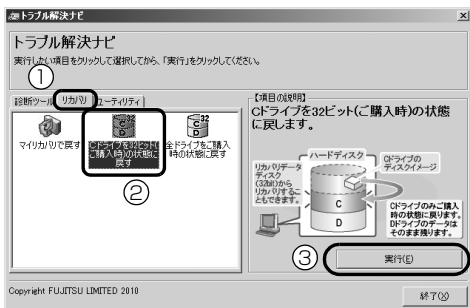
Cドライブを初期状態に戻す

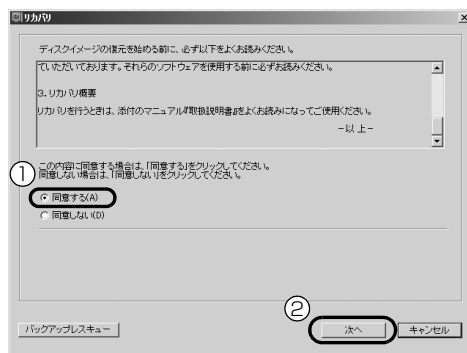
1 パソコンの電源が切れた状態で、サポートボタンを押します。

2 起動メニューが表示されたら、【↓】を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、【Enter】を押します。
「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

Point

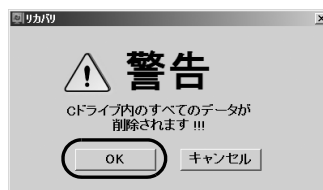
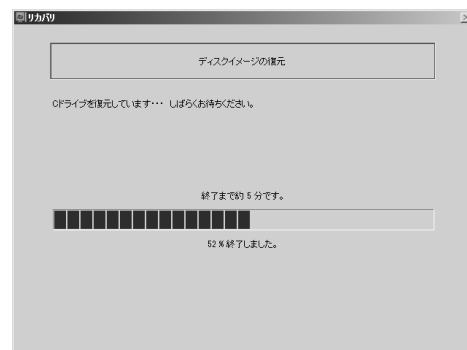
- 「トラブル解決ナビ」が表示されない場合は、BIOSの設定を初期値に戻すと解決する場合があります（→P.90）。

3 次の画面の操作をします。

① 「リカバリ」タブをクリックします。
② 「Cドライブを32ビット（ご購入時）の状態に戻す」をクリックします。
③ 「実行」をクリックします。

4 「ご使用上の注意」の内容を確認し、次の画面の操作をします。

① 「同意する」をクリックして◉にします。
「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。
② 「次へ」をクリックします。

Point

- ハードディスクにリカバリデータがない場合は、「CD/DVDドライブに、「リカバリデータディスク（32ビット）」または「リカバリデータディスク 1（32ビット）」を入れてください。」という画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

5 警告画面で、「OK」をクリックします。

復元の進行状況を示す画面が表示され、ご購入時の状態に戻すリカバリが始まります。
終了までの残り時間は正確に表示されない場合や増える場合があります。これは途中で終了時間を計算し直しているためです。

6 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「リカバリが正常に完了しました。」と表示されます。

7 「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「Windows のセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

Windows のセットアップをする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように、Windows のセットアップが必要です。「セットアップする」（→ P.23）をご覧になり、セットアップしてください。ただし、「ユーザー登録」および「らくらくパソコン利用登録」は再度行う必要はありません。

Office 2010 および関連ソフトウェアをインストールする

■Office 2010 のインストール

「Office Personal 2010」のパッケージを用意します。同梱されている『お使いになる前に』をご覧になり、インストールしてください。

インストール中にプロダクトキーを入力する画面が表示されたら、パッケージに同梱されているプロダクトキーの英数字（25 桁）を入力してください。

■Office ナビ 2010 のインストール

Point

- リカバリ領域を削除している場合、リカバリ領域が破損してしまった場合は「リカバリディスクセット」が必要です。「ソフトウェアディスク 1（32ビット）」をセットし、「自動再生」ウィンドウが表示されたら、「DRVCDSRC.exe の実行」をクリックします。「ソフトウェアディスク検索」ウィンドウが表示されたら、手順4から操作してください。「自動再生」ウィンドウが表示されない場合は、「コンピューター」ウィンドウの「CD/DVD ドライブ」アイコンをクリックしてください。

1 （スタート）▶「すべてのプログラム」▶「ソフトウェアディスク検索」▶「ソフトウェアディスク検索（ハードディスク）」の順にクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

3 「リカバリ領域に保存されているソフトウェア一覧を表示します。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

4 「ソフトウェアディスク検索」ウィンドウの「ソフトウェア」欄の「Office ナビ 2010」をクリックします。

5 「内容」欄の「OfficeNavi_x86_ja-jp.exe」アイコンをダブルクリックします。

6 この後は画面の指示に従ってインストールします。

Point

- 初回起動時にライセンス認証を行ってください。
  ライセンス認証については「Office Personal 2010」のパッケージに同梱されている『お使いになる前に』をご覧ください。

7 Q&A

トラブル発生時の基本操作

トラブルを解決するにはいくつかのポイントがあります。トラブル発生時に対応していただきたい順番に記載しています。

1 落ち着いて状況を確認する（→ P.89）
2 マニュアルで調べる（→ P.90）
3 ホームページで解決する（→ P.90）
4「富士通ハードウェア診断ツール」を使う（→ P.91）
5 サポートの窓口に相談する（→ P.92）

落ち着いて状況を確認する

トラブルが発生したときは、落ち着いて、直前に行った操作や現在のパソコンの状況を確認しましょう。

■メッセージなどが表示されたらメモしておく

画面上にメッセージなどが表示されたら、メモしておいてください。マニュアルで該当するトラブルを検索する場合や、お問い合わせのときに役立ちます。

■パソコンや周辺機器の電源を確認する

電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが発生したら、まずパソコンや周辺機器の電源が入っているか確認してください。

- 電源ケーブルや周辺機器との接続ケーブルは正しいコネクタに接続されていますか？またゆるんだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありませんか？
  他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- 使用する装置の電源スイッチはすべて入っていますか？
  ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。
- キーボードの上に物を載せていませんか？
  キーが押され、パソコンが正常に動作しないことがあります。

この他、「起動・終了時」（→ P.94）の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」もあわせてご覧ください。

■以前の状態に戻す

周辺機器の取り付けやソフトウェアのインストールの直後にトラブルが発生した場合は、いったん以前の状態に戻してください。

- 周辺機器を取り付けた場合は、取り外します。
- ソフトウェアをインストールした場合は、アンインストールします。

その後、製品に添付されているマニュアル、「Readme.txt」などの補足説明書、インターネット上の情報を確認し、取り付けやインストールに関して何か問題がなかったか確認してください。
発生したトラブルに該当する記述があれば、指示に従ってください。

■セーフモードで起動する

セーフモードで起動できるか確認してください。セーフモードは、Windows が正常に起動できないとき、必要最低限の機能で起動するモードです。そのためトラブルの原因を突き止めるのに適しています。
起動方法は次のとおりです。

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

3 キーボードの【F8】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。

4 パソコンの電源を入れます。

5 FUJITSUのロゴ画面が消えたらすぐ、【F8】を押します。

軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。
Windows が起動してしまった場合は、（スタート）▶ シャットダウン の ▶ ▶「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
起動メニューが表示されず、Windowsも起動しない場合は、電源ボタンを4秒以上押して（FHシリーズの場合は、⏻に4秒以上触れて）電源を切り、10秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

6「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、お使いの OS が選択されていることを確認します。

7 【↑】【↓】で「セーフモード」を選択し、【Enter】を押します。
セーフモードで起動します。

■BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

Windows が起動しないときなど、BIOS セットアップを起動し、BIOS の設定を戻すと問題が解決できることがあります。

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

3 キーボードの【F2】の位置を確認し、押せるように準備しておきます。

4 パソコンの電源を入れます。

5 FUJITSU のロゴ画面が表示されたら【F2】を押します。
【F2】を軽く押しただけでは認識されない場合があります。画面が切り替わるまで何度も押してください。
Windows が起動してしまった場合は、(スタート)▶ シャットダウン の ▶ ▶「再起動」の順にクリックし、パソコンを再起動して、操作をやり直してください。
起動メニューが表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して(FH シリーズの場合は、⏻に 4 秒以上触れて)電源を切り、10 秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

6 【←】または【→】で「終了」メニュー▶「標準設定値を読み込む」の順に選んで【Enter】を押します。

7 「はい」を選んで【Enter】を押します。

8 「変更を保存して終了する」を選んで【Enter】を押します。

9 「はい」を選んで【Enter】を押します。
Windows が起動します。

Point

- BIOS パスワードを設定していた場合、BIOS をご購入の状態に戻してもパスワードは解除されません。

マニュアルで調べる

このマニュアルの「よくあるトラブルと解決方法」(→P.93)をご覧になり、発生したトラブルの解決方法がないかご確認ください。

ホームページで解決する

お使いの「らくらくパソコン」に関して、困ったときに見るサポート情報ページです。専用電話窓口の番号確認もここから行えます。なお、ご利用にはインターネット接続環境が必要となります。

このホームページの内容

- 電話相談窓口
- リモートサポート(遠隔支援モジュール)
- よくあるお問い合わせ

FUJITSU Japan
ホーム 国・地域のサイト | サイトマップ
毎日のページ 困ったときのページ 学習のページ
困ったときのページ
こんにちは、富士通太郎さん[ユーザー登録番号0123456789] 文字サイズ: 小 中 大
パソコンのことで困ったらお電話ください
らくらくパソコン専用電話相談窓口
通話料無料 0120-995-365
受付時間:9時～17時(365日)
携帯電話、PHSからご利用のお客様は、以下の番号におかけください。
045-514-2265(通話料金お客様負担)
受付時間:9時～17時(365日)
※システムメンテナンスなどのため、サポートを休止させていただく場合がございます。
遠隔支援によるサポートを実施する際に使用します。
サポート担当者の指示に従いご利用ください。
リモートサポートのご利用はこちらから
訪問サポートのご希望はご相談ください
らくらく訪問サービス(PC家庭教師)【有料】
通話料無料 0120-37-2794
受付時間 10時～19時
※システムメンテナンス日などを除きます。
訪問スタッフがお客様のご自宅に訪問しお客様のパソコンに関するお悩みなどを解決します。
>>PC家庭教師のページへ
無料ご利用期限
富士通 太郎さんは、らくらくパソコン専用電話相談窓口を「2011年 3月 31日」までご利用になれます。
サポートサービス利用状況
サポートサービスの利用状況を確認することができます。
- お問い合わせ履歴
- Azby安心パックの利用状況など
利用状況を確認する
ご登録の製品
機種を切り替える
よくあるお問い合わせ

- コールバック(ご希望日時に富士通からお電話を差し上げるサービス)申し込み

FUJITSU Japan
ホーム 国・地域のサイト | サイトマップ
AzbyClub > サポート > 修理サービス > ネットで故障診断
製品 サポート 使いこなし ショッピング マイページ FMV活用情報 AzbyClub
ウイルス・セキュリティ情報 | ダウンロード | Q&A事例検索 | 修理サービス | お問い合わせ
ネットで故障診断 (旧名称:WEB修理相談)
故障かなと思ったらまず 無料で診断!
「故障かな?」の半数以上は診断で解決可能
故障の場合はネットから修理申し込みができます
診断スタート
上のボタンを押すと診断が始まります。
「故障かな?」の半数以上は診断で解決可能
故障・修理受付窓口へお問い合わせしたお客様の半数以上は、状況を確認したり設定を変更したりすることで、修理に出さずに問題解決しています。故障ではないのに修理に出すと、その期間はパソコンが使用できなかったり、診断料がかかったり・・・。
「ネットで故障診断」は、画面にしたがって回答すると、簡単に故障かどうかを診断することができる便利なサービスです。
お問い合わせの前に、ぜひ一度「ネットで故障診断」でトラブルを診断してください。

「サポートナビ」

「サポートナビ」を使うと富士通のサポートページに簡単にアクセスすることができます。「サポートナビ」は、次のいずれかの方法で起動してください。
・サポートボタンを押します。
・ (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「サポートナビ」の順にクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

Windowsが起動しなくなったときに、このパソコンのハードウェア（CPU、メモリ、ディスプレイ、ハードディスク、CD/DVDドライブ）に問題がないか診断します。診断時間は5～20分程度で、診断したいハードウェアも選択できます。
「トラブル解決ナビ」から起動できます。

■「トラブル解決ナビ」の起動方法

1 パソコンの電源が切れた状態で、サポートボタンを押します。

2 起動メニューが表示されたら、【↓】を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、【Enter】を押します。
「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

Point

▸「トラブル解決ナビ」が表示されない場合は、BIOS の設定を初期値に戻すと解決する場合があります。

■「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する

1 「診断ツール」タブ▶「富士通ハードウェア診断ツール」▶「実行」の順にクリックします。
「富士通ハードウェア診断ツール」が表示されます。

2 「実行」をクリックすると表示される注意事項をよく読み、「OK」をクリックします。
「注意事項」ウィンドウが閉じます。

3 診断したいアイコンにチェックが入っていることを確認し、「実行」をクリックします。
ハードウェア診断が始まります。
診断時間は通常 5 ～ 20 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては、長時間かかる場合があります。

Point

▸「CD/DVD ドライブに CD-ROM または DVD-ROM をセットしてください」などと表示された場合は、CD や DVD をセットして「診断開始」をクリックしてください。ただし、何も書き込まれていないディスクや、音楽 CD、DVD-Video は使用できません。
診断を取りやめる場合は「スキップ」をクリックしてください。

4 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。
表示された内容に従って操作を行ってください。
エラーコードが表示された場合には、メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

5 「診断結果」ウィンドウで「閉じる」をクリックします。
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。

6 「終了」をクリックします。
「終了」ウィンドウが表示されます。

7 「はい」をクリックします。
「トラブル解決ナビ」ウィンドウに戻ります。
「診断プログラム」実行後に「富士通ハードウェア診断ツール」を使用した場合は、パソコンの電源が切れます。

Point

- Windows が起動しなくなったときは、起動メニューから起動できる「診断プログラム」を使用してもハードウェアの障害箇所を診断できます。
  診断後にエラーコードが表示された場合は、メモしておき、サポートの窓口に伝えてください。
  診断時間は通常 5 〜 20 分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。
  1. BIOSの設定をご購入時の状態に戻します。
  2. パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
  3. パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。
  4. サポートボタンを押します。
  5. 起動メニューが表示されたら、【↓】を押して、「診断プログラム」を選択し、【Enter】を押します。
  6. 「診断プログラムを実行しますか？」と表示されたら、【Y】を押してハードウェア診断を開始します。
     ハードウェア診断が終了すると、診断結果が表示されます（お使いの機種によっては、いったんパソコンが再起動した後で診断結果が表示されます）。
  - ・トラブルが検出されなかった場合
    【Enter】を押してください。「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「注意事項」ウィンドウが表示されます。
    この後は、「「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する」（→ P.91）をご覧ください。
  - ・トラブルが検出された場合
    画面に表示された内容をメモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、【Y】を押してパソコンの電源を切ってください。

サポートの窓口に相談する

本章をご覧になり、トラブル解決のための対処をした後も回復しない場合には、サポートの窓口に相談してください。
らくらくパソコン専用　サポート＆サービスについては、次のマニュアルをご覧ください。
『らくらくパソコン活用ブック』

よくあるトラブルと解決方法

トラブルが発生したときの Q&A 集

■起動・終了時

- 電源が入らない（→ P.94）
- ビープ音が鳴る（→ P.94）
- 画面に何も表示されない（→ P.94）
- Windows が起動しない（→ P.94）

■Windows・ソフトウェア関連

- ソフトウェアが動かなくなった（→ P.94）
- ソフトウェアのインストールが正常に行われない（→ P.94）
- ソフトウェアがうまく動かない（→ P.95）
- ユーザーアカウント制御画面が表示される（→ P.95）
- 画面右下の通知領域にアイコンが表示されない（→ P.95）

■ポインティングデバイス

- マウスポインターが動かない（→ P.95）
- マウスポインターの動きがおかしい（→ P.95）

■キーボード

- 押したキーと違う文字が入力される（→ P.96）
- キーボードに液体をこぼしてしまった（→ P.96）

■文字入力

- 入力した文字が上書きされる（→ P.96）
- 文字が正しく入力できない（→ P.96）

■サウンド

- スピーカーから音がでない（→ P.96）
- 音が割れる（→ P.96）
- マイクからうまく録音ができない（→ P.96）

■ディスプレイ

- 「ディスプレイに関する Q&A」（→ P.69）をご覧ください。

■CD/DVD

- 再生できない（→ P.97）
- 取り出せない（→ P.97）

■メモリーカード

- メモリーカードの内容が正しく表示されない（→ P.97）

■有線 LAN

- ネットワークに接続できない（→ P.97）

■無線 LAN

- ネットワークに接続できない（→ P.98）

■USB 機器

- USB 機器が使えない（→ P.99）

■ハードディスク

- ハードディスクからカリカリ音がする（→ P.99）
- 頻繁にフリーズするなど動作が不安定になる（→ P.99）

■メール

- 受信したメールが文字化けしている（→ P.100）
- メールを送受信できない（→ P.100）

■リカバリ

- データが復元できない（→ P.100）
- ご購入時の状態に戻すリカバリができない（→ P.100）

起動・終了時

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電源ケーブルや AC アダプタが正しく接続されていない	電源ケーブルや AC アダプタが正しく接続されているか確認してください（→ P.20）。
	上記の対処で解決しない場合	電源ケーブルやACアダプタをいったん取り外し、2 ～ 3 分放置後、再び取り付けてください。
ビープ音（ブザーの音）が鳴る	連続して誤った BIOS パスワードを入力した	⏻に4秒以上触れて、電源を切ってください。
画面に何も表示されない	画面が暗すぎる	画面を明るくしてください（→ P.50）。
	ディスプレイのバックライトが消灯している	何かキーを押してください。
	スリープや休止状態になっている	⏻に触れてください。
	上記の対処で解決しない場合	⏻に4秒以上触れて、電源を切り、10秒以上待ってから電源を入れ直してください。 なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。
Windowsが起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧になり、正しく取り付けられているか確認してください。
	Windows を正常に終了できなかった	セーフモードで起動し、パソコンを再起動してください。
	上記の対処で解決しない場合	ハードウェアの診断を行ってください（→ P.91）。

Windows・ソフトウェア関連

症状	考えられる原因	対処方法
ソフトウェアが動かなくなった	–	次の手順でソフトウェアを終了させてください。 ソフトウェアを強制終了した場合、ソフトウェアの作業内容を保存することはできませんので、ご注意ください。 1. 【Ctrl】＋【Shift】＋【Esc】を押す。 2. 「アプリケーション」タブをクリックする。 3. 動かなくなったソフトウェアを選択し、「タスクの終了」をクリックする。
ソフトウェアのインストールが正常に行われない	セキュリティ対策ソフトの影響を受けている	セキュリティ対策ソフトをいったん終了してから、インストールしてください。
	上記の対処で解決しない場合	各ソフトウェアのサポート窓口にお問い合わせください（『らくらくパソコン活用ブック』）。

症状	考えられる原因	対処方法
ソフトウェアがうまく動かない	同時に複数のソフトウェアを起動している	使用していないソフトウェアを終了させてください。
	ハードディスクの空き容量が少ない	不要なファイルを削除したり、ごみ箱を空にしたりして、空き容量を増やしてください。
	ソフトウェアの設定が間違っている	ソフトウェアのマニュアルやヘルプをもう一度ご覧になり、正しく設定されているか、注意事項や制限事項はないか確認してください。
	ファイアウォール機能が動作を制限している	お使いの環境に応じてファイアウォール機能の設定を変更してください。お使いのセキュリティ対策ソフトのマニュアルまたはヘルプをご確認ください。
	上記の対処で解決しない場合	ソフトウェアを再起動してください。
ユーザーアカウント制御画面が表示される	−	ログオンしているユーザーアカウントの種類によって、対処が異なります。 **■管理者の場合** 「はい」をクリックする。 **■標準ユーザーの場合** 管理者権限をもつユーザーアカウントのパスワードを入力する。
画面右下の通知領域にアイコンが表示されない	ソフトウェアが起動していない	(スタート)▶「すべてのプログラム」の順にクリックし、表示されるメニューからソフトウェアを起動してください。
	アイコンが隠れている	通知領域にある をクリックしてください。

ポインティングデバイス

症状	考えられる原因	対処方法
マウスポインターが動かない	マウスが正しく動作しづらい場所で使っている	次のようなものの表面を避けて使用してください。 ・光を反射しやすいもの ・光沢があるもの ・濃淡のはっきりした柄のあるもの ・同じパターンが連続しているもの
マウスポインターの動きがおかしい	−	次の手順で「マウスのプロパティ」を表示し、設定を変更してください。 1. (スタート)▶「コントロールパネル」▶「ハードウェアとサウンド」の順にクリックします。 2. 「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリックします。

キーボード

症状	考えられる原因	対処方法
押したキーと違う文字が入力される	Caps Lock が有効になっている	【英数 大文字/小文字 Caps Lock】を押してください。
	文字の入力方法が変更されている	【A⇔あ】ボタンを押して、文字の入力方法を変更してください。
キーボードに液体をこぼしてしまった	―	1. すぐにパソコンの電源を切り、電源ケーブルまたは AC アダプタを取り外してください。 2. キーボードを水平にしたまま、乾いた柔らかい布で液体を拭き取ってください。 3.「らくらくパソコン専用電話相談窓口」に点検を依頼してください。

文字入力

症状	考えられる原因	対処方法
入力した文字が上書きされる	上書き入力モードになっている	【挿入 Insert】を押してください。
文字が正しく入力できない	入力モードがおかしい	言語バーの入力モードを変更してください。
	「ローマ字入力／かな入力」がおかしい	【Alt】＋【カタカナ ひらがな】（カタカナ／ひらがな）を押してください。キーを押すごとに、ローマ字入力、かな入力に変更することができます。

サウンド

症状	考えられる原因	対処方法
スピーカーから音がでない	消音（ミュート）になっている	1. 画面右下の通知領域にある（スピーカー）をクリックします。 音量調節つまみが表示されます。 2. 音量調節つまみの下にある をクリックし、 にします。
	音量が小さい	音量調節ボタン（＋）を押して、音量を大きくしてください。
	ヘッドホンを接続している	ヘッドホンを取り外すか、ヘッドホンを接続したときの設定を変更してください（Web『補足情報』）。
音が割れる	音量が大きすぎる	ボリュームボタン（－）を押して、適切な音量にしてください。
マイクからうまく録音ができない	録音の設定が適切でない	録音の設定を確認してください（Web『補足情報』）。

CD/DVD

症状	考えられる原因	対処方法
再生できない	ディスクが正しくセットされていない	正しくセットしてください。
	ディスクの表面が汚れている	指紋やほこりなどを拭き取ってください。
	このパソコンが対応していないディスクを再生しようとしている	「取り扱い」－「CD/DVD ドライブ」（→ P.50）をご覧になり、対応しているか確認してください。
取り出せない	電源が入っていない	電源を入れてから、CD/DVD 取り出しボタンを押してください。
	－	1.「コンピューター」をクリックします。 2. CD/DVD ドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「取り出し」をクリックします。
	上記の対処で解決しない場合	1. パソコンの電源を切ります。 2. CD/DVD ドライブにある小さな穴に、クリップの先などを差し込みます。 3. トレーを静かに引き出し、ディスクを取り出します。

メモリーカード

症状	考えられる原因	対処方法
メモリーカードの内容が正しく表示されない	メモリーカードが書き込み禁止になっている	書き込み禁止の状態を解除し、差し込み直してください。

有線 LAN

症状	考えられる原因	対処方法
ネットワークに接続できない	LAN ケーブルが外れている	LAN ケーブルを接続してください。
	LAN ケーブルや、ケーブルのコネクタに損傷がある	LAN ケーブルを交換してください。
	ネットワーク機器の電源が入っていない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。
	ネットワーク機器が正常に動作していない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。
	無線 LAN と有線 LAN の設定を同じにしている	「インターネットの設定をする」（→ P.28）をご覧になり、設定を確認してください。
	スリープや休止状態からレジュームした	ネットワークに接続中は、スリープや休止状態にしないことをお勧めします。
	上記の対処で解決しない場合	（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Plugfree NETWORK」▶「ネットワーク診断」の順にクリックし、ネットワークの状態を診断してください。

無線 LAN

症状	考えられる原因	対処方法
ネットワークに接続できない	電波が発信されていない（ソフトウェアで電波を停止している）	（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「無線 LAN 電波オン／オフツール」▶「無線 LAN 電波オン／オフツール」の順にクリックし、表示された画面で、「電波発信」をクリックしてください。
	ネットワーク機器の電源が入っていない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。
	ネットワーク機器が正常に動作していない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。
	パソコンとネットワーク機器の設置場所が適切でない	パソコンとネットワーク機器の距離が遠かったり、間に障害物があったりすると、電波が届きにくくなります。 設置場所を変えることで、改善できる場合があります。
	無線 LAN と有線 LAN の設定を同じにしている	「インターネットの設定をする」（→ P.28）をご覧になり、設定を確認してください。
	無線LANのプロファイルが正しくない	「インターネットの設定をする」（→ P.28）をご覧になり、設定を確認してください。
	スリープや休止状態からレジュームした	ネットワークに接続中は、スリープや休止状態にしないことをお勧めします。
	上記の対処で解決しない場合	（スタート）▶「すべてのプログラム」▶「Plugfree NETWORK」▶「ネットワーク診断」の順にクリックし、ネットワークの状態を診断してください。

USB 機器

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器が使えない	ケーブルが正しく接続されていない	ケーブルを正しく接続してください。
	ドライバーに問題がある	USB 機器のマニュアルをご覧になり、必要なドライバーをインストールしてください。
	USB 機器の消費電力が大きすぎる	次の手順で、USB コネクタの電力使用状況を確認し、必要に応じて使用しない USB 機器を取り外してください。 1. (スタート)▶「コントロールパネル」の順にクリックする。 2. 「システムとセキュリティ」▶「システム」の順にクリックする。 3. 「システム」ウィンドウ左の「デバイスマネージャー」をクリックする。 4. 「ユニバーサル システム バス コントローラー」をダブルクリックし、「USB Root Hub」をダブルクリックする。 5. 「電力」タブをクリックし、USB 接続されているデバイスの必要な電力が、使用可能な電力の合計を超えていないか確認する。
	上記の対処で解決しない場合	Windows を再起動して、USB 機器を接続し直してください。

ハードディスク

症状	考えられる原因	対処方法
ハードディスクからカリカリ音がする	−	パソコンを操作していなくても、ハードディスクが動作することがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。
頻繁にフリーズするなど、動作が不安定になる	C ドライブの空き容量が少ない	不要なファイルを削除したり、ごみ箱を空にしたりして、空き容量を増やしてください。また、万が一に備えてバックアップをとっておくことをお勧めします。

メール

症状	考えられる原因	対処方法
受信したメールが文字化けしている	機種依存文字を使用している	送信者に機種依存文字を使わずにメールを送るよう依頼してください。
メールを送受信できない	インターネットに接続していない	「インターネットの設定をする」（→ P.28）をご覧になり、接続してください。
	メールアドレスが間違っている	メールアドレスを確認してください。
	メールソフトの設定が間違っている	プロバイダーのマニュアルをご覧になり、メールソフトの設定を確認してください。
	上記の対処で解決しない場合	時間を置いてから送受信してください。 それでも改善されない場合は、プロバイダーにお問い合わせください。

リカバリ

症状	考えられる原因	対処方法
データが復元できない	誤った復元データ格納先を指定した	復元データの格納先を確認してください。 ・D ドライブにバックアップした場合：D:¥FM_BACKUP ・ディスクにバックアップデータをコピーした場合：E:¥FM_BACKUP ・外付けのハードディスクドライブにバックアップした場合：例）F:¥FM_BACKUP ・「かんたんバックアップレスキュー」でバックアップした場合：D:¥PE_BACKUP
ご購入時の状態に戻すリカバリができない	リカバリ領域を削除した、または破損している	「リカバリデータディスク」を使用してリカバリしてください（→ P.85）。 「リカバリデータディスク」がない、または破損している場合は、「ディスクが必要な場合」（→P.86）をご覧になり、「リカバリデータディスク」をご購入してください。

8 廃棄・リサイクル

富士通パソコンの廃棄 ・ リサイクルに関するご案内

個人でご購入のお客様が本製品を廃棄する場合は、次のお申し込みホームページよりお申し込みください。

リサイクルの流れや注意事項などの最新の情報は、お申し込みホームページでご確認ください。

お申し込みホームページ	**http://azby.fmworld.net/recycle/**
お問い合わせ電話番号	03-5715-3140 受付時間 9:00 ～ 17:00 （土・日・祝日および弊社指定休日を除く）

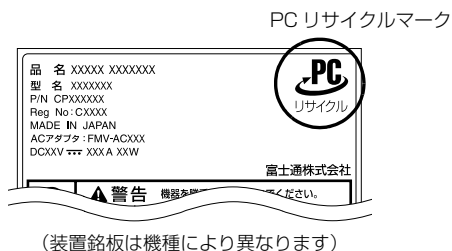
注　引越しなどでパソコンのリサイクルをお急ぎの場合は、お手続きの早いクレジットカードでのお支払いでお申し込みいただくことをお勧めします。
詳しくは、上記ホームページより「引越し等でパソコンリサイクルをお急ぎのお客様へ」をクリックしてください。

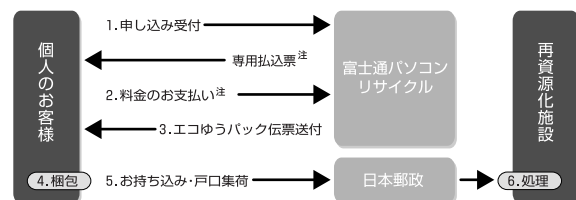
重要

- 法人、企業のお客様へ
  お申し込みホームページは、個人のお客様専用のため、法人、企業のお客様はご利用いただけません。
  法人、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

PC リサイクルマークについて

PC リサイクルマークは、メーカーとユーザーのみなさまが協力し合って、ご使用済み家庭用パソコンを資源に変えるためのマークです。PC リサイクルマークが付いた使用済み当社製パソコンは、新たな料金負担なく回収・再資源化いたします。ご使用済み家庭用パソコンのリサイクル活動に、ぜひご協力をお願いいたします。
PC リサイクルマークの付いていない当社製パソコンについては、有償で回収・再資源化をうけたまわります。料金など詳しくは、ホームページをご確認ください。

（装置銘板は機種により異なります）

ご利用の流れ

最新の情報はお申し込みホームページでご確認ください。

1 ホームページからお申し込みください。
付属ディスプレイのある ESPRIMO の場合、パソコン本体と付属ディスプレイそれぞれの申し込み手続きと梱包が必要です。

2 PCリサイクルマークの付いていないパソコンは、事前に料金をお支払いいただきます。

3 パソコンに貼るエコゆうパック伝票をお届けします。
（伝票には有効期限がありますので注意してください。）

4 パソコンをお客様自身で梱包していただきます。

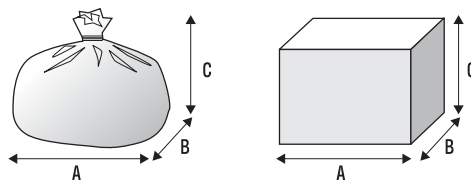
5 梱包したパソコンにエコゆうパック伝票を貼り、郵便局（簡易郵便局を除く）にお持ち込みいただくか、エコゆうパック伝票に記載されている電話番号にご連絡いただきご自宅での引き取りを行います。

6 お引き渡しいただいたパソコンは、当社指定の配送業者が当社指定の再資源化処理業者まで配送し、再資源化処理業者にて、法律に沿った適正な再資源化処理を行います。

サービスをご利用になるうえで

- 他社製パソコンは弊社では回収・再資源化できません。**各製造メーカー**にお申し込みください。
- ガラス面が破損した CRT ディスプレイなど、運送上危険なものは回収できません。
- ご購入時の標準添付品のうち、マウス、キーボード、ケーブル類、スピーカーなどは本体といっしょに梱包していただければ同時に回収いたします（マニュアル、CD-ROM 媒体などは回収できません）。
- 弊社ホームページ（http://azby.fmworld.net/recycle/recycle_rurles.html）、またはエコゆうパック伝票に同封されている「使用済家庭用パーソナルコンピュータ回収委託規約」を必ずお読みいただき、**同意したうえ**でお引き渡しください。
- エコゆうパックは、コンビニエンスストアではお取り扱いできません。
- エコゆうパック伝票には**有効期限があります**ので、速やかにお引き渡しいただきますようお願いいたします。
- お引き渡しされた後は、再資源化のキャンセル／パソコンの**返却はできません。**
- お引き渡しになるときには、パソコン内のデータは**お客様ご自身の責任**で消去してください。データの消去については、「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」（→ P.103）をご覧ください。
- 廃棄前に、メモリーカードや DVD などのディスクがパソコン本体にセットされたままになっていないか確認してください。

梱包するときに

- 梱包の条件は次のとおりです。

・厚手のポリ袋（薄手のポリ袋は 2 枚重ね）やビニール袋などの破れにくい袋、もしくは段ボール箱
・使用済みパソコンは、重さ 30kg まで
・A ＋ B ＋ C の長さ＝ 1.7m 以内
※ 1.7m 以内になるように梱包願います。
・同梱できるもの

○ キーボード、マウス、電源ケーブルなどの標準添付品

× プリンターなどの周辺機器、取扱説明書、マニュアル、CD や DVD など

- エコゆうパック伝票はビニールケースに入れたまま、裏面をはがし、梱包箱（もしくは袋）の上面や側面の目立つ場所に貼り付けてください。
- 梱包した使用済みパソコンが 30kg を超える、梱包の縦、横、高さの合計が 1.7m を超えるなどの理由により、郵便局で引き取りができない場合があります。そのときは、富士通パソコンリサイクルのお問い合わせ電話番号にご連絡ください。

廃棄に関するご注意

ここでは、本製品（付属品を含む）を廃棄する場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。
したがって、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。
ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般に

① データを「ごみ箱」に捨てる
②「削除」操作を行う
③「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
④ ソフトで初期化（フォーマット）する
⑤ 付属のリカバリー CD を使い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。
まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OS のもとでファイルを復元する事ができてしまいます。更に②～⑤の操作をしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。
つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。
したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。
パソコンユーザが、廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。
なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

■ハードディスクデータ消去

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の1つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。
「ハードディスクデータ消去」は、Windows などの OS によるファイル削除やフォーマットと違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。
ただし、「ハードディスクデータ消去」で消去した場合でも、特殊な設備や特殊なソフトウェアを使ってデータを復元される可能性はゼロではありませんので、あらかじめご了承ください。

□お使いになるうえでのご注意

- 必要なデータはバックアップしてください
- 「リカバリディスクセット」の「トラブル解決ナビディスク」が必要です
- 「ハードディスクデータ消去」実行後にご購入時の状態に戻す場合
  「トラブル解決ナビディスク」を使って起動してください。「トラブル解決ナビ」が表示されたら、「リカバリ」タブで「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を選択します。リカバリディスクセットを使い、画面の指示に従って操作してください。
- データ消去終了まで、数時間かかります
  途中で電源を切らないでください。ハードディスクが壊れる可能性があります。
- ご購入時に取り付けられている内蔵ハードディスクのみ消去できます
- タッチパネルでの操作はできません
  マウスやキーボードで操作してください。

□準備

- 外付けハードディスクなどの外部記憶装置は必ず取り外してください
- 周辺機器は取り外してください

●ノートブック型の場合、必ず AC アダプタを接続してください

□ハードディスクデータ消去手順

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 サポートボタンを押します。

3 「トラブル解決ナビディスク」をセットします。
認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

4 [↓] を押して「CD/DVD Drive」を選択し、[Enter] を押します。

5 そのまましばらくお待ちください。
この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

6 「ユーティリティ」タブをクリックして「ハードディスクデータ消去」をクリックし、「実行」をクリックします。
「ハードディスクデータ消去」の画面が表示されます。

7 内容をよくお読みになり、同意していただいた場合は、「同意します」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。
消去するハードディスクを選択する画面が表示されます。

8 データを消去したいハードディスクが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
データを消去する方式を選ぶ画面が表示されます。

9 通常は「固定データ書き込み」または「DoD 標準（米国国防総省規格）」のどちらかを選んで◉にし、「次へ」をクリックします。
エラーが発生したときの処理を選ぶ画面が表示されます。

10 内容をよくお読みになり、「ハードディスクのエラーを検出した時点で処理を中断します【推奨】」または「エラーを検出した際、その部分をスキップして処理を継続します」のどちらかをクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。
ハードディスクの情報と、データ消去中の注意事項が表示されます。

11 内容をよくお読みになり、データの消去を実行しても良い場合は、「開始」をクリックします。
確認のウィンドウが表示されます。

12 「OK」をクリックします。
データ消去が始まります。消去には、数時間かかります。

13 「電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ってください。」と表示されたら、デスクトップ型では ⏻ に 4 秒以上触れて、ノートブック型では電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切ります。

■法人・企業のお客様へ

弊社では、法人・企業のお客様向けに、専門スタッフがお客様のもとへお伺いし、短時間でデータを消去する、「データ消去サービス」をご用意しております。
消去方法は、専用ソフトウェアによる「ソフト消去」と、消磁装置による「ハード消去」があります。

ソフト消去	専用ソフトウェアを使って、ハードディスクに対して 2 回上書き（ランダムデータ+0 データ）することにより残存するデータを完全に消去します。DoD や NSA［エヌエスエー］など海外の各種消去規格にも対応可能です。
ハード消去	消磁装置を使用してハードディスクを磁気的に破壊します（最大磁力：1.3 テスラ）。

消去作業完了報告書として、作業実施日、消去済み機器一覧、ならびに消去方法を記載した物を納品物として提供します。
詳しくは、「データ消去サービス」（http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/h_elimination/）をご覧ください。
お問い合わせ／お申し込みは、上記ホームページのフォームでお受けしています。

液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

次の場合を除き、本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

● LED バックライト搭載の機種（LIFEBOOK）
液晶ディスプレイの仕様については、「仕様一覧」をご覧ください。

使用済みバッテリの取り扱いについて

ノートブック型

- リチウムイオン電池のバッテリパックは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- 使用済みバッテリは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- バッテリを火中に投じると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

■個人のお客様へ

使用済みバッテリは廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクル BOX に入れてください。詳しくは、一般社団法人 JBRC［ジェイビーアールシー］のホームページ（http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html）をご覧ください。

弊社は、一般社団法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。

JBRC

Point

- リサイクルにお申し込みいただく場合は、バッテリパックは外さずに、パソコンといっしょにリサイクルにお出しください。パソコンのリサイクルについては、「富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内」（→ P.101）をご覧ください。

■法人・企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

9 安心してお使いいただくために

安全上のご注意

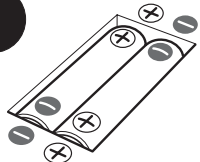
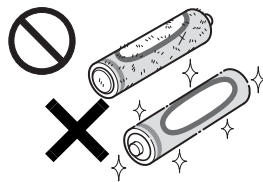
本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■バッテリパック／電池

⚠ 警告

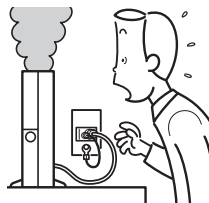
電池には以下のことをしないでください。
破裂・液もれ・火災・けが・周囲を汚す原因となります。

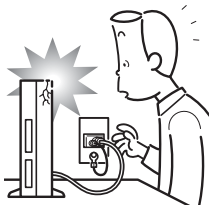
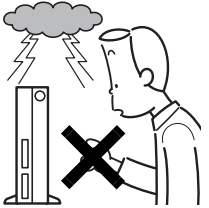
・ショートさせる
・加熱したり、火の中に入れたりする
・端子部分を濡らしたり、水の中に入れる
・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与える
・乾電池を充電する
・ハンダ付けをする

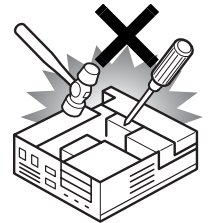
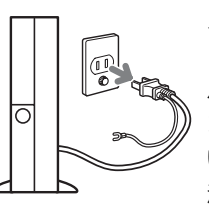
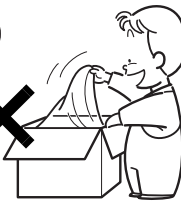
長時間使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。
万一電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
失明など障害の原因となります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。
皮膚に障害を起こす原因となります。

電池を機器に入れる場合は、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂･液もれ･発火の原因となります。

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■パソコン本体、AC アダプタ

⚠ 警告

本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。
発煙・発火・破裂の原因になります。

本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。
万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「らくらくパソコン専用電話相談窓口」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「らくらくパソコン専用電話相談窓口」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「らくらくパソコン専用電話相談窓口」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電・火災の原因となります。

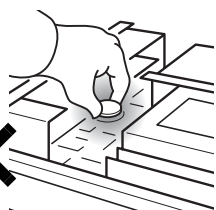
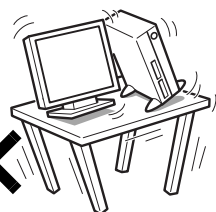
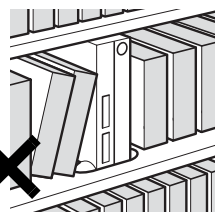
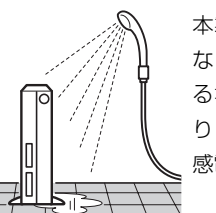
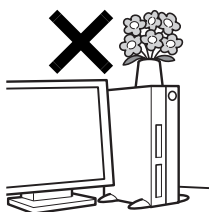
開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「らくらくパソコン専用電話相談窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

メモリの取り付けや取り外しを行うときなど、本体カバーを開ける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、しばらく経ってから本体カバーを開けてください。
落雷が起きた場合に感電の原因となります。

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

本体カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。また、作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。
お子様が手を触れると、本体および本体内部の突起物でけがをしたり、故障の原因となります。

パソコン本体や AC アダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。また、お子様が排気孔付近に近寄らないよう注意してください。
低温やけどの原因になります。

本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

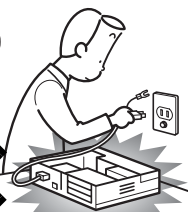
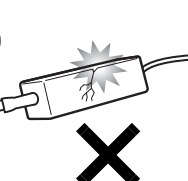
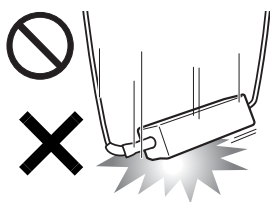
パソコンやパソコン台、テレビ台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
パソコンが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

本パソコンの内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。
リチウム電池はご自身で交換せずに、「らくらくパソコン専用電話相談窓口」にご相談ください。

振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。

本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。

転倒防止の処置をしてください。
地震が発生した場合などに、パソコンが倒れてけがや故障の原因となります。
ラックや床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。
特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

パソコン台やテレビ台を使う場合は、パソコンが台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。
パソコンが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因となることがあります。

パソコン本体や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っ掛け転倒したり、パソコン本体や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。また、お子様が容易にケーブルに触れないようにしてください。誤って首に巻きつけると窒息の原因となります。

添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電・火災の原因となります。

本体カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。
感電･火災の原因となります。

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

ACアダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障・感電・火災の原因となります。
修理は、「らくらくパソコン専用電話相談窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

タッチパネルはガラスを使用しているため、急激な衝撃を与えたり、パソコン本体を転倒・落下させないでください。
破損するおそれがあります。（タッチパネル搭載機種のみ）
また、破損した場合は、ガラスの破片に直接触れないよう注意して清掃してください。けがをするおそれがあります。
特に、お子様がいるご家庭では、清掃が完了するまでお子様が近づかないよう注意してください。

タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあった場合は、すみやかにご使用を中止し、「らくらくパソコン専用電話相談窓口」、またはご購入元にご連絡ください。（タッチパネル搭載機種のみ）
そのまま使用するとけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

使用中のパソコン本体や AC アダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際はパソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間を空け、通風孔などの開口部をふさがないでください。また、通風孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本製品をAVラックに収納する場合は、AVラック前面にドアなどがないもの、およびAVラック背面がふさがれていないものをお使いください。
AV ラックを設置する場合は、AV ラック背面を壁などでふさがないように、壁から 10cm 以上離してください。
また、パソコンと AV ラック内側の壁との間は、10cm 以上のすき間を空けてください。（GH シリーズ、DH シリーズのみ）
火災・故障の原因となることがあります。

本製品の上に重いものを置かないでください。
故障・けがの原因となります。

本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。

本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ～ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止を取るようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因となることがあります。
- 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- 手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

本製品（付属品を含む）の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスなどには電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投じられると電池が破裂するおそれがあります。
使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

パソコン台やテレビ台の扉は、開けたままにしないでください。
扉に指をはさんだり、ひっかけたりして、けがの原因となります。
特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

CD/DVD などのトレーやスロット、LAN のコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。
けが・感電の原因となることがあります。
特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

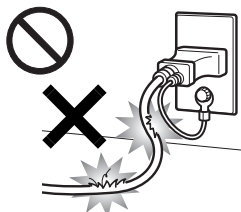
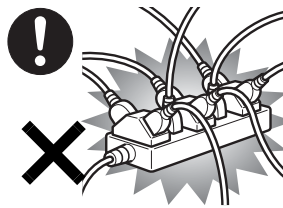
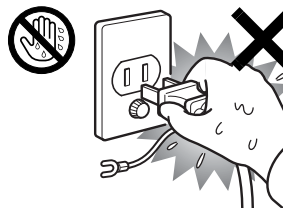
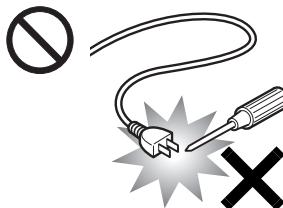
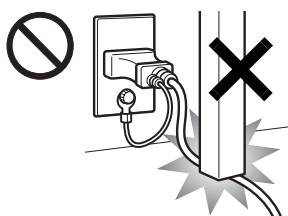
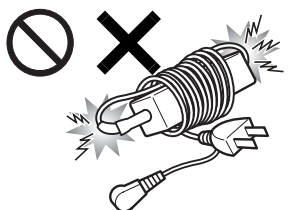
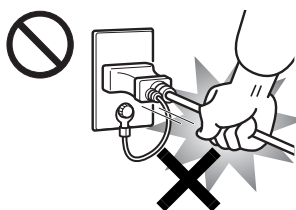
本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。
AC アダプタや電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

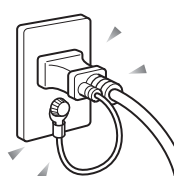
指定外の機器をパソコン本体に接続して電源を取らないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

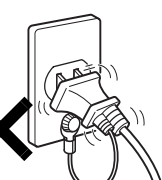
本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
電池を取り外せる場合は、電池も取り外してください。
火災の原因となることがあります。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

■電源コード

⚠警告

電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

ACアダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。

ACアダプタや電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりするとACアダプタや電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、「らくらくパソコン専用電話相談窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

ACアダプタ本体に電源コードをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
電源コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となります。

ACアダプタや電源ケーブルの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、ケーブルの芯線が露出したり断線して、感電・火災の原因となることがあります。

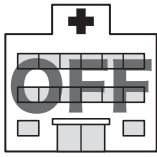
ACアダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。1年に一度は点検清掃してください。

電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
安全のため、電源プラグにはアース線がついています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。
電源コードを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

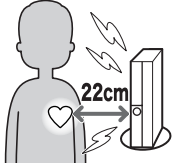
アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因となります。

ACアダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

ACアダプタや電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

■無線について

⚠ 警告

無線 LAN、FeliCa ポートの注意（搭載機種のみ）

次の場所では、パソコン本体の電源を切るか、無線通信機能をオフにしてください。
無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

・病院内や医療用電子機器のある場所
　特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
・満員電車の中など付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がある場所

心臓ペースメーカーの装着部位からは 22cm（FeliCa ポートは 12cm）以上離してください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。

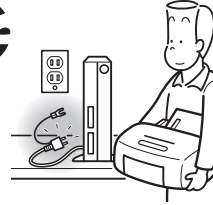
■ヘッドホン

⚠ 注意

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。
突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

■周辺機器

⚠ 警告

周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

⚠ 注意

「SD メモリーカード」、「メモリースティック」の使用終了直後は、「SD メモリーカード」、「メモリースティック」が高温になっていることがあります。「SD メモリーカード」、「メモリースティック」を取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。
火傷の原因となることがあります。
（使用できるメディアは、機種により異なります）

キーボードのキートップが外れた状態のまま使用しないでください。
内部の突起物でけがをしたり、故障の原因となります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

光学式マウスの底面の光を直接見ないでください。（添付機種のみ）
目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

メモリ（拡張 RAM モジュール）の取り付け／取り外しを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因になります。

電源コードがコンセントに接続されているときは、本体のカバーを外さないでください。
感電の原因になります。

周辺機器などの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

3Dメガネをご使用にならないときは、付属のケースに入れてお子様の手の届かないところに保管してください。

誤って飲み込んだり、思わぬけがの原因となります。

3Dメガネをご使用にならないときは、破損しないように付属のケースに入れて保管してください。

変形，破損したメガネは使用しないでください。思わぬけがの原因となります。

3Dメガネのテンプル（つる）を開くとき、可動部に指をはさまないようご注意ください。

けがの原因になります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3Dメガネのフレーム両側にある穴に指が入らないようご注意ください。

けがの原因になります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3Dメガネはサングラスとして使用しないでください。

サングラスではないため、太陽や強い光から目を保護することはできません。

3Dメガネをお掛けになるときは、テンプル（つる）をきちんと開いて、顔に添わせながら正面より、両手でゆっくりと掛けてください。

テンプル（つる）の先で目や顔を突かないようにご注意ください。

3Dメガネをはずすときは、テンプル（つる）をもって顔に添わせながら、正面より両手でゆっくりはずしてください。

片手で無理に取りはずすと、破損や変形の原因になります。

3Dメガネをご使用になり肌に異常を感じたときは、速やかに使用を中止し、医師の診断を受けてください。

3Dメガネは指定の用途以外には、ご使用にならないでください。

視界が悪くなり危険です。

3D機能を使用するときは、別冊マニュアル「3D機能をお使いになる方へ」の注意事項もご確認ください。（3D対応ディスプレイ搭載機種のみ）

■レーザの安全性について

□CD/DVD ドライブの注意（CD/DVD ドライブ搭載機種のみ）

本製品に搭載されている CD/DVD ドライブは、レーザを使用しています。

クラス 1 レーザ製品

CD/DVD ドライブは、クラス 1 レーザ製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter J に準拠しています。

また、クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠ 警告

本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

- 光源部を見ないでください。
  CD/DVD ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。
  また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線を覗きこまないでください。
  レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因となります。
- お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。
  レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因となります。

□レーザマウスについて
（レーザマウス添付機種のみ）

クラス 1 レーザ製品 IEC 60825-1:2001

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

⚠ 警告

マウス底面から、目に見えないレーザ光が出ています。クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、レーザ光を長時間、直接目に向けることは、できるだけ避けてください。

使用上のお願い

パソコン本体取り扱い上の注意

- 衝撃や振動を与えないでください。
- 操作に必要のない部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- スピーカー前面を強い力で押したりしないでください。
- マニュアルに記述されているところ以外は絶対に開けないでください。
- パソコン本体に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。
- 磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものをパソコン本体や画面に近づけないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となったり、保存しているデータが消えてしまうおそれがあります。
- 水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。故障の原因になる可能性があります。
- パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

パソコンの温度上昇に関して

パソコンの使用中に、パソコン本体が熱を持つために温かく感じられることがありますが、故障ではありません。

パソコン内部からの音に関して

パソコン本体内部からは、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音や、ハードディスクドライブがデータを書き込む音、CD/DVD ドライブのディスク読み取りヘッドが移動する音などが聞こえることがあります。これらは故障ではありません。

パソコンを移動する場合の注意

- 必ずパソコンの電源を切ってください。電源が入ったままや、省電力状態のまま持ち運ばないでください。また、電源を切ってから動かす場合も、約 5 秒ほど待ってから動かしてください。衝撃によりハードディスクドライブが故障する原因となります。

●接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。

●AC アダプタや接続されているケーブル類を取り外してください。

AC アダプタの取り外し方は、次のとおりです。

① AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜きます。

②固定していたケーブルを外します。

③ACアダプタをDC-INコネクタから取り外します。

ここを 90 度回転させて水平にし、ケーブルをパソコン本体から取り外した後、元に戻します。

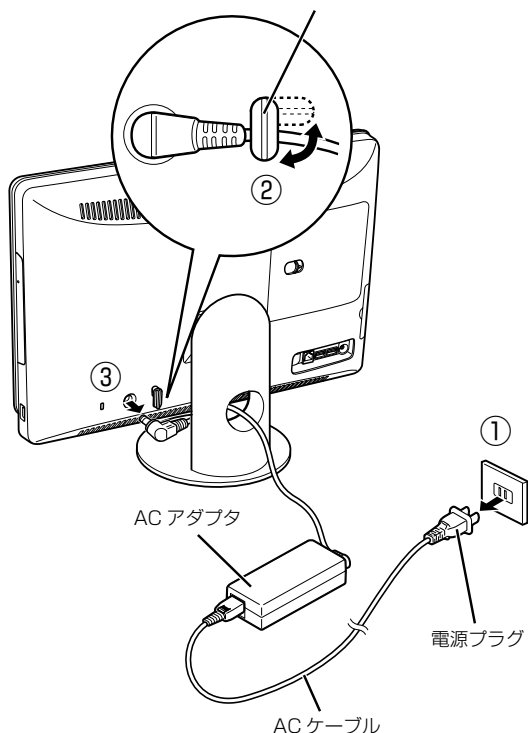
②

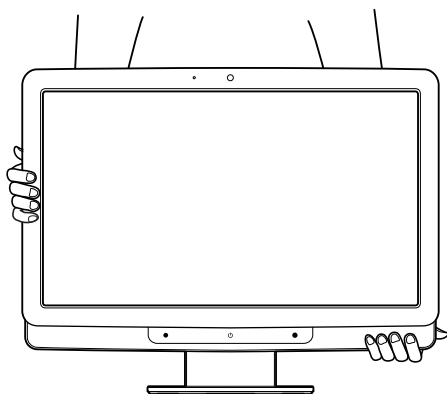
③

①

AC アダプタ

電源プラグ

AC ケーブル

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

●液晶ディスプレイ部分を前にして、パソコン本体下部と側面部を持ってください。

●スピーカー部分は、押さないでください。故障や破損の原因となります。

●液晶ディスプレイ部分は、絶対に触れないでください。故障や破損の原因となります。

●パソコン本体にSDメモリーカードやメモリースティックなどをセットしている場合は、必ずSDメモリーカードやメモリースティックなどを取り外してください。

なお、使用できるメディアは、お使いの機種により異なります。

液晶ディスプレイの取り扱い上の注意

●液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。また、ひっかいたり、先のとがったもので押さないでください。

●液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。

雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。

また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、テレビのアンテナ線、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがあります。なお、どのような避雷器をお使いになっても保護できない雷はあり、それは直撃雷と誘導雷のどちらでも可能性がありますので、ご了承ください。

場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。

- 直射日光が当たらない場所や、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしない場所に設置し、画面の向きや角度を調整しましょう。
- 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- 目と画面との距離を取り、疲れない位置を保って利用しましょう。
- 1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間を取りましょう。また、休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回取り入れましょう。

インターネットを安心してお使いいただくために

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中の人とメールのやりとりをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報などを掲載した好ましくないサイトも存在しています。
特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- ●アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- ●他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- ●出会い系サイト・犯罪を助長するようなサイト
- ●暴力残虐画像を集めたサイト
- ●毒物や麻薬情報を載せたサイト

サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。
有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術で、100％万全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。

「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の２つの方法があります。
「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。

- ●パソコンにフィルタリングの機能を持つソフトウェアをインストールする。
- ●インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用する。

これらのソフトウェアのインストール方法やご利用方法については、それぞれのソフトウェアのマニュアルまたはヘルプをご確認ください。
なお、ソフトウェアやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Web フィルタ」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認の上、ご利用されることをお勧めします。
このパソコンには、「i- フィルター® 5.0」が用意されています。
ご利用期間 90 日間の体験版となっていますので、ぜひお試しください。初めてお使いになるときは、次の手順で初期設定を行ってください。

1. デスクトップにある「i- フィルター 5.0 のセットアップ」をクリックします。
2. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
   これ以降は、画面の表示に従って操作してください。

次回使うときは、画面右下の通知領域に表示されたアイコンから、設定を行うことができます。

利用開始から 90 日間を超えてご利用になる場合は、継続利用の登録（有償）を行うか、市販のフィルタリングソフトウェアをご購入の上、ご利用ください。

［参考情報］

●社団法人電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」
●デジタルアーツ株式会社（i- フィルター® 5.0 提供会社）
「フィルタリングとは - 家庭向けケーススタディー」

10 仕様一覧

パソコン本体の仕様

品名		FH/R3
基本 OS[注1]		Windows® 7 Home Premium 32 ビット版 正規版
CPU		インテル® Celeron® プロセッサー T3300
	動作周波数	2.00GHz
	2 次キャッシュメモリ	1MB（CPU 内蔵）
	3 次キャッシュメモリ	−
システムバス		800MHz
チップセット		モバイル インテル® GM45 Express チップセット
メインメモリ（標準／最大）[注2]		標準4GB（2GB×2）／ 最大4GB（デュアルチャネル対応DDR3 SDRAM、PC3-6400対応、CL6）[注3]
メモリスロット数（空き）		SO-DIMM スロット× 2（0）
表示機能	グラフィック・アクセラレーター	モバイル　インテル® グラフィックス・メディア・アクセラレーター 4500MHD （チップセットに内蔵）
	ビデオメモリ	最大 1288MB（メインメモリと共用）[注4]
	内蔵ディスプレイ／ 付属ディスプレイ[注5]	タッチパネル式 20 型ワイド液晶（本体に内蔵）[注6]
	表示寸法（幅×高さ）	442 × 249mm
	画素ピッチ	0.276mm
	解像度／最大表示色	最大 1600 × 900 ドット／ フルカラー 1677 万色[注7]
ハードディスクドライブ[注8]		約 500GB（シリアル ATA/300、7200 回転／分）
CD/DVD ドライブ（→ P.123）		スーパーマルチドライブ（DVD ± R DL（2 層）書き込み対応）
オーディオ機能		チップセット内蔵 +High Definition Audio コーデック （最大 192kHz ／ 24 ビット[注9]、ステレオ PCM 同時録音再生機能、 MIDI 再生機能［OS 標準］）
スピーカー／マイク		ステレオスピーカー、デジタルマイク（モノラル）（本体内蔵）[注10]
カメラ		内蔵（有効画素数 約 130 万画素）
3D メガネ		−
入力装置	キーボード	ワンタッチボタン付コンパクトキーボード （105 キー、PS/2 インターフェース）
	ポインティングデバイス[注11]	USB マウス（光学式） （1000CPI、USB インターフェース）
	リモコン	−
通信機能	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠、Wakeup on LAN 機能対応
	無線 LAN[注12]	IEEE 802.11n 準拠[注16]、IEEE 802.11b 準拠[注13]、IEEE 802.11g 準拠[注14] （Wi-Fi® 準拠[注15]）
テレビ機能		−

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」（→ P.121）をご覧ください。

品名		FH/R3
インターフェース	ダイレクト・メモリースロット注 17	SD メモリーカード（SDHC、SDXC メモリーカード含む）／ メモリースティック（メモリースティック PRO 含む）対応
	USB 注 18	USB2.0 準拠× 5（左側面× 2、右側面× 1、背面× 2）注 19
	映像出力	–
	映像入力	–
	キーボード（PS/2）	PS/2 準拠ミニ DIN6 ピン× 1
	LAN	RJ-45 × 1
	テレビアンテナ入力／ B-CAS カードスロット	–
	オーディオ注 20	マイク・ラインイン兼用端子、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子
拡張スロット数（空き）：サイズ		–
電源供給方式		AC アダプタ：入力 AC100 ～ 240V 注 21、出力 DC19V（5.27A）
消費電力 注 22	通常消費電力注 23 ／最大消費電力	約 54W ／ 99W
	待機時消費電力（スリープ時）／ 電源 OFF 時	約 1.6W ／ 0.8W 以下
省エネ法に基づくエネルギー消費効率		富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）にある、 製品情報の仕様をご覧ください。
外形寸法（幅×奥行×高さ） （突起部含まず）		約 497 ×約 198 ×約 391mm
本体質量		約 10.9kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり
温湿度条件		温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、 温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 90%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時ともに結露しないこと）
サポート OS 注 24		Windows® 7 Home Premium 32 ビット版 正規版、 Windows® 7 Professional 32 ビット版 正規版、 Windows® 7 Ultimate 32 ビット版 正規版

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」（→ P.121）をご覧ください。

仕様一覧の注記について

注１　日本語版です。
注２　パリティチェック機能はありません。
注３　・ご購入時の設定では、合計で 2GB を超えるメモリを搭載した場合、完全メモリダンプを使用できません。
　　　・最大メモリ容量は 4GB です。ただし、OS 画面上の表示にかかわらず、実際に使用可能な領域は約 3GB になります。なお、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。
注４　・Intel® Dynamic Video Memory Technology（Intel® DVMT）を使用しており、パソコンの動作状況によりビデオメモリ容量が最大設定まで自動的に変化します。
　　　・ビデオメモリの容量を任意に変更することはできません。
　　　・ディスプレイドライバーの更新により、ビデオメモリ容量の最大値が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。
　　　・ビデオメモリの最大値は、メインメモリの搭載状況により異なります。
注５　・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
　　　・このパソコンで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
　　　・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが、故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
　　　・表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがありますが、故障ではありません。
注６　・このパソコンのタッチパネルは、光学式タッチパネルを使用しています。正しく使うためには、先端部が約 5mm 以上のものでタッチしてください。
　　　・タッチパネルの表面にはガラスを使用しています。取り扱いには注意してください。
注７　グラフィック・アクセラレーターの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって擬似的に表示されます。
注８　・「NTFS」を採用しています。また、Windows RE 領域とリカバリ領域に約 16GB 使用しています。残りの容量を C ドライブ、D ドライブにそれぞれ約 50% ずつ割り当てています。そのため、「コンピューター」のハードディスクの総容量は、マニュアルの記載よりも約 16GB 少なく表示されます。なお、ハードディスクの区画の数や種別を変更したり、外付けドライブを接続した状態では、「トラブル解決ナビ」が正常に動作しなくなります。ご了承ください。
　　　・このマニュアルに記載のディスク容量は、1MB=1000^2byte、1GB=1000^3byte 換算によるものです。
　　　Windows 上で 1MB=1024^2byte、1GB=1024^3byte 換算で表示される容量は、このマニュアルに記載のディスク容量より少なくなります。
注９　再生時。録音時は最大 96kHz ／ 16 ビットです。なお、使用できるサンプリングレートは、ソフトウェアによって異なります。
注 10　デジタルマイクの音声は、スピーカーおよびヘッドホン・ラインアウト兼用端子から直接出力できません。
注 11　操作面の状態によっては正しく動作しない場合があります。また、スクロール機能は使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できない場合があります。
注 12　・無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造や材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、または電波状況等の使用環境により、通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合があります。
　　　・無線 LAN の仕様については、次のマニュアルをご覧ください。
　　　Web『補足情報』
注 13　・IEEE 802.11b の通信速度は最大 11Mbps（IEEE 802.11b 規格による速度（理論値）であり実際の速度とは異なります。）、使用する周波数帯域は 2.4GHz 帯、推奨通信距離は屋内 25m 以内です。
　　　また、異なる規格の通信を同時に行うことはできません。使用可能なチャンネルは、1 〜 13ch です。
　　　・内蔵アンテナは、ダイバーシティ方式となります。
注 14　・IEEE 802.11g の通信速度は最大 54Mbps（IEEE 802.11g 規格による速度（理論値）であり実際の速度とは異なります。）、使用する周波数帯域は 2.4GHz 帯、推奨通信距離は屋内 25m 以内です。
　　　また、異なる規格の通信を同時に行うことはできません。使用可能なチャンネルは、1 〜 13ch です。
　　　・内蔵アンテナは、ダイバーシティ方式となります。

注 15 Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。

注 16 ・このパソコンの IEEE 802.11n の通信速度は最大で規格値 150Mbps（表示の数値は、本製品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。）、使用する周波数帯域は 2.4GHz 帯、推奨通信距離は屋内 50m 以内です。また、異なる規格の通信を同時に行うことはできません。

・IEEE 802.11n 準拠で通信を行うためには、セキュリティを WPA-PSK/WPA2-PSK/WPA/WPA2（AES）に設定する必要があります。

・内蔵アンテナは、ダイバーシティ方式となります。

注 17 ・SD メモリーカード（SDHC、SDXC カードを含む）、メモリースティック（メモリースティック PRO を含む）の同時使用はできません。

・miniSD カード、microSD カード、microSDHC カード、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo、メモリースティック PRO-HG Duo、メモリースティックマイクロの場合、別途、専用のアダプターが必要となります。

・すべてのSDメモリーカード（SDHC、SDXCカードを含む）、メモリースティック（メモリースティックPROを含む）の動作を保証するものではありません。SDIOカード、マルチメディアカード（MMC）、およびセキュアマルチメディアカードには対応しておりません。なお、ご使用可能なSDメモリーカードは最大2GB、SDHCカードは最大32GB、SDXCカードは最大64GBまでとなります。

・SD メモリーカード（SDHC カード含む）は著作権保護機能（CPRM）が使用されているデータの読み書きに対応していません。

・メモリースティック（メモリースティック PRO を含む）は著作権保護機能が使用されているデータの読み書きはできません。

・メモリースティック／メモリースティック PRO の４ビットパラレルデータ転送に対応しております。

・メモリースティック PRO-HG Duo をご使用になる場合、４ビットパラレルでの転送になります。

注 18 USB1.1 対応の周辺機器も利用できます。USB2.0 で動作するには、対応の周辺機器が必要です。
また、すべての USB 対応機器の動作を保証するものではありません。

注 19 うち 1 ポートを USB マウスにより占有します。

注 20 ・ご購入時の設定では、マイク・ラインイン兼用端子はマイク端子に設定されています。

・OS 上で設定を変更することにより、ラインイン端子として使用することもできます。なお、仕様は次のとおりとなります。
φ3.5mm ステレオ・ミニジャック
マイク端子として使用する場合の入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1kΩ 以上（DC）2kΩ 以上
ラインイン端子として使用する場合の入力：1V 以下、入力インピーダンス 10kΩ 以上

・ご購入時の設定では、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子はヘッドホン端子に設定されています。

・OS 上で設定を変更することにより、ラインアウト端子として使用することもできます。なお、仕様は次のとおりとなります。
φ3.5mm ステレオ・ミニジャック
ヘッドホン端子として使用する場合の出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω
ラインアウト端子として使用する場合の出力：1V 以上、負荷インピーダンス 10kΩ 以上

注 21 ・標準添付されている電源コードは、AC100V（国内専用品）用です。また、矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源等）に接続すると、故障する場合があります。

・入力波形は正弦波のみサポート。

注 22 ・周辺機器を接続していない状態の測定値です。

・電源 OFF 時の消費電力を回避するには、パソコンの電源プラグをコンセントから抜いてください。

注 23 周辺機器の接続無しで、OS を起動させた状態の測定値です。

注 24 ・日本語版です。

・富士通は本製品で「サポート OS」を動作させるために必要な BIOS およびドライバーを提供しますが、すべての機能を保証するものではありません。

その他の仕様

CD/DVD ドライブ

・各数値は仕様上の最大限であり、使用メディアや動作環境によって異なる場合があります。
・DVD ソフトによっては再生できない場合があります。
・ディスクによってはご利用になれない場合もあります。
・書き込み、書き換え速度は、ドライブの性能値です。書き込み、書き換え速度に対応したディスクが必要になりますが、対応ディスクが販売されていない場合があります。
・読み出し、書き込み速度は、ディスクや動作環境によって異なる場合があります。
・DVD-R は、DVD-R for General Ver.2.0/2.1 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
・DVD-RAM はカートリッジから取り出した状態あるいはカートリッジなしでご使用ください。
・Ultra Speed CD-RW ディスクはご使用になれません。
・8cm の CD または 12cm の CD/DVD がお使いになれます。

ドライブ		スーパーマルチドライブ（DVD ± R DL（2 層）書き込み対応）
読み出し	CD-ROM	最大 24 倍速
	CD-R	最大 24 倍速
	CD-RW	最大 24 倍速
	DVD-ROM	最大 8 倍速
	DVD-R	最大 8 倍速
	DVD+R	最大 8 倍速
	DVD-RW	最大 8 倍速
	DVD+RW	最大 8 倍速
	DVD-RAM	最大 5 倍速
	DVD-RAM2	−
	DVD-R DL（2 層）	最大 6 倍速
	DVD+R DL（2 層）	最大 6 倍速
書き込み／書き換え	CD-R	最大 24 倍速
	CD-RW	最大 10 倍速
	DVD-R	最大 8 倍速
	DVD+R	最大 8 倍速
	DVD-RW	最大 6 倍速
	DVD+RW	最大 8 倍速
	DVD-RAM	最大 5 倍速
	DVD-RAM2	−
	DVD-R DL（2 層）	最大 4 倍速
	DVD+R DL（2 層）	最大 4 倍速

スピーカー

方式	バスレフ型
スピーカーユニット	（口径：20（mm）× 2 個）× 2　インピーダンス 4Ω
定格入力	2W/ch
出力音圧レベル	76 ± 3dB/W（1m）
再生周波数	290Hz ～ 18kHz

LAN 機能

次の表は、有線 LAN の仕様です。無線 LAN の仕様については、次のマニュアルをご覧ください。

Web『補足情報』

LAN コントローラ	Broadcom BCM57780
送受信バッファー用 RAM	送信 8kbyte、受信 16kbyte
外部インターフェース	ISO8802-3 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
伝送媒体	ツイストペアケーブル注 1（1000Mbps：カテゴリ 5E 以上、100Mbps：カテゴリ 5 以上、10Mbps：カテゴリ 3 以上）
伝送方式	ベースバンド
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度	1000Mbps、100Mbps、10Mbps
配線形態	スター型
セグメント最大長	100m
最大ノード数／セグメント	ハブユニット注 2 による

注 1：・1000Mbps は 1000BASE-T の理論上の最高速度であり、実際の通信速度はお使いの機器やネットワーク環境により変化します。

・1000Mbps の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したハブが必要となります。また、LAN ケーブルには、1000BASE-T に対応したエンハンスドカテゴリ 5（カテゴリ 5E）以上の LAN ケーブルを使用してください。お使いのケーブルによっては、正しく動作しない場合があります。その場合はケーブルメーカーにお問い合わせください。

注 2 ：ハブユニットとは、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T のコンセントレータです。

Point

- ネットワークのスピードについて
  LAN はネットワークのスピードに自動で対応します。ハブユニットの変更などでネットワークのスピードが変更される場合、スピードに対応した適切なデータグレードのケーブルを必ずお使いください。

キーボード

キー配列	105 キー（テンキー付）+ ワンタッチボタン（4 個）+ 音量調節ボタン（2 個）
インターフェース	PS/2 インターフェース
ケーブル長	約 1.8m
外形寸法（W × D × H）	約 396mm × 約 170mm × 約 38mm（チルト未使用時）
質量	約 860g（ケーブル含む）

マウス

セレクトスイッチ動作形式	2 押ボタン、1 ホイール
インターフェース	USB1.1
ケーブル長	約 1.0m
外形寸法（W × D × H）	約 62.3mm × 約 40.35mm × 約 118.8mm
質量	約 80g

らくらくパソコン利用規約

第１条（適用範囲）

1. 本利用規約は、富士通株式会社（以下「富士通」といいます）が提供する第４条に定める「FMV らくらくパソコン」に付随する各サービス（以下「本サービス」といいます）を、次条に定める利用者が利用する場合に適用されるものとします。
2. 本利用規約は、AzbyClub会員規約の内容に優先して適用されるものとし、本利用規約に定めのない事項については、AzbyClub会員規約の内容が有効に適用されるものとします。

第２条（利用者）

本サービス利用者は、本利用規約末尾記載の本サービスの対象製品（以下「サービス対象製品」といいます）を購入され、本サービスの利用者登録をした本サービスを利用される方（以下「利用者」といいます）を対象とします。ただし、本サービスの利用者登録にあたっては、AzbyClub 会員登録をしていることが前提となります。なお、以下のそれぞれの規約に同意いただけない場合、専用サービスの一部もしくは全部が提供できない場合があるものとします。

（1） AzbyClub 会員規約
（2） FMV らくらくパソコン利用規約

第３条（利用開始日）

本サービスの利用開始日は、サービス対象製品本体に初めて電源が入れられた日（以下「利用開始日」といいます）となります。

第４条（本サービスの内容）

1. 富士通は、利用者に対し、日本国内において日本語にて以下のサービスを提供します。
（1） らくらくパソコン専用電話相談窓口（以下「専用電話相談窓口」といいます）による電話サポート（以下「専用電話サポート」といいます）
（2） らくらくパソコン専用ホームページ（以下「専用ホームページ」といいます）におけるサービス
2. 富士通は、本サービスに係る業務の一部または全部を第三者に委託できるものとします。

第５条（利用料金）

1. 専用電話サポートの利用料金（以下「電話サポート料」といいます）については、本利用規約末尾記載のとおりとします。また、利用者が専用ホームページを利用する際にかかる通信費等は、別途利用者が負担するものとします。
2. 前項において専用電話サポート料が有料となる場合、その支払方法は、原則としてクレジットカード（MASTER/VISA/JCB）での支払いとします。ただし、例外として富士通が認めた場合、別途富士通が指定するコンビニエンスストアでの支払いも可能とします。なお、支払方法は一括払いとします。
3. 前項におけるクレジットカードでの支払いの場合、電話サポート料は当該クレジット会社の会員規約において定められている振替日に利用者指定の銀行から引き落とされるものとします。また、コンビニエンスストアでの支払いが認められた場合は、利用者は、電話サポート料を別途富士通が定める期日までに支払うものとします。なお、当該支払に要する手数料は、利用者の負担とします。

第６条（専用電話相談窓口によるサポート）

1. 富士通は、利用者に対し、以下の各号に該当する専用電話サポートを提供します。
（1） サービス対象製品の仕様、利用方法、動作環境に関する質問･相談への対応。
（2） サービス対象製品の導入支援。
（3） サービス対象製品が正常に動作しない場合の問題解決のための支援。
（4） サービス対象製品の活用に関するご相談への対応。
（5） 専用ホームページに関する質問･相談への対応。
2. 専用電話サポートにおける利用者からの問い合わせの受付時間については、本利用規約末尾記載のとおりとします。
3. 以下の作業は、専用電話サポートの対象とならない場合があることを、利用者は予め了承するものとします。
（1） サービス対象製品以外の周辺機器等のハードウェアおよびソフトウェアに対するサポート作業
（2） サービス対象製品にインストールされているソフトウェアについて、利用者が別途バージョンアップ版やアップグレード版等を購入し、バージョンアップやアップグレードを行ったソフトウェアのサポート作業
（3） 電話によるサポートが、不可能または不適切と富士通が判断した場合におけるサポート作業
（4） マニュアルに記載されていないような、通常想定できない使用方法に対するサポート作業
（5） 質問に対する作業が、連続的かつ長時間にわたる作業
（6） その他富士通がサポート対象にならないと判断した作業
4. 利用者は、本サービスにおける専用電話サポートの他にAzbyテクニカルセンターによるサポートを受けることができます。ただし、Azby テクニカルセンターをご利用の場合、お問い合わせ１件目より有料となります。Azbyテクニカルセンターの受付方法、受付時間、利用料金については、AzbyClub 会員規約末尾記載のとおりとします。
5. 専用電話サポートは、利用者のパソコンに生じているトラブルの解決をお約束するものではありません。

第７条（リモートサポート）

1. 前条における専用電話サポートの一環として、富士通は、必要に応じて、サポート担当がインターネットを介して利用者のパソコン画面を参照しながら、電話にて操作案内をするリモートサポート（以下「リモートサポート」といいます）を実施する場合があるものとします。
2. リモートサポートのご利用にあたっては、その都度、サポートの対象となる利用者のパソコンにリモートサービス専用のソフトウェア（以下「専用ソフトウェア」）をダウンロードしていただく必要があります。
3. 専用ソフトウェアは、利用者がサービス対象製品に関するリモートサポート提供を受ける場合のみご利用いただけます。利用者は、専用ソフトウェアにつき、複製、改変、逆アセンブル･逆コンパイルを伴うリバースエンジニアリング、再配布等できないものとします。
4. リモートサポートの実施により、サポート担当者が参照した利用者のパソコン内の情報に関しましては、当該利用者へのサポート以外の目的で利用することはありません。
5. リモートサービスは、利用者のパソコンに生じているトラブルの解決をお約束するものではありません。また、お問い合わせ内容およびご使用環境等によっては、リモートサポートをご利用いただけない場合があります。
6. システムメンテナンスなどにより、リモートサポートをご利用いただけない場合があります。

7.　リモートサポートをご利用いただくために必要となる通信費等は、利用者の負担となります。

第８条（専用ホームページにおけるサービス）

1.　富士通は、利用者に対し、インターネット上に開設した専用ホームページを通じてサービス対象製品に関する最新情報および Q&A 情報を提供します。

2.　前項におけるサービスの他、富士通は、専用スキルアップメニューによる学習サービスなど、別途富士通が定めるサービスを利用者に対して実施します。サービスの詳細内容、および必要な場合はその利用規約等については、別途富士通から通知するものとします。

第９条（利用者の遵守事項）

1.　利用者は、富士通が本サービスを提供するにあたり必要と判断したデータおよび情報等を、富士通に提供するものとします。

2.　利用者は、富士通が依頼する問題解決に必要と判断した予防または修正のための作業をすみやかに実施するものとします。

3.　利用者は、本利用規約に基づき本サービスを受ける権利につき、第三者に譲渡、再許諾等できないものとします。また、本サービスにより富士通が利用者に提供した情報その他著作物は、その利用者のみ利用することができるものであり、利用者は富士通の書面による事前の承諾なくして、当該情報その他著作物を第三者に利用させないものとします。

4.　利用者は、氏名、住所等、富士通への届出内容に変更があった場合は、すみやかにその旨富士通へ届け出るものとします。利用者が当該届出を怠った場合、富士通は当該利用者に対して本サービスを提供しないことがあります。

5.　利用者は、サービス対象製品に関する所有権、使用権等を保有する等、サービス対象製品を適法に利用していることを富士通に対し保証するものとします。万が一適法に利用していないことが判明した場合には、富士通は当該利用者に対して本サービスを提供しないことができるものとします。

6.　本サービスの実施にあたりサービス対象製品の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容（以下総称して「データ等」といいます）につきましては、富士通では一切保証いたしません。利用者は、本サービスの提供を受ける前に、利用者の責任においてバックアップをとっていただくものとします。（日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。）

第 10 条（個人情報の取扱い）

1.　富士通は、本サービスの利用にあたり利用者が富士通に提供した情報のうち、当該利用者個人を識別できる情報（以下「利用者の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

（1）　本サービスを提供すること。

（2）　本サービスの向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。

（3）　本サービスの向上を目的として、利用者における電子メールの開封状況、富士通のWebページの閲覧状況、その他利用者における本サービスの利用に関する情報を収集、分析すること。

（4）　利用者に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等により利用者へ提供すること。

（5）　利用者の個人情報の取扱いにつき、個別に利用者の同意を得るために、当該利用者に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに当該同意を得た利用目的に利用すること。

2.　富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、利用者の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。

3.　富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、利用者の個人情報につき、本条に定める以外の利用目的で取り扱い、または本条に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 11 条（本サービスの打ち切り）

富士通は、利用者への事前の通知により、本サービスの提供の全部または一部を打ち切る場合があることを利用者は了承するものとします。

第 12 条（責任の限定）

1.　富士通は、利用者が本サービスを利用することにより得た情報等について何らの保証をするものではありません。

2.　本サービスのうち有料サービスの利用または利用不能により利用者が損害を被った場合には、当該損害の直接の原因となった有料サービスの利用料金相当額を限度として富士通は賠償責任を負うものとします。ただし、本サービスのうち無料サービスの利用または利用不能により利用者が損害を被った場合には、富士通は賠償責任を負わないものとします。

3.　いかなる場合においても富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益ならびに第三者からの損害賠償請求に基づく損害については、責任を負わないものとします。

4.　本サービスの利用または利用不能により利用者が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、第 2 項および前項の規定は適用されないものとします。

第 13 条（利用者資格の取消等）

1.　利用者が、AzbyClub会員資格を喪失した場合は、本サービスの利用資格も同時に喪失するものとします。

2.　利用者が次のいずれかに該当する場合、富士通は利用者の本サービスを受ける資格を取り消すことがあります。

（1）　利用者登録時に虚偽の事項が記載されていたことが判明した場合

（2）　本サービスのうち有料サービスを利用した際に、利用料金の支払を遅滞もしくは拒否した場合

（3）　本利用規約に違反した場合

（4）　本サービスの運営を妨げる行為を行った場合

（5）　他者になりすまして本サービスを利用した場合

（6）　他者を誹謗中傷したり公序良俗に反する行為をした場合

（7）　富士通が事前に承認した場合を除き、本サービスを使用して、営業活動、営利を目的とした利用およびその準備を目的とした利用を行った場合

（8）　その他富士通が不適切と判断した行為を行った場合

3.　前項のいずれかの行為を利用者が行ったことにより、富士通が損害を被った場合、富士通は利用者に対し当該損害の賠償を請求することがあります。

第 14 条（本サービスの中断）

富士通は、天災地変、労働争議等の不可抗力により本サービスの提供ができない場合、本サービス提供用の設備の保守上または工事上やむをえない場合、その他富士通がその運用上または技術上、本サービスの一時的な中断を必要とした場合には、本サービスの提供を中断することがあることを、利用者は了承するものとします。

第 15 条（変更）

富士通は、以下の事項を変更する必要が生じた場合は、利用者に対する通知をもって変更できるものとします。

（1）　本利用規約ならびに利用規約等の内容

（2）　本サービスの利用料金

（3）　サービス対象製品

（4）　本サービスの内容

第 16 条（通知）
本サービスならびに本利用規約における富士通から利用者への通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

付　則
本利用規約は、2010 年 7 月 27 日から効力を発するものとします。

■サービス対象製品（※ 1）
・FMV-BIBLO NF/BR
・FMV-BIBLO NF/ER
・FMV-DESKPOWER F/ER
・ESPRIMO FH/R3
・LIFEBOOK AH/R3
※ 1 ソフトウェアについては、上記製品に予めインストールされているものの内、富士通がサポートするもののみが対象となります。その他のソフトウェアのサポート窓口については、製品添付のマニュアルをご確認ください。

■専用電話サポートの受付時間ならびに利用料金
1.　受付時間 :9 時～ 17 時 365 日（※システムメンテナンス日を除く）
　注：専用電話サポートは、受付時間内であっても、時間帯により電話がつながりにくい場合がございます。あらかじめご了承ください。
2.　利用料金
　次の料金表のとおりとします。

期間	電話サポート料
利用開始日から 1 年間 （以下、「無料期間」）	無料
利用開始日より 2 年目以降	3,000 円 / 件（税込）

注 ・利用開始日から 1 年間の無料期間は、専用ホームページからご確認いただけます。
・専用電話サポートの中断（本利用規約第 14 条）が生じた場合でも、無料期間は延長されません。
・お問い合わせ件数につきましては、電話された回数とは関係なく、利用者からお問い合わせいただいた技術相談 1 項目に対し、富士通が回答したことをもって 1 件とします。なお、富士通は、当該回答後 14 日以内に限り、当該回答の内容に関する利用者からのお問い合わせを受け付けます。この場合、件数は加算されません。1 件のお問い合わせの中に複数の技術相談項目が含まれていた場合は、複数件として扱います。
・サービス対象製品を複数台所有しておられる場合、1 台でも無料期間内であれば、他のサービス対象製品についても無料で専用電話サポートをご利用いただけます。

AzbyClub 会員規約

第 1 条（適用範囲）
1. 本会員規約は、富士通株式会社（以下「富士通」といいます）が提供する「AzbyClub」（アズビィクラブ）の各サービス（以下「本サービス」といいます）を、次条に定める会員（以下「会員」といいます）が利用する場合に適用されます。
2. 本会員規約とは別に、富士通が本サービス毎に利用規約または利用条件（以下あわせて「利用規約等」といいます）を定めた場合には、会員は、当該利用規約等に従って本サービスを利用するものとします。なお、本会員規約と利用規約等の定めが異なる場合は、当該利用規約等の定めが優先して適用されるものとします。

第 2 条（会員）
1. 会員とは、本会員規約末尾記載の本サービスの対象製品（以下「サービス対象製品」といいます）を購入し、富士通に対しユーザー登録をしていただいた方で、これに対し富士通が本サービスの利用に必要なユーザー登録番号およびパスワードを発行した方をいいます。
2. ユーザー登録の登録料ならびに AzbyClub の入会金および年会費は無料です。ただし、ユーザー登録の際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。

第 3 条（本サービス）
1. 富士通は、会員に対し、日本国内において日本語にて以下のサービスを提供します。
　(1) 会員専用ホームページにおけるサービス
　　(a) サービス対象製品に関する最新情報および Q&A 情報の提供
　　(b) ソフトウェアのダウンロードサービス
　　(c) その他の富士通が別途定めるサービス
　(2) サービス対象製品に関する、Azby テクニカルセンターによるサポート
　　(a) 電話サポート
　　(b) E メールサポート
　(3) AzbyClub ポイントサービス
2. 富士通は、本サービスに係る業務の一部または全部を第三者に委託できるものとします。

第 4 条（会員専用ホームページにおけるサービス）
1. 富士通は、会員に対し、インターネット上に開設した会員専用ホームページを通じてサービス対象製品に関する最新情報および Q&A 情報を提供します。
2. 前項におけるサービスの他、富士通は、ソフトウェアのダウンロードサービスなど別途富士通が定めるサービスを会員に対して実施します。なお、当該サービスの詳細内容、および必要な場合はその利用規約等については、別途富士通から通知するものとします。
3. 当該サービスには有料サービスと無料サービスがあり、有料サービスの利用料金については、会員専用ホームページに掲載するとおりとします。なお、会員が当該サービスを利用する際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。

第 5 条（Azby テクニカルセンターによるサポート）
1. 富士通は、会員に対し、電話または E メールにて、以下のサポート（以下「技術サポート」といいます）を提供します。
　(1) サービス対象製品の仕様、利用方法、動作環境に関する質問・相談への対応。
　(2) サービス対象製品の導入支援。
　(3) サービス対象製品が正常に動作しない場合の問題解決のための支援。

2. 技術サポートにおける会員からの問い合わせの受付方法および受付時間については、本会員規約末尾記載のとおりとします。
3. 会員は、技術サポートを利用する場合、サービス対象製品の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容等については、事前に会員の責任においてバックアップをとるものとします。
4. 以下の作業は、技術サポートの対象とならない場合があることを、会員は予め了承するものとします。
   (1) サービス対象製品以外のハードウェアおよびソフトウェアに対するサポート作業
   (2) サービス対象製品にインストールされているソフトウェアについて、会員が別途バージョンアップ版やアップグレード版等を購入し、バージョンアップやアップグレードを行ったソウトウェアのサポート作業
   (3) 質問に対する作業が、連続的かつ長時間にわたる作業
   (4) 電話または E メールによるサポートが、不可能または不適切と富士通が判断した場合におけるサポート作業
   (5) マニュアルに記載されていないような、通常想定できない使用方法に対するサポート作業
   (6) ハードウェアの故障・修理に関するお問い合わせ
   (7) その他富士通がサポート対象にならないと判断した作業
5. 技術サポートの利用料金（以下「技術サポート料」といいます）については、本会員規約末尾記載のとおりとします。なお、会員が会員専用ホームページおよび E メールにより技術サポートを利用する際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。
6. 前項において技術サポート料が有料となる場合、その支払方法は、原則としてクレジットカード（MASTER/VISA/JCB）での支払いとします。ただし、例外として富士通が認めた場合、別途富士通が指定するコンビニエンスストアでの支払いも可能とします。なお、支払方法は一括払いとします。
7. 前項におけるクレジットカードでの支払いの場合、技術サポート料は当該クレジット会社の会員規約において定められている振替日に会員指定の銀行から引き落とされるものとします。また、コンビニエンスストアでの支払いが認められた場合は、会員は、技術サポート料を別途富士通が定める期日までに支払うものとします。なお、当該支払に要する手数料は、会員の負担とします。

第 6 条（AzbyClub ポイントサービス）

1. 富士通は、以下に定める会員に対し、AzbyClub ポイントサービス（以下「ポイントサービス」といいます）を提供します。
   (a) ポイントサービス開始後、富士通が提供するショッピングサイト WEB MART（以下「WEB MART」といいます）で商品を購入した会員
   (b) AzbyClub カードを所有している会員
   (c) その他、富士通が別途通知した会員
2. 会員は、発行された AzbyClub ポイント（以下「ポイント」といいます）を蓄積、消費することにより、WEB MART での商品購入時における割引の適用、AzbyClub で実施する懸賞への応募、景品との交換その他のサービスを利用できます。なお、各サービスの具体的な内容およびポイント消費数等の詳細については、別途定めるものとします。
3. ポイントには、AzbyClub や WEB MART 等での商品購入に伴い発行されるポイント（以下「ショッピングポイント」といいます）と、富士通が提供する各種サービスの利用に伴い発行されるポイント（以下「キャンペーンポイント」といいます）の 2 種類があります。なお、ポイント発行数については、別途各サービス毎に定めるものとします。
4. キャンペーンポイントは、別途定める上限数を超えて蓄積することはできません。
5. ショッピングポイントは、会員が購入した商品が出荷された時点で発行されます。なお、WEB MART において富士通が定める「販売条件」（以下「販売条件」といいます）に基づき会員が当該商品を返品した場合は、当該ポイントは無効となります。
6. 会員がWEB MARTでの商品購入時に割引の適用を目的としてポイントを消費する場合、当該ポイントの消費は、商品の代金決済が完了した時点で確定するものとします。なお、販売条件に基づき会員が商品を返品した場合は、当該ポイントの消費は無かったものとして扱われます。
7. ポイントの有効期間は、発行から 1 年目の日の属する月の末日までとします。ただし、当該有効期間内にポイントの発行または消費があった場合、会員が保有するすべてのポイントの有効期間は、当該発行または消費のあった日から 1 年目の日の属する月の末日まで、自動的に延長されるものとします。
8. 会員は、ポイントの第三者への譲渡、売買、現金との交換等は一切できないものとします。
9. ポイントの発行および消費は、本会員規約の第 2 条第 1 項に定めるユーザー登録番号およびパスワードにより管理されるものとし、ポイントサービスの利用時に会員がこれらを入力しなかったことにより、ポイントの発行が受けられない、もしくはポイントを消費できずに商品購入時の割引が受けられない等の不利益を被ったとしても、富士通は一切責任を負わないものとします。
10. 会員が、本会員規約の第 11 条（退会）または第 12 条（会員資格の取消等）に基づき、AzbyClub を退会し、または会員資格を取り消された場合、ユーザー登録が抹消された時点で当該会員の保有するすべてのポイントは無効となります。
11. 富士通は、事前に会員に通知することにより、ポイントサービスを終了することがあります。この場合、会員の保有するポイントは、第 7 項にかかわらず、当該ポイントサービスの終了日をもってすべて無効となります。

第 7 条（会員の遵守事項）

1. 会員は、富士通が本サービスを提供するにあたり必要と判断したデータおよび情報等を、富士通に提供するものとします。
2. 会員は、富士通が依頼する問題解決に必要と判断した予防または修正のための作業をすみやかに実施するものとします。
3. 会員は、本会員規約に基づき本サービスを受ける権利につき、第三者に譲渡、再許諾等できないものとします。また、本サービスにより富士通が会員に提供した情報その他著作物は、その会員のみ利用することができるものであり、会員は富士通の書面による事前の承諾なくして、当該情報その他著作物を第三者に利用させないものとします。
4. 会員は、氏名、住所等、富士通への届出内容に変更があった場合は、すみやかにその旨富士通へ届け出るものとします。会員が当該届出を怠った場合、富士通は当該会員に対して本サービスを提供しないことがあります。
5. 会員は、サービス対象製品に関する所有権、使用権等を保有する等、サービス対象製品を適法に利用していることを富士通に対し保証するものとします。万が一適法に利用していないことが判明した場合には、富士通は当該会員に対して本サービスを提供しないことができるものとします。
6. 会員は、富士通より通知されたユーザー登録番号、パスワードを自己の責任をもって管理するものとし、それらが不正使用された場合であっても、富士通は一切責任を負わないものとします。

第 8 条（個人情報の取扱い）

1. 富士通は、本サービスの利用にあたり会員が富士通に登録した情報のうち、当該会員個人を識別できる情報（以下「会員の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
   (1) 本サービスを提供すること。

(2) 本サービスの向上を目的として、E メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
(3) 本サービスの向上を目的として、会員における E メールの開封状況、富士通の Web ページの閲覧状況、その他会員における本サービスの利用に関する情報を収集、および分析すること。
(4) 会員に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、E メール、郵便、電話等により会員へ提供すること。
(5) 会員の個人情報の取扱いにつき、個別に会員の同意を得るために、当該会員に対し E メール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに当該同意を得た利用目的に利用すること。

2. 富士通は、会員から AzbyClub ユーザー名の利用申込みがあった場合に限り、ニフティ株式会社の提供するサービスを利用するために、会員の個人情報のうち AzbyClub ユーザー名発行に必要な情報（氏名、住所、電話番号など）を契約に基づきニフティ株式会社に提供します。
AzbyClub ユーザー名については、付則に記載します。
3. 富士通は、前各項に定める利用目的のために必要な範囲で、会員の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
4. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、会員の個人情報につき、本条に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 9 条（サービスの打ち切り）

富士通は、会員への事前の通知により、本サービスの提供の全部または一部を打ち切る場合があることを会員は了承するものとします。

第 10 条（責任の限定）

1. 富士通は、会員が本サービスを利用することにより得た情報等について何らの保証をするものではありません。
2. 本サービスのうち有料サービスの利用または利用不能により会員が損害を被った場合には、当該本サービスの利用料金相当額を限度として富士通は賠償責任を負うものとします。ただし、本サービスのうち無料サービスの利用または利用不能により会員が損害を被った場合には、富士通は賠償責任を負わないものとします。
3. いかなる場合においても富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益ならびに第三者からの損害賠償請求に基づく損害については、責任を負わないものとします。
4. 本サービスの利用または利用不能により会員が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、第 2 項および前項の規定は適用されないものとします。

第 11 条（退会）

1. 会員が AzbyClub からの退会を希望する場合は、事前に富士通に届け出るものとします。なお、AzbyClub から退会すると、同時にユーザー登録も抹消されます。

第 12 条（会員資格の取消等）

1. 会員が次のいずれかに該当する場合、富士通はその会員資格を取り消し、同時にユーザー登録の全てを抹消することがあります。
(1) ユーザー登録時に虚偽の事項が記載されていたことが判明した場合
(2) 本サービスのうち有料サービスを利用した際に、利用料金の支払を遅滞もしくは拒否した場合
(3) 本会員規約に違反した場合
(4) 本サービスの運営を妨げる行為を行った場合
(5) 他者になりすまして本サービスを利用した場合
(6) 他者を誹謗中傷したり公序良俗に反する行為をした場合
(7) 富士通が事前に承認した場合を除き、本サービスを使用して、営業活動、営利を目的とした利用およびその準備を目的とした利用を行った場合
(8) その他富士通が不適切と判断した行為を行った場合
2. 前項のいずれかの行為を会員が行ったことにより、富士通が損害を被った場合、富士通は会員に対し当該損害の賠償を請求することがあります。

第 13 条（本サービスの中断）

富士通は、天災地変、労働争議等の不可抗力により本サービスの提供ができない場合、本サービス提供用の設備の保守上または工事上やむをえない場合、その他富士通がその運用上または技術上、本サービスの一時的な中断を必要とした場合には、本サービスの提供を中断することがあることを、会員は了承するものとします。

第 14 条（変更）

富士通は、以下の事項を変更する必要が生じた場合は、会員に対する通知をもって変更できるものとします。
(1) 本会員規約ならびに利用規約等の内容
(2) 本サービスの利用料金
(3) サービス対象製品
(4) 本サービスの内容

第 15 条（通知）

本サービスならびに本会員規約における富士通から会員への通知は、会員専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第 16 条（専属的合意管轄裁判所）

会員と富士通の間で、本サービスにつき訴訟を提起する場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

付則

本会員規約は、2010 年 7 月 27 日から改定実施します。

■サービス対象製品（※ 1）

・ESPRIMO（※ 2）
・LIFEBOOK（※ 2）
・FMV-DESKPOWER（※ 3）
・FMV-TEO
・FMV-BIBLO（※ 3）
・FMV-STYLISTIC（※ 4）
・Pocket LOOX（※ 4）
・INTERTOP（※ 4）
・FMV-TOWNS（※ 4）
・ファミリーネットワークステーション（※ 4）
・FMV ステーション（※ 4）
・メディアタンク（※ 4）
・Refreshed PC（※ 4）
・その他、富士通が別途「サービス対象製品」と定める富士通製品

※ 1：ソフトウェアについては、上記製品に予めインストールされているものの内、富士通がサポートするもののみが対象となります。その他のソフトウェアのサポート窓口については、製品添付のマニュアルをご確認ください。
※ 2：以下の条件を満たす製品が対象です。
（1）日本国内において購入された日本国内向け製品
（2）品名が以下のように表記される製品

品名： ＊ H ＊＊＊ ／ ＊＊
↑アルファベット ↑数字 ↑数字＋アルファベット

または、

品名： ＊ H ／ R ＊
↑アルファベット ↑数字

※３： 以下 OS がプレインストールされた FMV を除きます。
・Windows 3.1
・Windows 95
・Windows 98
・Windows 98 Second Edition(SE)
・Windows Millennium Edition(Me)

※４： 本サービスはESPRIMO/LIFEBOOK、FMV-DESKPOWER/TEO/BIBLO シリーズでの利用を基本とさせていただいております。その他の機器での利用に際しては、会員専用ホームページにおけるサービスの利用が一部制限される場合がありますので、予めご了承ください。

■技術サポートの受付方法、受付時間ならびに利用料

※最新の情報につきましては、会員専用ホームページでご確認ください。

（1）受付方法および受付時間

	受付方法	受付時間
電話による技術サポート	電話での受付	9時～21時365日（システムメンテナンス日を除く）
	会員専用ホームページによる予約受付	24 時間 365 日（システムメンテナンス日を除く）
メールによる技術サポート	会員専用ホームページによるお問い合わせ受付	

注・受付時間は、サービス対象製品および受付方法により異なる場合があります。詳細につきましては、会員専用ホームページでご確認ください。また、受付時間内であっても、時間帯により電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。

（2）利用料

次の料金表のとおりとします。

① 電話による技術サポートの場合：以下のとおりとします。

期間	技術サポート料
無料期間中（無料期間は下表をご参照下さい）	何度でも無料
無料期間終了後	2,000 円／件（税込） ただし、AzbyClub カードでのお支払の場合：1,500 円／件（税込）

<無料期間>

サービス対象製品のモデル [＊ 1]	無料期間
2009 年冬モデル（2009 年 10 月発表）以降のモデル	初めてパソコンに電源をいれた日（以下「保証開始日」といいます）から 1 年間
2009 年夏モデル（2009 年 4・6 月発表）2009 年春モデル（2008 年 12 月発表）	2011 年 3 月 31 日まで [＊ 2]
2008 年秋冬モデル（2008年8・11月発表）以前のモデル	2010 年 5 月 31 日まで [＊ 2]

＊ 1： ご使用になっているパソコンのモデルが分からない方は、以下ホームページをご確認ください。
http://azby.fmworld.net/machineselect/seasoncheck/

＊ 2： 無料期間が「保証開始日から 1 年間」よりも短い場合、無料期間を「保証開始日から 1 年間」まで延長いたします。

② E メールによる技術サポートの場合：無料

注・技術サポートの中断（会員規約第 13 条）が生じた場合でも、無料期間は延長されません。

・お問い合わせ件数につきましては、電話された回数とは関係なく、会員からお問い合わせいただいた技術相談 1 項目に対し、富士通が回答したことをもって 1 件とします。なお、富士通は、当該回答後 14 日以内に限り、当該回答の内容に関する会員からのお問い合わせを受け付けます。この場合、件数は加算されません。1 件のお問い合わせの中に複数の技術相談項目が含まれていた場合は、複数件として扱います。

・サービス対象製品を複数台所有しておられる場合、1 台でも無料期間内であれば、他のサービス対象製品（Refreshed PC、FMV らくらくパック利用規約に定めるサービス対象製品および FMV らくらくパソコン利用規約に定めるサービス対象製品は除く）についても無料で技術サポートをご利用いただけます。

・富士通 WEB MART、購入相談窓口にて、電話サポートにつき「お問い合わせ初回より有料」を選択してご購入いただいた富士通製品の扱いについて
当該富士通製品に関しましては、サービス対象製品であっても、上記の料金表の電話サポートに関する無料期間は適用されず、お問い合わせ 1 件目より有料（通常 2,000 円／件（税込）、AzbyClub カードでのお支払の場合 1,500 円／件（税込））とさせていただきます。

○ Refreshed PC の扱いについて
Refreshed PC に関する電話による技術サポートに関しましては、電話での受付時間は月～金曜日（祝日を除く）の 9:00 ～ 17:00 とします。また、技術サポートの利用料については、上記料金表の定めは適用されず、電話および E メールいずれもお問い合わせ 1 件目より有料（通常 2,000 円／件（税込）、AzbyClub カードでのお支払の場合 1,500 円／件（税込））とさせていただきます。

○ FMV らくらくパックおよびFMVらくらくパソコンの扱いについて
FMV らくらくパックおよび FMV らくらくパソコンに関する技術サポートの利用料については、上記料金表の定めは適用されず、電話および E メールいずれもお問い合わせ 1 件目より有料（通常 2,000 円／件（税込）、AzbyClub カードでのお支払の場合 1,500 円／件（税込））とさせていただきます。

■ AzbyClub ユーザー名について

1. 富士通は、会員が希望する場合、会員に対し、ユーザー登録番号とは別に、AzbyClub ユーザー名およびパスワード（以下あわせて「AzbyClub ユーザー名等」といいます）を無料で発行します。ただし、AzbyClub ユーザー名等の発行にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。なお、AzbyClub ユーザー名等の発行を受けるためには、会員は、ニフティ株式会社が定める @nifty会員規約および個人情報保護ポリシーに同意する必要があります。
2. 会員は、富士通により発行された AzbyClub ユーザー名等を自己の責任をもって管理するものとし、AzbyClub ユーザー名等が不正使用された場合であっても、富士通は一切責任を負わないものとします。
3. 会員は、AzbyClub ユーザー名等を使用して、本サービスのほか、ニフティ株式会社および富士通が指定するその他の第三者（以下「提携先」といいます）の提供するサービス（以下「提携サービ

ス」といいます）を利用することができます。会員は、提携サービスに関して問い合わせがある場合、当該提携サービスの提供元に対して直接問い合わせるものとします。

4. 会員が AzbyClub ユーザー名等を使用して提携サービスを利用する場合、会員は、提携先の定める利用規約等に従うものとします。なお、ニフティ株式会社以外が提供する提携サービスの利用に際しては、当該提携サービス提供元の会員規約および個人情報保護ポリシーへの同意が別途必要になる場合があります。
5. 会員が有償の提携サービスを利用した場合、当該有償提携サービスの利用料金は、富士通からではなく、当該有償提携サービスの提供元から請求される場合があります。
6. 提携サービスについて、富士通は、何らの保証も行なわないものとします。本サービスの利用を除き、AzbyClub ユーザー名等の利用に関して、富士通は一切の責任を免れるものとし、会員は、提携サービスに起因して損害を被った場合であっても、富士通に対し、一切の請求を行なわないものとします。
7. 会員は、富士通所定の方法により届け出ることにより、AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを一時停止し、または AzbyClub ユーザー名等を削除することができます。なお、AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを一時停止し、または AzbyClub ユーザー名等を削除した場合であっても、会員は、本会員規約に基づく会員資格を失わないものとします。
8. 富士通は、以下の場合に、本会員規約に基づく会員資格を失わせることなく、会員が AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを、一時停止または削除することができるものとします。
   （1） 会員が提携サービスの利用規約等に基づき当該提携サービスの利用資格を一時停止または取り消された場合。
   （2） 会員が提携サービスの利用資格を自ら一時停止し、もしくは取り消した場合。
   （3） その他の理由により富士通が必要と認めた場合。

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

第 1 条（本規定の適用）

1. 富士通株式会社（以下「富士通」といいます）は、お客様が「富士通パーソナルエコーセンター」＜ 0120-926-220（通話料無料）＞にて修理の依頼をされた場合、または富士通の専用ホームページ「http://azby.fmworld.net/support/repair/index.html」（以下「専用ホームページ」といいます）にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合ならびに販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
2. 前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

第 2 条（対象機器）

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ用の富士通製周辺機器（ただしプリンタは除きます）とします。

第 3 条（修理の形態）

1. 富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合に、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があるものとします。

(1) 引取修理（パソコン修理便）
お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。なお、当該引き取りおよびお届けにかかる送料は、保証期間（保証書に定める保証期間をいい、以下同じとします）の内外を問わず、無料となります。

(2) 訪問修理
訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、富士通指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をお客様にご負担いただく場合があります。

2. 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、AC アダプタにあると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。

第 4 条（保証期間内の修理）

1. 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。
2. 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

(1) 保証書が対象機器に添付されていない場合

(2) 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
(3) ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
(4) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
(5) 寿命部品や消耗品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
(6) 接続している他の機器、または不適当な消耗品やメディアの使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
(7) お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
(8) お客様が設定したパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、マザーボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合
(9) お客様のご使用環境や対象機器の維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合
（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）

3. 第 1 項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。
(1) 第 3 条第 1 項第 (2) 号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
(2) ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料

第 5 条（保証期間外の修理）

1. お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。
2. 次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。
(1) 第 3 条第 1 項第 (2) 号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
(2) ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料
3. お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第 6 条第 2 項および第 3 項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。
4. お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、富士通指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第 6 条（修理料金の見積もり）

1. 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、富士通は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとし、訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等お伺いした内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。富士通もしくは富士通指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。
2. 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から 1 か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
3. 第 1 項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要が生じた場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積り後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積り後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第 7 条（修理料金等の支払い方法）

第 4 条または第 5 条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第 8 条（修理期間）

引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として 7 日間で対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7 日間を超える場合があるものとします。
(1) お客様から伺った故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
(2) 引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
(3) 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
(4) お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
(5) 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合
(6) 補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品をいい、以下同じとします）が在庫切れの場合

第 9 条（修理品の保管期間）

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了ならびに返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から 6 か月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、富士通はお客様に対し、当該保管に要した費用ならびに当該処分に要する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第 10 条（故障部品の取り扱い）

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第 11 条（修理ご依頼時の注意事項）

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

(1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。

(2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容（以下総称して「データ等」といいます）につきましては、富士通では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。（日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。）なお、修理ならびに修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第 6 条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。

(3) 修理完了後のオペレーティングシステム（OS）ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。

(4) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。

(5) 富士通は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き富士通では一切責任を負わないものとします。

(6) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。

(7) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体（CD、DVD、メモリーカード、フロッピィディスク、MO 等）、他の機器との接続ケーブル、ならびに添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、富士通ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。

(8) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨富士通からお客様にお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。

(9) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。

a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理

b. ウイルスの除去

c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換

d. データ等のバックアップおよび復旧作業

(10) 訪問修理の場合であって、富士通または富士通指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が 2 週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

第 12 条（補修用性能部品）

1. 補修用性能部品は、故障部品と機能、性能が同等な部品（再利用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む）とします。

2. 富士通における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第 13 条（個人情報の取り扱い）

1. 富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報（以下「お客様の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

(1) 修理を実施すること。

(2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。

(3) お客様に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。

(4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに、当該同意を得た利用目的に利用すること。

2. 富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。

3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第 1 項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 14 条（責任の限定）

1. 富士通が実施した修理に富士通の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より 3 か月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より富士通にご連絡いただいた場合、富士通は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。

2. 合理的な範囲で富士通が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、富士通は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。

3. 対象機器の修理に関連して富士通がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。

   また、富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。

4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第 15 条（変更）

富士通は、本規定の内容を変更する必要が生じた場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第 16 条（専属的合意管轄裁判所）

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付　則

本規定は、2010 年 7 月 27 日から実施します。

■対象機器

・FMV シリーズ

・ESPRIMO ／ LIFEBOOK（品名が以下のように表記される製品）

品名：　＊　H　＊＊＊　／　＊＊

（＊：ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ、＊＊＊：数字、＊＊：数字＋ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ）

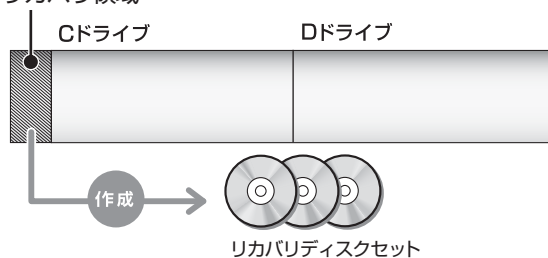
または、

品名：　＊　H　／　R　＊

（＊：ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ、＊：数字）

リカバリディスクセットを作っておく

このパソコンには、トラブルに備えて、ハードディスクの「リカバリ領域」という場所に、ご購入時の C ドライブの中身が保存されています。パソコンにトラブルが起こったときは、このリカバリ領域から C ドライブをご購入時の状態に復元できます。

しかし、なんらかの原因でリカバリ領域のデータが読み込めなくなると、パソコンにトラブルが起こってもご購入時の状態に戻すことができなくなります。そのため、パソコンご購入後はできるだけ早く、リカバリ領域のデータを DVD にバックアップしてください。

リカバリディスクセットとは「マイリカバリ」を使って作成する次のディスクです。

●トラブル解決ナビディスク

●リカバリデータディスク 1（32 ビット）

●リカバリデータディスク 2（32 ビット）

●ソフトウェアディスク 1（32 ビット）

●ソフトウェアディスク 2（32 ビット）

●コンテンツディスク

Point

▶ リカバリディスクセットの作成には長時間かかります。時間に余裕をもって作業をしてください。

またリカバリディスクセットは購入できます。購入方法については「ディスクが必要な場合」（→ P.86）をご覧ください。

リカバリディスクセットを作るうえでの注意事項

■ノートブック型をお使いの方は、AC アダプタを接続してください

■ディスクを用意してください

- お使いになれるディスク
  DVD-R のみです。その他のディスクはお使いになれません。
- 画面の指示に従ってディスクのレーベル面にディスクの内容を記入してからセットします

■DVD への書き込みには「Roxio Creator」が必要です

「Roxio Creator」はこのパソコンに用意されています。「Roxio Creator」を削除すると、ディスクイメージを DVD に書き込むことができなくなります。

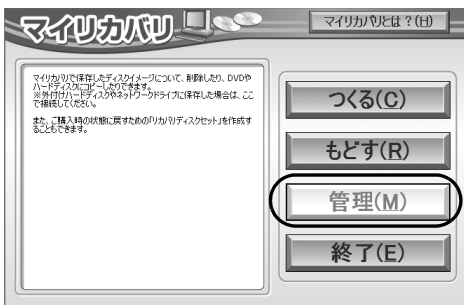
■ディスクイメージを書き込んだ DVD ではパソコンは起動できません

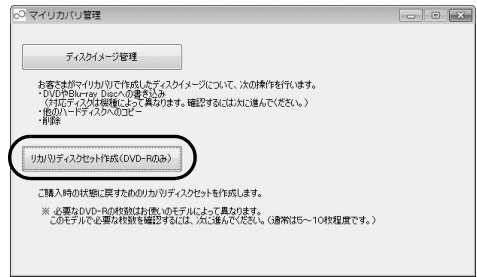
リカバリディスクセットの作成手順

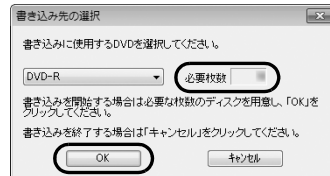
1 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「マイリカバリ」の順にクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。

3 「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。
「マイリカバリ」が表示されます。

4 「管理」をクリックします。

(これ以降の画面はお使いの機種により異なります)

5 「リカバリディスクセット作成(DVD-R のみ)」をクリックします。

6 「書き込み」をクリックします。

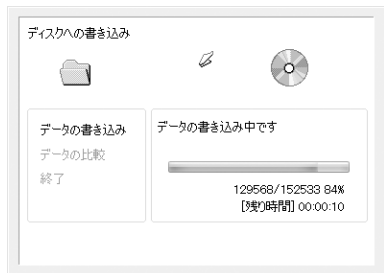
7 必要なディスクの枚数を確認し、「OK」をクリックします。

8 「「トラブル解決ナビディスク」の書き込みを行います。」というメッセージが表示されたら、用意したディスクのレーベル面に「トラブル解決ナビディスク」と記入します。
レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。

9 記入したディスクをセットします。

Point

- ディスクをセットしたとき、「自動再生」というウィンドウが表示されることがあります。ウィンドウ右上の をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。

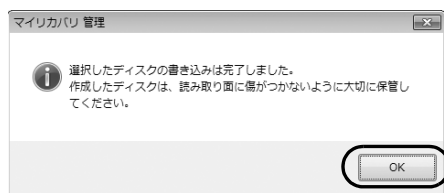
10 ディスクが認識されるまで 10 秒ほど待ってから「はい」をクリックします。

「ドライブおよびファイルの確認中です」と表示され、処理に数分〜 1 時間程度にかかることがあります。その後ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

書き込みが完了すると、「ディスクへの書き込みが終了しました。」というメッセージが表示され、CD/DVD ドライブが開きます。

11 ディスクを取り出して、「OK」をクリックします。

12 「選択したディスクの書き込みは完了しました。」というメッセージが表示されるまで、手順 8 〜 11 を繰り返します。

手順 8 の画面で表示されるメッセージは、作成するディスクにより異なります。作成するディスクをよく確認してから、ディスクのレーベル面にディスクの名前を記入してください。

13 「選択したディスクの書き込みは完了しました。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

14 「マイリカバリ管理」ウィンドウで、「戻る」をクリックします。

15 「マイリカバリ」ウィンドウで、「終了」をクリックします。

これで「リカバリディスクセット」の作成は終了です。作成したディスクは大切に保管してください。

ハードディスクの領域について

C ドライブと D ドライブの割合を変更する

C ドライブと D ドライブの割合を変更すると、すべてのデータが削除されます。本当に変更が必要か検討してから操作してください。

■注意事項

- データはすべて削除されます
  この操作をすると、ハードディスク内のデータ（C ドライブ、D ドライブ共に）がすべて削除されます。
- 外付けハードディスクなどの外部記憶装置は必ず取り外してください
  外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- NTFS に設定されます
  FAT32 に設定してある場合も、C ドライブ、D ドライブ共に自動で NTFS に変更されます。
- ドライブの容量制限
  ドライブの容量制限は次のとおりです。これより小さくすることはできません。

C ドライブの最小容量	D ドライブの最小容量
50GB	50GB

- 領域設定を変更するときは、必ず「トラブル解決ナビ」をお使いください
  市販のソフトウェアや、Windows 7 の「ディスクの管理」で領域設定を変更しないでください。「マイリカバリ」や「ご購入時の状態に戻すリカバリ」などができなくなります。C ドライブと D ドライブの割合を変更する場合は、必ず「トラブル解決ナビ」をお使いください。
- D ドライブを少なくしすぎないようにしてください
  D ドライブの容量が少ないと、「マイリカバリ」を使ったバックアップができなくなってしまう場合があります。
- タッチパネルでの操作はできません
  マウスやキーボードで操作してください。
- ノートブック型をお使いの方は、必ず AC アダプタを接続してください

■領域設定の変更手順

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

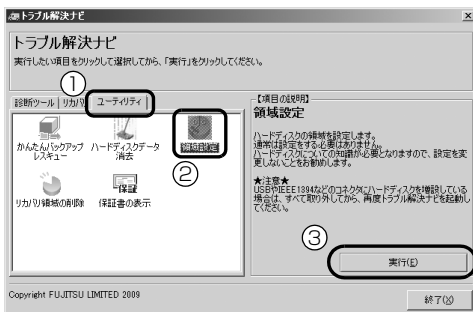
2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

3 サポートボタンを押します。

4 起動メニューが表示されたら、【↓】を押して「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】を押します。

5 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

6 次の画面の操作をします。

（アイコンの数や配置はお使いの機種により異なります）

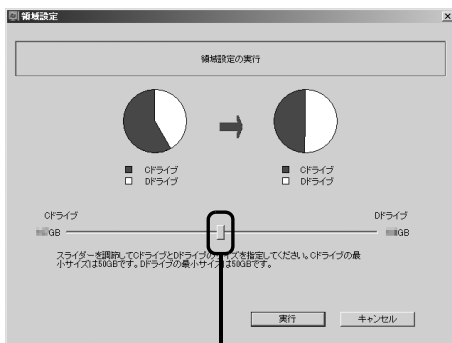
①「ユーティリティ」タブをクリックします。

②「領域設定」をクリックします。

③「実行」をクリックします。

7「同意する」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

ハードディスクの領域を設定する画面が表示されます。

8 スライダーを左右にドラッグして、C ドライブと D ドライブの容量を指定します。

左右にドラッグ

（画面は機種や状況により異なります）

9 容量を決めたら、「実行」をクリックします。

10「はい」をクリックします。

ハードディスクの領域が設定されます。

11「完了」をクリックします。

12 この後、C ドライブをご購入時の状態に戻します。

「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」（→P.87）をご覧ください。

ご購入時に戻すリカバリを実行すると、領域の変更が完了します。

リカバリ領域を削除する

リカバリ領域を削除して、その分ハードディスクの使用できる容量を増やすことができます。

ただしリカバリ領域を削除すると、ハードディスクのCドライブとDドライブがご購入時の状態に戻ります。そのためすべてのデータが削除されます。本当にリカバリ領域の削除が必要か検討してから操作してください。

■注意事項

- ハードディスクの内容はすべて削除されます
  あらかじめ必要なデータを CD、DVD、外付けのハードディスクなどにバックアップしておいてください。
- リカバリ領域の削除後にはリカバリディスクセットを使ってご購入時の状態に戻すリカバリを行う必要があります
- 外付けハードディスクなどは必ず取り外してください
  外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- タッチパネルでの操作はできません
  マウスやキーボードで操作してください。
- ノートブック型をお使いの方は、必ず AC アダプタを接続してください

■リカバリ領域の削除手順

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

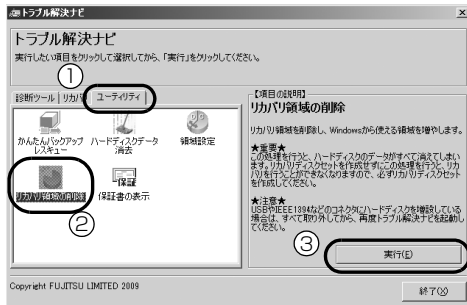
2 サポートボタンを押します。

3 「トラブル解決ナビディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

4 [↓] を押して「CD/DVD Drive」を選択し、[Enter] を押します。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

5 次の画面の操作をします。

①「ユーティリティ」タブをクリックします。
②「リカバリ領域の削除」をクリックします。
③「実行」をクリックします。

ご使用上の注意が表示されます。

6 内容をよくお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

7 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、
1. リカバリディスクセットの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリを実行する
の順に進んでいきます。画面のメッセージで指定されたディスクをセットして操作を進めてください。
「リカバリが正常に完了しました。」と表示されたら手順 8 に進んでください。

8「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「Windows のセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。
「セットアップする」（→ P.23）をご覧になり、セットアップしてください。ただし、ユーザー登録は再度行う必要はありません。

Point

- セットアップ後に「Office Personal 2010」および「Office ナビ 2010」のインストールが必要です。「Office 2010 および関連ソフトウェアをインストールする」（→ P.88）をご覧ください。

リカバリ領域を復元する

削除したリカバリ領域を復元するためには「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を行います。リカバリ領域のみ復元することはできません。
「リカバリディスクセット」を用意してください。

■注意事項

- ハードディスクの内容はすべて削除されます
  リカバリ領域を復元するときに、ハードディスクの領域が設定し直されます。このためハードディスクの内容はすべて削除されます。あらかじめ必要なデータを CD、DVD、外付けのハードディスクなどにバックアップしておいてください。
- 「リカバリディスクセット」が必要です
  リカバリ領域の復元には、「リカバリディスクセット」が必要です。紛失・破損された場合は購入できます。詳しくは「ディスクが必要な場合」（→ P.86）をご覧ください。
- 外付けハードディスクなどは必ず取り外してください
  外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- ノートブック型をお使いの方は、必ず AC アダプタを接続してください
- タッチパネルでの操作はできません
  マウスやキーボードで操作してください。

■リカバリ領域の復元手順

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 サポートボタンを押します。

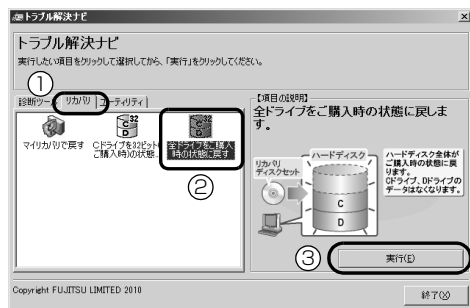
3 「トラブル解決ナビディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

4 [↓] を押して「CD/DVD Drive」を選択し、[Enter] を押します。

5 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

6「トラブル解決ナビ」が表示されたら次の画面の操作をします。

①「リカバリ」タブをクリックします。
②「全ドライブをご購入時の状態に戻す」をクリックします。
③「実行」をクリックします。

ご使用上の注意が表示されます。

7 内容をよくお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

8 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. リカバリディスクセットの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリ領域にリカバリデータを復元する
4. リカバリを実行する

の順に進んでいきます。画面のメッセージで指定されたディスクをセットして操作を進めてください。

「リカバリが正常に完了しました。」と表示されたら手順 9 に進んでください。

9「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「Windows のセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

「セットアップする」（→ P.23）をご覧になり、セットアップしてください。ただし、ユーザー登録は再度行う必要はありません。

Point

- セットアップ後に「Office Personal 2010」および「Office ナビ 2010」のインストールが必要です。「Office 2010 および関連ソフトウェアをインストールする」（→ P.88）をご覧ください。